三月五日發行

今や熱河省の大半 皇軍の威風靡く

風雪と戰ひ驚異的偉業を樹てた 我皇軍將兵の苦難

【奉天特電】關東軍司令部發表＝熱河經略のため軍の第一線諸隊が行動を開始して以來十日前後北部熱河方面においては開魯、下窪、建平、赤峰の兩地をまたゝく間に席捲し南部方面にありては朝陽より凌源、平泉の要點を占據して遂に四日省城承德に入城し得た、また長城に沿ふ方面においても逐次所要の部隊を前進せしめ各門を扼取せんとしつゝある、斯して戰線五百五十里に亙り總兵力十五萬餘の敵軍に對し我軍は僅かに十分の一の兵力を以て鎧袖一觸今や熱河省の大半は皇軍の威風になびき細族各所に纔へり久しきに亙り軍閥の虐政にあつた熱河省民は文字通りに簞食壺漿して各隊期以上の成果を收め得た所以のものは　大元帥陛下の御稜威によることは素よりであるが又第一線諸團隊即ち、、、茂木、、、服部等の諸兵團とこれに協力せる飛行隊及び各種快速部隊等が酷寒零下三十度の風雪を冐し北部においては人煙稀なる蒙古沙漠地帶の通過にあらゆる苦難を克服し南部地方においては山岳重疊せる地域を突破し殆ど神業にも等しき神速なる行動に出でたる賜に外ならぬこの間敵の抵抗もまた相當頑強なるものありて、爲めに尊き戰死、戰傷者を出した次第であつてこれ等の將兵各位に對して謹んで深甚の敬意と同情とを捧げねばならぬ、又以上の如き華々しき第一線の諸團隊の成功の裏面には晝夜兼行にて彈藥、糧秣等の運搬に從事せる兵站諸部隊鐵道部隊、輻湊せる多數の通信を圓滑に發受して軍の作戰を容易ならしめた通信諸隊の如き後方諸部隊の涙ぐましい努力をも忘れてはならぬ、以上が省城承德占據に至るまでの軍行動の概觀である、斯くて軍は今後引續き省内の肅淸に努力する一方政治工作を進め省内治安の完成に努めねばならぬ、若しそれ關内よりする學良軍の積極的實力行動の如きに對しては勝算自ら歷々たるものがある

全米を襲つた金融恐慌 準備銀行も遂に休業

主要取引所當分閉鎖

【ニューヨーク四日發】準備銀行は國內銀行筋の引出しに備へて休業、莫大な金準備流出防止に決し、一方ニューヨーク取引所長ホイトニー氏も株式取引所を休場するものと信ずと述べてゐる

【ニューヨーク四日發】ニューヨーク、イリノイ州の銀行休業に伴ひアメリカにおける主要證券及び商品取引所は銀行休業期間閉場する旨發表した、目下のところ外國爲替取引も中止されてゐる

【ワシントン四日發】ヴアモント、コンネチカット、メイン、マサチユセッツ、ペンシルヴアニア各州銀行も休業した

【ニューヨーク四日發】ネブラスカ、ミネソタ、ニューハンプシヤ各銀行は四日より休業、又ニューヨーク株式商品取引所も四日より六日迄休み、シカゴ商業會議所も四日より閉鎖す

【シカゴ四日發】イリノイ全州銀行休業は初め四、五、六の三日間であつたが更に七日も休業に決定、八日には開業するが夫れ以後八日間は總額の五分以下に限定される

通貨增七億五千萬弗

【ニューヨーク四日發】全米恐慌の結果準備銀行の金準備減少は過去一週間で二億五千萬弗に達し反對に通貨增加額は七億五千萬弗の新記錄を出したことが準備銀行の報告で明瞭となつた、更にその後の報告に依ると準備銀行各組合銀行の借出し激增し各中央銀行は五億弗の準備クレヂットを市場に吐き出すに至つたと、而してこの現象は通貨增と金準備減少は國內に金が退藏されたのと外國筋への流出に依るものでシカゴの各銀行のみにても過去二週間內に實に三億五千萬弗を搬出してゐる

先づ金兌換停止か 金本位停止の恐れは？

【ニューヨーク四日發】新大統領ルーズヴエルト氏は就任式の演說に於て「充分なる而して堅實なる通貨政策」を力說したがウオール街の觀測によれば右は統制ある通貨膨脹によるインフレーションも仄めかしたものと觀てゐる、目下アメリカの最も必要とするところは物價の騰貴であるが、これはたゞインフレーション及び通貨の更に自由なる流通によつてのみ可能なるものであるところで大統領は右演說においては金兌換停止の意向など示してゐないが、しかし國內の金兌換殺到並に金退藏によつて金本位停止を餘儀なくされる危險が生ずる虞があるからこれを未然に防止するため先づ金兌換停止が行はれるかも知れないとの意見が漸次有力になりつゝある、一方外國筋の金引出しに依つてアメリカの金本位停止を餘儀なくされるといふことはないと觀られてゐるしかし最近の如くアメリカの商社及び個人がカナダやその他へ向け金の輸出を引續き行ふやうになればこれを防止するために金の自由輸出禁止が行はれないとも限らない、インフレーションは言ふまでもなく外貨に對するドル價値を引下げることになる、尤も金本位が實際に停止されない限りドル爲替の大體的な變動はないものと觀られる

特別議會召集か

【ワシントン四日發】次期下院議長に內定したレーニー氏は四日銀行恐慌審議の爲め近く特別議會を召集せんと豫言した

輝く川原部隊の戰功

承德入城前後の模樣

【新京特電】關東軍司令部發表＝破竹の勢ひを以て前進したる川原部隊の先遣隊は四日午後一時三十分承德東方約二里の地點に達したるに承德東側高地には尙相當の敵兵殘留し抵抗を試みたるを以て直に展開してこれを攻擊したり、午後二時三十分敵兵退卻の色あるを以て川原部隊は裝甲自動車をして敵の陣地を突破せしめ引續き先遣隊をして承德を占領し川原部隊長は承德の要人を招致して入城に關する協議をなし午後二時五十分全力をあげて威風堂々入城した、これより先秋山中尉は飛行機を操縱して承德に着陸し右の協議に參加したる後入城に參加せり、川原部隊の前進路には伏屍累々として山をなし野砲、山砲多數遺棄しありしも前進を急ぐ同隊はこれに顧慮することなしに急進せり、思ふに作戰開始以來酷寒の候險惡なりし地形なるに拘らず旬日を出でずして反將湯玉麟の根據地を占領せる川原部隊の神速なる行動は中外を驚嘆せしめ日本陸軍の光輝を加へたるものといふべし

湯玉麟は北平へ逃走

【錦州にて南里特派員五日發】皇軍の承德入城によつて反滿の巨頭湯玉麟は灤平を經て古北口より河北省に逃亡したが大陰山中を張家口方面に走つたが、その消息不明なるが北平說が最も有力視されてゐる、なほ正規兵及び匪軍は多く古北口關を北平街道に向け潰走中である

積雪を踏んで突擊

旣報のごとく非常時局にかんがみ遞信局が局內職員ならびに遞信講習所生等總員五百名を動員し五日拂曉より市內中央公園より白雲山下の博覽會豫定地一帶にかけ行つた聯合模擬大演習は所長統裁の下に折柄の積雪を冐して行はれた

皇軍の威力に驚嘆

わが熱河討伐の迅速な行動に 駐英佛武官から祝電

【新京電話】討熱作戰の成功に對し各方面より陸續として祝電が到着してゐるが主なるもの左のごとし

一、英國駐在武官一同より
酷寒の期に山地にある優勢なる敵に對し疾風迅雷の如く長驅熱河を攻略せる皇軍の作戰の威力は英人の驚嘆しかつ我等の欣快おく能はざるところなりこゝに謹みて御成功を祝し奉る

一、フランス駐在武官一同より
疾風迅速なる熱河省の平定並に作戰計畫及びこれが指導の卓越と皇軍の精銳は世界を驚嘆せしめたり謹みて忠勇無比なる皇軍將士に對して感謝と敬意を表す

一、京都聯合婦人會より
本日第五回大會にあたり國威宣揚祈願祭を行ひ忠勇なる皇軍の武運長久を祈り遙に將兵各位の御奮鬪を感謝す

熱河反滿軍潰走で迫る北支の大變局

全支への影響甚大

熱河の反滿兵匪討伐に、ひと度起つた日滿軍は、その迅速なる行動に、內外ともに驚嘆するうちに旬日を出でずして旣に殆ど全熱河を席捲し、熱河省の反滿軍は、全くひとたまりもなく、萬里の長城を越えて河北省內に雪崩の如くに潰走したが、この熱河における學良系反滿軍のあまりにあつけない敗退と、これら敗退した大軍が、熱河から河北に雪崩込むことによつて、北支那における諸軍閥關係の混亂と、張學良を中心とする北支政權の最後的崩壞とが、いよ〳〵眼前に迫つて來たことが豫想されるやうになつて來た。

さきに張學良が、積極的反滿抗日態度に出ることになり先づ義勇軍を最前線に、次いで熱河正規軍と學良直系軍とを、最後に表面學良麾下に在る傍系軍を配置して、所謂失地恢復の策戰を樹て、續いて河北の大軍に移動を開始せしめたが、當時北支における學良軍のこの大移動が北支における複雜なる軍閥關係に及ぼす影響について二つの觀測が行はれた。卽ちその一つは學良の直系軍は先づ學良の命のまゝに動くとしても、傍系軍は最後まで學良と運命をともにするものではなく、北平天津にこれら傍系軍の集結したときが北支に變局をみるのときたるべく、よし一時的にこれら傍系軍が更に前線に出るとしても、いつかは反學良的旗を幟顯すべきものであるといふのであつた。而して他の一つの觀測は、勿論傍系軍には正規軍にみるが如き期待は、學良としてかけることは出來ないが、現在北支としては、從來曾つて見なかつた重大な時期であり、たとへ平常學良に對して不滿をもつものといへども擧國一致この國難に當るだらうといふのであつた。

その後の事態の進展によつてこれをみると、反學良系の巨頭として數へられた山西の閻錫山が、その全兵力をあげて學良を支持すべき聲明を發し、同じ立場の張家口の馮玉祥もまた、蔣介石及び張學良に對し對日徹底抗抗を進言したと傳へられ、一方において、孫殿英、宋哲元、龐炳勛等の學良傍系軍も、南方及び西方より北平天津を通過して續々前線に出動し、かくて一時各軍閥の一致團結を豫想したものゝ觀測が事實化されつゝあるかの觀を呈した、しかしこれら諸軍閥の行動を更に詳細に觀察すると、あくまで學良の抗日を支持するものとは思はれないものがある。最近におけるこれら軍閥間の諸關係につき諸情報を綜合すると大要左の如くである。

一、山東に在る韓復榘はさきに北平將領會議に參加して學良支持を表明し今なほ學良支持を口にしてゐるがその部下軍隊は山東河北の省境附近に一部集めたのみで學良の督促あるに拘らずそれ以上の北上を肯じない、のみならずさきに反學良戰爭を起したことのある石友三を客分として擁してゐる

一、宋哲元も平綏線から北平を通過して熱河省境に進んだが熱河省內には入らず今なほ省境に止つてをり、龐炳勛は熱河省內に入つたが北支に動亂が起つたら何時でも學良麾下の某部隊の武裝解除をすることになつてゐるとさへいはれ、孫殿英は長驅赤峰にまで進んだが皇軍の赤峰占領によつて西南方に向つて敗退しつゝあり、承德が皇軍の手に歸した今後、學良支持の何の役にも立ち得ない立場に陷り遠からず潰滅するか匪賊化するのみ

一、北平に在る吳佩孚は學良から食費を給されてゐるといはれてゐたが最近學良との關係良好ならず學良は吳に對して顧問就任を懇請したが吳はこれを拒絕し學良また吳の衞隊を解散せしめんとしたが吳はこれをも拒絕して今日にいたつてゐる

一、その他張家口の馮玉祥は抗日支持は口にしてゐるが機會ある毎に學良の怠慢を指摘し南京政府からの出馬要求にも抗日をやつて失地恢復し得る見込みがあつたら出馬するが南京政府や學良にその自信があるかなど毒づいてゐる、山西の閻錫山にいたつては表面一致抗日を唱へてゐるが一朝北支亂れたときの手筈を旣に決定してゐるとの報道がある

かくの如く北支における各軍閥關係はあながち擧國一致國難に當り得る性質のものではなく、學良十萬の正規軍が、なほ健在である間において旣にかくの如き情態であるから、學良正規軍が熱河の戰ひに大敗して、熱河正規軍とゝもに河北に雪崩込み、次いで北平天津から山海關の線に在る後方正規軍の動搖を見るにいたれば、この諸軍閥の反張的動きは今日よりも更に尖銳化するであらうことは明らかであり、これが北支を政治的混亂に陷いれ、惹いて反張各軍閥の混戰をみることが豫想される、少しく觀方を變へて、これらの各軍閥が今後もなほ學良を支持して行かうとするとしても、あれほどまでに高唱してゐた熱河の死守も失地恢復が、かくもむごたらしい敗退によつて、淡い夢と化した今日一般民衆は最早これ以上學良を支持せざるべく、この民衆の動向は必然反學良系諸軍閥をして學良より背反せざるを得ざるにいたらしめることも明らかである。かくて熱河における敗退を最後として、北平の學良政權はいよ〳〵終局に近づいたものとみるべく、その後の北支から惹いて支那の時局にいたつては、どこまで發展するか、豫想外の大變局を招來することにならぬとも限らぬ。この意味で學良が熱河でもろく敗れたことは重大な意義を有するものといひ得る

聯盟脫退諮詢案 六日閣議で決定

直ちに樞府諮詢手續

【東京五日發】外務省では聯盟脫退に關する樞府諮詢案に關し略成案を得たので六日午前中首腦部會議を開きこれを確定したる上午後の臨時閣議に內田外相より附議し正式決定を爲し直に樞府に諮詢手續を採ることになつたが外務省案に依れば脫退通告文及び理由書は考究の結果別個のものとせず事務局に提出すべき脫退通告文の內に聯盟機構の缺陷、日支紛爭處理における聯盟の失當を指摘し我が脫退理由を記述することゝなつた、而してこれが長さは邦文にして千五百字程度の簡單なものである、尙ほ右通告文と同時に脫退に關する帝國政府の聲明書を發表する件は右通告文を以て聲明書に代へ別に聲明書を發表せぬこととし通告文を事務局提出と同時に外務省より公表する筈である

十五六日頃上奏

【東京五日發】政府は別項の如く六日の臨時閣議に於て脫退に關する樞府諮詢案たる脫退通告文案を正式に決定し脫退と南洋委任統治に關する件、その他の關係調書を附して樞府に諮詢の手續きを執ることゝなつたが政府としては右案件の性質上可及的速かに諮詢の完了さるべきことを期待してゐるので樞府においても約一週間でこれを議了し現在の見込では十五、六日頃には上奏御裁可を經て事務局に對し右通告文提出の運びに至るものと見られてゐる

日本國粹會 積極的活躍

【東京五日發】非常時日本の祖國愛に燃えて各種愛國團體擧つて起つ時大日本國粹會では擧て幹部の間に「從來の消極的態度より積極的態度に出でゝ」との意向の下に協議を重ねてゐたがこの程軍部の共鳴を得て愈々結束を固め非常時日本の第一線に活躍することゝなり來る三月十一日全國百十一支部を招集して役員改選、組織の變更をなしたる上四月二十九日の天長節の佳日を卜し全國大會を擧行し主義綱領を決定し華々しく活躍することになつた

あめりか丸

六日午前十一時滿外着豫定

蛇角

心臟を衝かれて湯玉麟失脚、お次は愈々學良の番。

◇

學良得意の「噴火山上の舞ひ」如何なる妙技を演じませうや。

◇

「饒舌聯盟」が「聾唖聯盟」になつた。但しこの聾唖者、何時饒舌者に戻るやも知れず。

◇

黃金國アメリカが金缺病にかゝつた、何んなら三木（武吉）ドクトルに診察して貰うがいゝ。

◇

聯盟への緣切狀、一千五百字の三下り半が出來た。後は叩きつけるばかりだ。

◇

大阪財界の巨頭島德氏に毒瓦斯の疑ひは意外。

◇

敵に鹽を送つた謙信の故事を眞似たわけでもあるまいに。

安東背後地に中銀の分號

【安東電話】滿洲國中央銀行安東支行は安東市と經濟的關係密切なる背後地に分號を設置する意思あり準備的調査を進めてゐるが大體近く出發する日滿聯合南東邊道經濟調査班の調査結果に徵して長甸河口、外岔口、輯安、臨江等の稅關分關設置豫定地に分號を新設することになるらう

東天紅（13）

田中純作　林一三畫

インチキ漢（二）

「いらつしやいまし」

康造の自動車が「新玉川」の大きい車寄せに橫づけになると、二三人の女中が、愛嬌よく出迎へてゐた。昨年、新らしく出來たばかりの京都風の料理屋で、相當評判の好い家だつたが、今は、宵の口のことゝて、玄關のあたりもひつそりしてゐた。

「阪口君、來てるだらう？」

「はア。お待ち兼ねでいらつしやいます」

鏡のやうに拭き込んだ廊下を通つて、二階に上ると、もう、阪口の、屈託のなさゝうな笑ひ聲が聞えて來た。

「連れがあるのかい？」

康造は、案內の女中に聞いた。

「いゝえ。お一人さんでございます」

しかし、案內された表二階の京間の小座敷に行つて見ると、阪口はもう、夜の蝶放の小雪を引きつけて、盛んに盃を擧げてゐた。

「ヤア、色男、來たな」

「來たなはないだらう。人を呼びつけて置いて」

「なアんて、慌てゝ飛んで來やがつた癖に。——圖星だらう」

「何が？」

「とぼけたつて駄目だよ。ちやんとネタは上つてるんだから」

「一向解らないね。何のために、この忙しいのに、呼びつけられたのか、何のネタが上つてるのか」

「まア、飲め。さうしらを切らないで」

二三杯立て續けに飲むと、康造も、漸く、この座の空氣に折合へる氣持になつて來た。

「その方、すばらしい美人だつて言ふぢやありませんか」

すぐ、そばから、小雪が口を入れた。

「誰が大臣さん？」

「あら、まだしらばくれてゐらつしやるわ」

「往生ぎはの惡い奴だな」

「しかし、何と云はれても、僕には合點が行かないよ。君たちが何故、大貫晶子をそんなに問題にして居るのか」

「それは君、問題にもならうぢやないか。あれほどの女が、君を親友だと呼んでるんぢやないか。君の御親友ならば、大抵、相場はきまつてるからね」

「しかし、君はどうしてあの女を知つてるんだ。何時會つたのだ」

「はツ、はツ。そろ〳〵心配になつて來たね。しかし、大丈夫だよ。君がすつかり白狀すれば、僕だつて、さう矢鱈に手を出さうとは言はないから」

「いや、手を出さうと出すまいと、それは君の勝手だが、それよりも、事實問題からはつきりさせて行かうぢやないか。君は一體、あの女に何時會つたのだ」

「いやに眞面目ね」

そばから、小雪が、冷かすやうに言ふのを、康造はちよつと目で壓さへて

「いや、僕は、あの女とはもう七八年も前から知つてるんだがね、今日、久しぶりに會つて見て、まるで樣子が違つてるんで、びつくりしちやつたんだよ。僕を親友だなんて言つてるとすれば、ますますあの女の近狀を知つて置く必要があると思ふから、かうして君に訊くんだが……」

「いや、まア、さう開き直つて訊かれると、僕も一向、何も知らないのだが、兎に角僕たち、活動寫眞座から見ても、すばらしい女ぢやないか」

「君は何時會つたのだい」

「四五日前だつたかな。小說家の大澤光明の紹介狀を持つて、うちの撮影所へ訪れて來たよ」

川原先遣部隊に從軍 承徳に一番乘り

皇軍入城第一報を齎した 山口本社特派員

總ゆる苦闘を續け錦州を出發してより十二日皇軍第一線のどくろ隊に或は快速隊に從軍し、承徳一番乘りとして入城した本社山口特派員は川原先遣部隊の承徳入城の第一報を齎した

【承徳にて山口特派員四日發】三月一日午前五時川原部隊自動車隊は一路凌源に向ふ、この邊より長城と併行した大陰山脈が至る所に起伏し山容正に天を衝き實に天險そのものである、急坂から溪谷を押し進む自動車隊の辛酸と艱難苦鬪は想像も許さぬが山の冷氣は平原の寒威より更に強く行路難と共に一大脅威であつた、平泉附近において敵の砲撃を聞く殷々として山間に谺し凄愴いはん方なし、我軍は地上より山砲、上空より爆彈の投下によつてこれに應戰敵も小賢しくも山砲、迫擊砲を盛んに發し頑強に抵抗するため自動車隊は軍旗を先頭に下車、長瀬枝隊自ら左翼隊を指揮第一線に立ちまた右翼隊は坪島○隊長を先頭に正面より夕陽になやまされつゝ敵の高地を目がけて突擊又突擊、陽は峨々たる山影にかくれ夕闇迫つたが陣形を利用した敵はあくまで頑強である、しかも敵砲彈は我自動車隊にまで落下するなど小面憎いほどで深夜十二時ごろまでも正攻を持續し支那軍としては曾つて見ない頑強さであつた余(山口特派員)は無蓋トラック上に暖をとらず底冷のする山氣にまんじりともせず一夜を明かした、三月二日午前六時平房を出發、敵は未明に平泉を總退却、平泉方面から承徳街道を逃走した、わが先遣部隊は同八時集柏話を占領した村内の家屋は彈痕のため見るかげもなく慘澹たるものである、こゝにて川原部隊長と長瀬枝隊長との劇的會見あり、兩雄握手して武勳を語る、遙か大陰山々中における一快事である八時三十分集柏話出發、同十一時三十分市民の大歡迎裡に凌源に入城し綏中より進擊し來つた服部部隊の先遣部隊と落合つたがわが川原先遣自動車隊は少憩する間もなく最後の目標承徳に向つて前進、敵は我が急追に如何ともなす能はず退却又退却、それこそ算を亂し先を爭つての退却ぶりである、凌源平泉間約二十二里その間敵の遺棄した死體は全く算なく雪も氷も朱に染められ路上より谷間にかけては山砲、野砲及びその彈丸が放り出され敵の退却は如何に狼狽したかを物語つてゐる、ことに主人を失つた、敵將の馬が馬具もそのまゝ打ち首垂れて敗戰の憐みをこふ光景は仁義に富む皇軍將兵の涙をそゝつた、なほ凌源西方十二里餘の地點三十家子附近にて敵將校三名を捕虜としたが、内一名の將校は婦人であることが判明した、川原部隊の天馬空を行くごとき神速なるこの行動の裏には百武○○自動車隊の最も勇敢なる大活躍を見逃すことは出來ぬ百武大尉は○臺の○○自動車を指揮して二晝夜の間それこそ飲まず、食はずに敵を追ひ散らし朝陽出發後のこの二晝夜に五十五里の里程を、しかも嶮難惡路とひし／＼と襲ひ來る山の寒さと有力なる敵と闘つて走破し得たことは我が陸軍としても驚異すべき記錄である、川原部隊長が百武大尉の果敢なる行動を口を極めて賞讃するも宜べなるかなである、三日午前二時平泉入城敵はわが入城二時間前に平泉を放棄承徳に退却したが市街は生々しい人馬の死體散亂、足の踏む處もなきほどで淋しめ雪か夜分より陰山嵐が雪となり四日朝は白皚々として積雪深し雪の進軍で勇躍一路承徳に進擊、午後二時五十分先遣部隊主力と共に省城承徳に一番乘りの名譽を擔ひ威風堂々東門より入城、熱河離宮内に入つた、省城内は人心案外に平穩各戸は滿洲國旗をかゝげて皇軍の入城を歡迎し、城門には高く日章旗が掲げられた(寫眞は山口特派員)

日滿國旗を手に 嬉々と戲れる

皇軍入城で安堵した 可愛い赤峰の子供達

【錦州にて板屋特派員四日發】豫て赤峰附近に蟠居して住民を苦しめてゐた稗自新は我軍來るの報に一戰も交へず主力を率ゐて二月二十七日頃赤峰より西方に

退却 し同じく宮張海も同二十八日歩兵一旅を率ゐて赤峰通過西方山地に逃走して片影を見せない、久しく匪賊の掠奪暴行に委ねられてゐた赤峰住民約七萬は皇軍が入城した當初は全く見る影もなく疲弊し三月とは言へ未だ／＼白雪に蔽はれ冷たい蒙古風の吹き荒ぶ赤峰であるが、子供達さへもボロ／＼の着物から皮膚を露はして居り、榮養不良のため白い眼を見せてゐた、兵隊と言へば鬼か蛇のやうに恐れ戰いてゐた子供達も日本軍人の人懐つこさと同情深いこゝにすつかり安心し切つて、初めは恐々近づいてゐたが、入城後二日も經たぬのに皆宣撫員から貰つた日滿國旗と

執政 の寫眞を入れたポスターを片手に嬉々と戲れてゐる、店を閉ぢ婦女子を山中に避難させてゐた市民達も續々手をつないで歸來し、茶を歡待したり薪を焚いたりして皇軍を歡迎し、幾多の山河を渡つて來た兵士等の勞苦を犒つてゐる、赤峰附近には既に敗匪の影一つ見えず、戸毎に新しい日滿旗は貼りつけられ、澄み渡つた空にはわが飛行機が輕快なエンジンの音を立てゝゐる、熱河中心の古都赤峰は今や始めて安堵の日を取戻し、治安維持委員會滿洲國大官撫班の活動に依つて秩序の

恢復 は着々行はれ、赤峰住民は老若を擧げて皇軍の永久駐屯を希望してやまぬ有樣である

既に三萬の 苦力來滿

心配は要らぬ

今年も山東苦力の出稼ぎ時期となり、毎船ごとに布團をかついだ苦力の列が埠頭から大連驛につゞいてゐる、しかして今年は奧地の經濟事業の旺盛に伴ひ苦力の需要が盛んで撫順炭礦にまで華工不足を見る有樣となつてゐるのに、支那側は滿洲國の興隆を妬ぐるために山東其他に於て出稼ぎ華工の出發を妨げてゐるとの噂があり出稼數が激減するに非ずやと豫想されてゐたが、現在までの統計によれば

	大連上陸	大連驛乘車
二月十五日より末日迄	二六、三〇三	一五、〇四八
三月一日	三、一〇三	一、五三一
三月二日	三、七〇七	一、四六二
三月三日	一、九〇四	一、三二四

で既に三萬人を超え四月の最旺盛期に入れば更に激增するから今年も別に心配ないものと見られるに至つた

天津へ天津丸

熱河省境方面の形勢險惡と共に鐵路による交通が全然遮斷されたので昨今の天津、大連間就航船は常に滿員の盛況で大汽ではさきに津通丸が事故を起した關係で目下天津、青島、上海間就航の天津丸を當分廻航さす事となつた、なほ天津丸は十日大連出帆の筈

掠奪されて 邦人避難し來る

けさ秦皇島から入港

五日午前十一時入港の獨逸船ネッカー號には秦皇島居住邦人三十名の避難民が便乘來連し一行は海事協會に收容されたが避難民代表渡邊慶三郎氏は語る

一行は内地人十二名朝鮮人十八名の男子だけで秦皇島鐵道北側方面の居住者です、現在は別に甚だしく危險な狀態にあると言ふ譯ではないが全部が一月の四日から五日にかけて家財類一切掠奪に遭ひ其後守備隊に收容されてなりましたが山海關方面に行つても上陸は出來なかつたので外務省から一人當り四十五十錢の救助金を受け來連した譯です、一行中の大半は當地經由で山海關方面に出掛け時局の片づくまで待機したいといふ考へで居るやうです、全部が掠奪を受けた上に二ケ月間も仕事も出來ないでゐたので非常に困つてゐます、秦皇島に殘留した邦人は内地人二十二名朝鮮人四名の男子ですが之等は軍屬として働き婦女子はさきに全部避難しました

第一回避難者は一先づ解散

一月初め山海關方面の風雲急を告げるや大連に避難して來た秦皇島在住邦人はその後市内山縣通海務協會に避難、一日も早く同方面の平靜に歸す日を待望してゐたがその後一部のものは内地或ひは秦皇島に歸り目下日本人八名鮮人十五名が收容されてゐるが、餘り永引いてはと天津總領事館書記生石倉靜夫氏は三日入港淡路丸にて來連、四日避難民一同に對し一人當り三十圓を支給して一先づ解散する事となつた、日本人は未だ居殘り鮮人のうち八名は奉天へ七名は海務協會に居殘ると

恩人の郷土を救へ 早くも義捐金

双葉日曜學校の幼い生徒達も醵金

滿洲事變の第一日から南北滿洲の戰場を馳驅し、在滿同胞の恩人たる東北出身將士の故郷は一昨年末飢饉に惱まされた上に、更に今次の大震災を蒙り、重ね／＼の天災地變に苦しめられてゐるが、我社の義捐金募集の社告が五日の朝刊に出るや、在滿邦人中に「恩人の郷土を救へ」の聲が汪然として起り、忽ちに全滿を蔽ふ一大キャンペーンたらんとしてゐる、即ち五日の午前中に既に六口百八圓八錢に達したが、中にも双葉日曜學校生徒は先生からこの氣の毒な人の話を聞いて幼い心にも深く感じて、各自のお小遣の内から零細な金を集めて二圓八錢として我社に持參した、その他にも義捐金募集の擧が一般に知れ渡ると共に非常な盛況を呈するものと見られてゐる

慘鼻を極むる東北 地方東海岸大震災 慰問義捐金募集

本月三日午前二時半、宮城、岩手、青森の東北三縣並に北海道の一部に亙り、突如として起つた强震と之に伴ふ大津浪の襲來とは、近來の一大異變として全國民に痛刻なる衝撃を與へたが、その後被害各地よりの報告は一報毎に慘鼻の範圍を擴大し、遭難人員實に三千を超え、また家屋財物の流亡燒失二萬戸の多きに達することと明白となり、そゞろに彼の關東大震火災並に往年の三陸大强震の慘禍を憶はしむるものがある。

これ等同胞の言語に絶する大慘害の報一度傳はるや全國各地の同情は翕然として同地方民に集まり、又畏くも、皇室におかせられては、その被害甚大なるを聞召されて、痛く御軫念、直に側近者より被害狀況等の詳細な御聽取遊ばされると共に、罹災者御救恤の思召にて、近く御内帑金下賜の御沙汰あるべしと洩れ承る。

今回大震災に遭遇したる地方は我等の居住する滿洲とは地を隔つる數千キロの遠さにあるが、而も顧つて日本帝國の生命線滿洲を今日の王道樂土たらしむるに與つて最も大なる貢献を致したものは、實に東北健兒そのものであることを思ふとき、吾等在滿三十萬同胞の、同地方民並に其出身健兒に對する感慨は頗る深きものあり、この際吾々が起つてこれ等の地方民に對して同情慰問の意を表し、併せて邦家のため健闘する東北健兒をして後顧の憂ひなからしむるやう努めることは、吾々同胞としての義務であると信ずる。

是れ我社が在留同胞諸君に檄して、今次東北、北海道等の大震災地方に對する慰問金を普く募集すべく、玆にその趣旨及び要項を發表する所以である。

要項

一 金額 一口三十錢以上たること
一 受附 滿洲日報社事業部、奉天支社、新京支社
一 處理方法 相當額に達するを待ち、成るべく急速に内務大臣に傳達し、最善の處理方法を委託す

昭和八年三月五日

滿洲日報社

西本願寺僧侶 痘瘡に罹る

これで邦人患者六名

若草山西本願寺僧侶古川豐榮(二九)氏は五日午前發病したので櫻井醫師診察の結果痘瘡と確定、直に療病院に收容された、これで大連に於ける痘瘡流行以來邦人罹病者六名に上り益々罹病者續出の模樣で大連警察衛生係では大童となつて防疫に努めてゐる

天氣予報 六日

北西の風晴

各地の溫度 五日午前十一時

大連 零下一〇 旅順零下 七
新義州同 一〇 營口同 一一
奉天同 一二 新京同 一七

凌源攻擊の我勇士 凍傷し無念の凱旋

けさ旅順に四十名と 大連に百六十名到着

熱河討伐中凌源攻擊に參加中不幸凍傷に罹つた勇士四十名は五日午前九時十分旅順着列車にて着旅、米岡市長を始め官民學生婦人團六百餘名はホームより驛前廣場に堵列歡呼と歡激の間に迎送を受け四臺のバスに分乘それ／＼旅順衛戍病院に收容された、凍傷兵一同は米岡市長の挨拶に次で濱砂上等兵より謝辭を述べ出迎への看護兵の保護を受け白衣の痛々しい姿には今更出迎へ人一同息詰る感激にむせんだ、また北滿から近くは熱河方面における戰闘に名譽の戰傷を負ひたるもの或は不幸從軍中不測の病に冒された勇士等歩兵少尉宮本菊松氏以下百六十名は五日午前八時四十分大連着列車にて到着、驛頭には市長代理岡野助役、森本衛戍病院長、石井署長、山西滿鐵理事等其他知名士の顏も見え、在鄕軍人、學生團、各團體等數千の市民は歡激の裡に白衣の勇士を出迎へたが、一行は衛戍病院分院差廻しの自動車に分乘し關東倉庫に收容された、尚一行は四日到着の傷病勇士三十八名と共に六日朝出帆のばいかる丸で内地に凱旋すると(寫眞はけさ驛頭で)

圍碁は上達し易い

新研究法の發表

圍碁は將棋や五目並べより難しいやうに見えて却て覺え易いものであるから子供でも本筋を習へば初段位にはスグなれるが、素人同志で無法に打つては幾年も上達するものでもない

東京 阿佐ケ谷五二四番地圍碁研究會で今回發賣した七段加藤信先生校訂圍碁口授書は圍碁の定石互先定石と其變化三百餘手を一手一手につき直接先生が手を取り口傳する通り解りよく覺え易く秘傳まで講義してある

定石 をスツカリ習へば「鬼に金棒」で碁が強くなる資格が充分出來たのである、その上に井目八目七目六目五目四目三目二目相先の必勝の打ち方戰術がめい／＼わけて講義してあるから初心者でも

本筋 の此本につき研究されるなら一箇月を出でずして初段以上の實力を獲得されるのである

尚この外、名人大家の實戰解說詰碁、大開碁、長生、缺眼活等圍碁のありとあらゆる方面を詳說してあり一部(二冊)二百七十頁の

大冊 であるが今回新會員五百名限り實費一圓五十錢にて分讓する由且三十版記念に特製碁器一組及び實問券を無代進呈する筈なれば希望者は振替東京二一四三三番へ送料八錢を加へて拂込むか又はハガキで申込めば代金引換郵便で料實費でも送る

善鬼惡鬼 (6)

平山蘆江作　刈谷深隍繪

血は血を斬る(六)

折助は迂散らしく、ゴソリ〳〵さからかみを開けたり、臺所をのぞいたりした。たつた三間しかない家なので、お濱がいふ通り、たつた一人だといふことをすぐに突きさめたらしい。

そこで、お濱のそばに、どつしり大あぐらを組んで

「酒はねえかい」と下から覗き込んだ。

「ないよ」

「そんなら水一杯飲まして吳んなよ」

「勝手へ行つてお飲み」

「いやに見識ぶるぢやねえか」

お濱は、てんで相手にしなかつた。仕方なしに、折助が臺所へ出かけてゆくさ

「お前さん、ついでに雜巾と手桶を持つて來ておくれ」さお濱が呼びかけた。

「こいつめ、お客様を何と思つてけつかる」

ぶつ〳〵云ひはしたが、飲みたいだけの水を飲んでから、云ひつけられた通りのものを探して持出した。

「お拭き」

お濱は顎で差圖をした。

「なに」

「そこらの汚れものをお拭きさいふに」

土間や疊が、血だらけになつてゐるのに、始めて氣のついた折助が、雜巾手桶を持つたまゝ、へたばつた。

「ど、どうしたさいふんだ」

「早くお拭き、早くしないさ承知しないよ」

「へイ」

下郎ながくつかしながら、折助は云はれる通りに動きはじめた。

只の夜鷹だとばかり思つたのが、兎に角、小さいながら一軒住居の主婦を持つてゐるのだ——、入つても好いかさいへば、よろしいさ云はれるので、こいつはありがてえといふ氣持で李お愛嬌に、用をしてやつてゐる中、だしぬけに、黑血の流れを見つけたのだから、すつかり荒膽をひしがれて了つた。

うか〳〵したら、どんな掛り合ひにならうも知れず、さ云つて、下手に逃げ出したら、やつぱり何かの祟りが來さうな氣持で、只もう折助は、いはれるまゝに動いてゐる中で逃げ場をねらつてゐるのだ。

「拭いたらお使ひに行つておくれ」

「冗談ぢやねえ、おさなしくしてゐりや方圖の知れねえアマだ」

「默つていふ事をお聞き。禮は多分にとらしてやります」

「へへへ、畏まりました」

どうやらかうやら、血のあさを拭きとつてから、

「そこで、お禮といふのを貰ふ事にするかな」

さう云つて、相手の氣勢を見ながら、ぢり〳〵とお濱のそばへすりよつてゆく。

「一軒おいて隣が大屋の家です、傳助どのに、すぐ來てくれるやうにと、云つて來なさい」

何しろ二十二三の美しい女だし肉付のよい肌あひ、むつちりとふくらんだ乳房を衣紋の亂れから覗かしてゐるのだ、寢間着に前帶のまゝといふのが、折助の心をムヤミにそゝつてゐるのだから、たまらない。

「これさ、人をこき使ふばかりが能ぢやない。いくら渡りもの丶三下奴だつて、かうして引張りこまれりやあお客様だからなア」

充分、すきを見て、女の肌へかぢりついた。途端に、ヒシヤリ。お濱の平手が、折助の横ッ面を觀舞する。

「痛えやい、この野郎」

折助はさびかゝつた。

「無禮もの、さがれ〳〵」

女は金切聲をふりしぼつたが、造作もなく折助の膝の下に、引きしかれてゐた。

「へゝゝ、もうこつちのものだ」

ニヤ〳〵笑ひで顏をさしよせる折助の油顏を見て、お濱の口がカーッと開いた。

「アッ」といふ悲鳴で、折助は、でんぐりがへつた。螺旋をした、か喰ひつかれたのだ。

こんな騷ぎを聞きつけたのか、一軒おいて隣の大屋さんが、あたふたと驅つけた。六十近い實體さうな老人だ。

「御新造さま、何事がはじまつたのです」

怖る〳〵、二人の様子をあがり口で見てゐる。

勇退 吉住小之藏師 演奏會延期

長唄概會、吉住小之藏師の勇退披露演奏會は三月五日ヤマトホテルに於て開催の豫定であつたが目下熱河方面の情況緊張せる際遠慮のため當分無期延期する事となつた

うわさ話

ゆうべの映畫街は大雪にたゝられて足許が悪く近來にない不入の土曜日だつた▲チャップリンの「街の灯」で内地映畫界に羽振りのいゝところを見せて歸つた小泉友男氏▲歸連後も叉別の問題で引續き活躍中で常盤座は「地獄の天使」に引續き次週はフォックス映畫「貞操切符」と大物な連發▲日活館は三月豪華陣の第二彈として七日から日活の特別作品で久し振の夏川靜江主演現代劇「彼女の道」を上映▲「制服の處女」でクリーンヒットを飛ばした映樂館は近日寛壽郎プロ作品「丸橋忠彌」と新興特作品「渦卷」の新舊特作品二本立の優秀プロ上映▲寶館は次から次へと問題を起してゐる流行小唄「涙の渡鳥」の河合映畫近日封切を豫告▲藤原義江主演の「叫ぶアジア」は島耕二、千葉早智子ら第二班二十二名も安東線總田で既に奉天に到着し▲村岡樂童氏の別宅に待機中だつたが、準備完了し愈々撮影を開始した筈である

本社特選 新棋戰(其二)

平手番 香交　七段▲溝呂木光治　六段△渡邊東一

【圖は二四同歩迄の局面】渡邊氏持駒ナシ　溝呂木氏持駒歩

△二四飛　▲二三歩
△二六飛　▲八四歩
△七八金●　▲八五歩
△六九玉　▲八六歩
△同歩　▲同飛
△八七歩　▲八二飛

【土居八段講評】渡邊君の七八金は作戰を誤つてゐる、七七角と上つて敵の歩換へを豫防し六四銀なら、五七銀、七四歩、六六銀、三四歩、六八銀と指す方が得である。

【萩原六段解說】渡邊氏の二六飛は中段に構へて先手の利を飽く迄保持して發揮せんとの意味である、溝呂木氏の八四歩は相懸り戰に出たもので、此處で四四銀と出て中央より指す手法もあるが敵に飛車先を切られ二六飛と引かれたから、一歩を持たれて居る時は比較的中央の作戰は効果が薄い故に八四歩と指したのである、渡邊氏の七八金は相懸り戰にする意味であつて此處で七八銀と上り八五歩、七七銀と敵の飛車先を切らさない趣向もあるが、二六飛と中段に構へてゐる關係上先手の利を重要視し相懸り戰にする意味で七八金と指したのである、續いて六九玉も七七角と上る手段もあるが常の形に導き先手の利を發揮せんとする意味で六九玉と指したのである。

番號	曲名	作詩・作曲	唄
52533	島の娘	長田幹彦作詩 佐々木俊一作曲	勝太郎唄
	踊り子の唄	西條八十作詩 佐々木俊一作曲	四家文子獨唱
52477	小鳥が啼くのに	長田幹彦作詩 佐々木俊一作曲	四家文子獨唱
	秋の舟唄	西條八十作詩 佐々木俊一作曲	藤田正夫獨唱
52462	涙の渡り鳥	西條八十作詩 佐々木俊一作曲	小林千代子獨唱
	戀に泣く		德山璉獨唱
52546	哀しい女	阪口淳作詩 細田義勝作曲	小林千代子獨唱
	乾盃	西崎義輝作詩 阪東政一作曲	德山璉獨唱
52568	美しの今宵	佐伯孝夫作詩 ラモー作曲	小林千代子獨唱
	戀しきハワイ	佐伯孝夫作詩 アール作曲	藤田正夫獨唱
52547	月のゆくへ	西條八十作詩 全壽鶴作曲	李アリス獨唱
	戀の南大門		姜石燕獨唱
52419	あだなさけ	西條八十作詩 全壽鶴作曲	李アリス獨唱
	いとしきけむり		姜石燕獨唱
52416	大東京行進曲	西條八十作詩 中山晋平作曲	四家文子獨唱
	ミス東京	西條八十作詩 橋本國彥作曲	小林千代子獨唱

滿洲日報

支那軍の態度不穩化 山海關俄然險惡

綏中、錦州方面進擊の計畫に 我守備隊嚴重警戒

【山海關にて島田特派員四日發】わが熱河掃匪工作が着々進捗しつゝある折柄一方山海關方面の空氣は俄然險惡化しこゝ二、三日中が最も危しと思はれるにいたつた、卽ちこゝ數日來海洋鎭に在る何柱國軍の司令部は突然色めき立ち、何柱國を始め參謀副官等は連日會合して山海關の奪回及び目下熱河に出動して手薄となつてゐる綏中、錦州等までも占領すべく作戰計畫を練りこれに伴つて敵の第一線は俄然緊張兵力を增大し更にこれを應援すべく于學忠指揮下の灤河以西の部隊も續々灤河以東に移動を開始した、灤西の兵力は目下七萬と稱せられ、江岸の各部落は全部兵舍に充てられ、山海關の城壁に立つて敵陣を望めば騎馬兵が馳驅してゐるのを手にとる如く見ることが出來る、このため山海關方面の人心は極度に緊張しわが守備隊その他においても非常警備の配置につき嚴重なる警戒を續けてゐる

突如我警戒線を攻擊

支那軍の不法行爲頻々

【山海關五日發】四日午後八時九門口西門街千米突附近に現れた將校斥候らしき一隊の支那兵、矢庭に我が警戒線に向つて小銃を以て攻擊し來り、續いて二郎廟前面に於ても手榴彈を携帶せる一隊が我が警戒線を騷がした事實あり、又この日秦皇島より長城鐵道に沿ひ石門寨へ約一千の支那兵輸送されたとの報あり昨夜は我が城門警備隊では眞田隊長以下緊張裡に徹夜警戒に當つたが雪明り眞晝の如くでその後支那兵の襲來もなく無事夜明けとなつたが本日も警戒の手を緩めず萬一に備へてゐる

國境冷口を占據

米山先遣部隊が奮戰

【奉天電話】服部部隊の米山先遣部隊は五日朝冷口に於ける支那軍沈刻の率ゐる新編第一旅を擊碎し萬里の長城に日章旗高く飜る、時に午後零時二十分であつた、沈刻軍は曩に逃亡した丁輝春劉恕銘兩軍と國境南方約一里の建昌營に於て合體し、四日午後四時半再び米山部隊に猛烈なる逆襲を開始し、再び激戰を交へ建昌營から發砲された彈は我軍の駐屯せる桃林子（長城北方）に盛んに落下し、我が山砲隊はこれに應戰し長城を挾んで一時間餘に亘る大激戰が行はれた結果完全に支那軍が潰滅した、米山先遣隊はこの敵兵の暴戾なる敵對行爲に對し、當然これが徹底的禍根を除くため進んで追擊すべきであるが、長城を一步も越ゆべからずとの軍令のため長城の上まで登つたが一步も關內に進む能はず、算を亂して潰走する敵兵を眼下に見下しながら將兵一同無念の齒を喰ひしばつた

【桃林子五日發】激戰後の服部部隊、米山先遣隊は桃林子にて緊張せる一夜を明したが建昌營の敵集團は逆襲の氣配なく昨四日夕刻より今曉にかけ天津方面に敗走しつゝある模樣である、我が飛行機は時々飛來し地上部隊と連絡を保つてゐる、米山先遣隊將士の意氣頗る旺盛である

乾溝鎭に大軍集中

我軍の背面を脅す 長城を越ゆ北進の氣配

【錦州五日發】凌源より〇〇に向つて逃走する敵を急追して逸早く昨四日午後〇〇北方僅かに十粁の地點に到達した服部部隊と豫て相呼應して〇〇〇に向つて南進せる中村部隊は天候と險路に阻まれ前進意の如くならず行路難に惱みゐるを奇貨とし服部部隊の背面を脅かさんと敵は双山子、乾溝鎭に一萬の兵を集中漸次東北方の北章營子に向つて進出せんとしつゝありこの報を得た〇〇機〇〇臺はよき獲物御參なれとばかりこれを爆擊潰滅すべく本五日午前八時一分相次いで勇躍乾溝鎭上空に向つて出動した、尙ほ一方〇〇機は午前七時承德一帶の敗殘敵狀を偵察すべく出動した

【錦州五日發】飛行機の報告によれば服部部隊に屬する二部隊は四日午後二時四十分、北章營子西北方約十五キロ西合東西の線に陣地を敷ける敵に對し攻擊を加へて居る

【錦州五日發】双山子、乾溝鎭間に約一萬の敵兵集結し漸次東方に向け進出し來れりとの報に接しこれを〇〇すべく今朝同方面に出動した〇〇機及び〇〇〇機各〇機は零時十五分歸還したがその報告によれば午前九時三十分頃に從軍の行李、多數の車輛を有する部隊が乾溝鎭の東方ラハト附近に集結中の所、既に昨夜中に逃走せるものゝ如く乾溝鎭西南方哈叭省、双山子三合外房一帶に數百の敵を發見これを〇〇潰走せしめた、外三々伍々西と南の逃走中の敵らしきものを認めるのみで長城界嶺口に到るまでの間には集團的敵兵を認め[illegible]

中村部隊 前進開始

【新京電話】關東軍司令部發表＝豫て綏中に待機しありし中村部隊は昨四日同地を出發前進を開始せり、情報によれば乾溝鎭附近には尙有力なる敵匪殘留しあるを以て今後この同隊の活躍は期待せらる

又昨四日午後九時三十分冷溝北方約四里を南進せし服部部隊は既に冷溝を占領せるものと認めらる

服部部隊 交戰中

【錦州五日發】昨四日の空中偵察によるに服部部隊方面の戰況左の如くである

午後二時四十分北章營子の西南十五粁の西合東西の線には敵は相當堅固な陣地を構築し約五、六百の敵兵は之に據つて頑强に抵抗しつゝあり、わが〇〇隊はこれを攻擊中である、又我〇〇隊及びその後方連絡隊は午後三時凌源に進入し、而して服部部隊の主力は凌源冷口間凌源の南方五十キロ北公營子街道を前進中であるが天候不良のため空軍の連絡をなし得なかつた、乾溝鎭には大部隊の敵ある模樣であるが小部隊に別れて逐次西合方面に向つて前進しつゝある

高田部隊前進

【赤峰五日發】茂木部隊の入城に依りて赤峰に入つた高田部隊は部[illegible]

林西を占據

崔興武皇軍に投降

【東京五日發】陸軍省公表＝[illegible]軍の先遣部隊は三月三日林西を占據して熱河軍騎兵第九旅（崔興武）は皇軍に降服した

茂木部隊は赤峰を出發前進

【奉天電話】軍司令部發表＝西部隊方面の戰況速かに進展せるの報に接し〇〇部隊長はこれに協力せしむるため〇〇部隊を以て四日午後赤峰を出發先づ〇〇方面の敵を擊攘し遠く西方〇〇方面に逃走せしめた、又茂木部隊は四日午後赤峰發〇〇方面に前進し坂田部隊の作戰に協力す、〇〇部隊は四日午後八時頃黑水（赤峰東方約十里）に達し宿營した

圍場に入城

茂木部隊の先遣隊

【奉天電話】赤峰に入城した茂木

隊の警備を終り茂木部隊の後を追つて今朝圍場方面に向け前進を開始した

【赤峰四日發】〇〇方面の急速なる戰況發展の報に接した〇〇團長は〇〇方面の友軍に協力するため高田部隊を以て四日午後赤峰を出發し先づ〇〇方面の敵を打拂ひ長驅西方〇〇方面に進軍を開始せしめた又茂木部隊は四日午後一時赤峰出發〇〇方面に前進、高田部隊の作戰に協力するため行動を開始した

部隊の先遣部隊は圍場に入城したゞ

松田部隊 赤峰に入城

【赤峰五日發】松田部隊は四日午後八時頃赤峰東南十里の地點、黑水に突進し同地に宿營した、本夜中には强行軍を敢行し赤峰に入城の見込みである

神代部隊は圍場へ

五日夕入城

【奉天電話】久しく消息を絕つてゐた神代部隊は五日午後四時堂々と圍場に入城した

北方兵團南進

【新京電話】北方兵團の主力は四日赤峰を出發南進せり又松田部隊は同日午後八時赤峰東方十二里に達した

凌源附近の戰況報告

【錦州五日發】凌源に宿營せる〇〇團長の報告左の如し

一、凌源に駐屯しありし支那軍第一〇八旅は二月廿五日碌碡科方面に移動した

二、凌源に出動せる學良軍第三〇旅は第六八八團を葉柏壽に第六八六團を大杖子に第六八七團を[illegible]

三、朝陽で抵抗した董福亭旅長は朝陽葉柏壽間本道の南方地區に逃入した模樣

四、凌源に敗退せる第一三〇師も我が挺進隊の進出に踏止まれず

五、平泉に在りし第一二九師の第六八四團は楡樹林子（凌源西北方約十里）の地點に潛入せるが其後の狀況は不明である

その主力は山地に潛入した

國境廿五ケ所に稅關を新設

熱河幣の潛送を警戒

【錦州五日發】承德興業銀行發行の熱河幣は發行額三千五百萬元と見られその回收方法に就ては滿洲國財政部で極力考究中であるが同紙幣は天津方面で印刷され熱河に送られたもので將來多額の不換紙幣が天津方面で印刷され熱河へ潛かに送らるゝ憂ひあり極力警戒中である、同時に滿洲國側では國境長城線に二十五ケ所の稅關を設け出入を嚴重取締ると共に獨立不羈の滿洲國稅制を完全に熱河全省に及ぼす事となつた

南京政府 英國に縋る

【東京五日發】某所入電によれば南京外交部は三月三日附駐英公使郭泰祺に對し左の訓電を發した

熱河に於て支那軍が大敗したのは英國が傍觀的態度を採つたからである、今や戰禍は北支に擴大せんとし支那はこれ以上外人の生命財產の保護に任ずることが出來なくなつた、聯盟を牛耳つてゐる英國は宜しく聯盟の權威を保持する爲め日本に干涉壓迫を加へその鋭鋒を碎かれ度き旨を英政府と嚴に交涉せよ

天津軍司令官より祝電

【錦州五日發】天津軍司令官より武藤司令官に對し「猛烈果敢なる驀進に次ぎ承德占領の快報に接し謹みて貴軍の赫々たる戰勝を祝福す」との祝電が到着した

空陸から敗兵を古北口方面に急追中

【錦州にて板屋特派員五日發】皇軍の追擊により狼狽敗走中の敗匪の狀況は五日の情報によれば大略次の如し

熱河義勇軍の主力は、目下烏丹城より林西、林東に逃走し、次第に集結しつゝあるも烏合の衆なり、葉柏壽、建平方面にゐたものは山間を南方に逃走しつゝあり、孫殿英軍は我が〇兵の攻擊により赤峰西西方に逃走中、一部は我が後方にさまよつてゐる、日滿軍の最も力を注いでゐた葉柏壽、凌南線の陣地は冷口界冷口西南方に逃走中なるも我が先遣隊の追擊を受け山間を縫つて關內に逃げ込みつゝあるがその所在は全然不明である、湯玉麟は熱河を後に關外に出で北平に在るとの傳へられてゐるが、或はまだ國境線を彷徨してゐるかも知れない、我軍は最後の止めをさすべく目下空陸より古北口方面に急追中、要するに熱河十數萬の敵軍と湯玉麟を完全に潰滅するに至つたものである

萬福麟は一日凌源より逃走

【凌源五日發】凌源住民の語る處に依れば萬福麟は一日熱河軍指揮のために凌源に來たが二日の激戰に膽を潰し僅かの手兵と共に平泉方面に向けて逃走したものである

双山子に三百の敵兵

【奉天電話】關東軍司令部發表＝關外に向け蜘蛛の子を散らすが如く逃走しつゝある敵を追擊しつゝ五日早朝出發した我が〇〇飛行場の草野大尉編隊の〇機は翼を連ねて正午過ぎ歸來したがその報によれば山海關北方約六十キロの双山子の北方三合房に約三百の敵をみ數箇の爆彈を投下し、殆ど敵を潰滅せしめたが、その他には敵影を認めず、敗匪の行方を〇〇機により搜査中、双山子は省境線冷口の北方約八里の地點である

紊亂を極めた熱河省財政

白日の下に暴露さる

【承德五日發】湯玉麟の天津方面逃亡に依り紊亂を極めた熱河省財政の內容が白日の下に暴露された、卽ち熱河の稅收は年額約六百萬元で其大部分は禁煙罰金で右は約四百二、三十萬元に達してゐる而して六百萬元の稅收中四百五十餘萬元は軍費として使用され政治費は年額僅かに十五、六萬元に過ぎず殘額は何處へ消えたかまるで支途不明の有樣である、更に湯は禁煙罰金の徵收場たる禁煙辦事處をその息子に管理せしめなり纏まつた帳簿があるではなし熱河全省阿片の番人であつた彼の徹底的な搾取ぶりは實に驚くべきものである

正規軍一萬以上關內へ敗走

【桃林子五日發】冷口稅關吏の談によれば四日の曉から關門を越えて直隸方面に敗走せる張學良正規軍の數は一萬人以上であると

米山部隊戰傷者

【錦州五日發】我が米山先遣隊の凌南進出迄の損害左の如し

▲戰死　步兵第〇〇〇聯隊第〇〇隊山崎上等兵

▲負傷　同第〇〇隊藤堂中尉

井上司令官談

【山海關四日發】井上獨立〇〇隊司令官は四日午後一時半着關、南門に登り城壁を巡回し親く今次の事件のため犧牲になつた將士の爲め遺靈を慰め夫れより〇〇隊を[illegible]

支那軍潰滅の原因

數へられる重大點 關東軍喜多大佐談

【錦州にて板屋特派員五日發】滿洲國最後の癌熱河討伐は列國環視の裡にありて皇軍の驚異的活動に依り首都承德陷り一段落を告げた形であるが支那軍は我に十倍する兵力を有しながら斯く脆くも潰滅したるについて事件以來寢食を忘れて作戰に從事した關東軍第二課喜多大佐は五日喜色を滿面に湛えて左の縱橫談をした

事件突發當初の熱河には支那側兵力は在來の正規軍四個師に增員二個師團を加へ更に義勇軍三旅團、土着軍三旅團之に雜色軍を加へると優に十五六萬に達する勢力であり戰端が開かるゝや更に關內より學良直屬軍五六萬が增員した、その上既に昨年來堅固な陣地を構築しながら事實の樣に脆くも皇軍の馬蹄に蹂躪さるゝに至つた、この理由を擧げてみると

（一）反滿軍には統帥の主權が確立せず作戰が出來てゐなかつたこと、殊に開戰直前まで統率者たる張作相が關外にぐづ〳〵してゐたこと

（一）指揮の系統が確立してゐなかつたこと、例へば第十九、三十、二十九といふやうな師團は昨年十二月末から來てゐながら今日まで呆然として軍の配備をなさず防禦陣地も極めて不完全のまゝであつたこと

（一）最も拙劣であつたのは我軍攻擊の直前に二ケ月も前から居た百九師と到着したばかりで地勢を知らない百八師と交替させたこと

（一）廣大な地域に兵力をバラまいたこと、赤峰、葉柏壽、乾溝鎭に至る日本里數六十里に亘る地域に一師兵をバラ〳〵に[illegible]ところが出來てゐたこと、十里に及ぶ戰線に八千位の敵で正面を守つてゐるといふ例も珍らしくない

（一）部隊の素質が劣惡で犧牲的攻擊精神に乏しく全く烏合の衆であつたこと

（一）地方住民の民意を失つたこと、湯玉麟以下久しきに亘つて苛斂誅求したため熱河省民は完全に軍隊を離れ二月二十五日朝陽附近の戰鬪における董福亭の第百七旅は我軍の攻擊によつて二十七日未明ぞく〳〵後退しつゝあつた際通過する部落の民團或は自衞團から射擊され遂に棄てられたこと、又松田部隊が建平に向つた際その前面の第百八旅の如きは人民を使用して陣地を造つてゐたが住民は途中から逃げ出して了ひ陣地構築中途で中止のむなきに至つたこと

これを要するに支那軍敗退の根本理由は統帥權の不確立兵質の劣惡、民心離反といふことに歸着するのであつて、陛下の赤子の皇軍には齒牙も立て得なかつたのが當然である

古都承德城

皇軍入城を喜ぶ市民

【錦州にて南里特派員五日發】四日承德に入城した川原部隊は離宮內の省政府をそのまゝ本部として商務會その他省城各種團體を通じ市民は安んじて業に就くやう布告すると共に省城の治安維持に任ずるところがあつた、離宮外側を流れる

灤河は堅く凍つて白銀の帶狀をつくつてゐる、その川を境にして北は女性的山麓に輪奐の美を極めた純西藏式の大寺院が現在二十數戶にわたり、南は堂々たる城壁をめぐらした離宮、廣大な規模、宏壯善美を極めた宮殿側へ奮軍閥に荒されたとはいひながら廣々たる池に架けられたる石橋、古びたれど熱河市街を俯瞰する十二層の塔、鬱蒼たる老大木の間に悠々と遊ぶ鹿の群、大清朝時代の豪奢をしのぶには十分である、市街は離宮外に相接し

頗る殷盛を極めてゐる、王道政治を欲求してゐる省城民は皇軍入城を待望して双手をあげて歡迎してゐる

巡視力强い訓示を與へ一先づ〇〇部隊に落着いたが折柄皇軍承德入城の報を齎し訪問すれば微笑を含みつゝ語る

早かつたと云ひたいが先づこんなところだらう、然し孰れにしても折惡しく天候不良で寒いため相當行軍難であつたらしいのに善くこれだけの成果を收め得たものだ、後方に在つて感激これに過ぐるものはない、これで熱河は一先づ平定し滿洲國も盤石だ、殘るは平津地方だが支那にも自ら期する所の輿論あるべくお互ひに成行を靜觀することにしよう

熱河省北部に敗血症續出

國務院で對策に腐心

【錦州五日發】滿洲國々務院錦州辦事處では熱河北部內蒙古に接する地方住民間に敗血症にて斃れるもの續出しつゝあるのでその對策に就き腐心中である、熱河北部內蒙に接した地方では從來年額二萬五千斤內外のお茶の需用があつたが最近支那の內亂北支の動搖、熱河省內の叛亂等から輸入全く杜絕しハルビン地方から輸入されつゝあつた蘇聯からの貨物も昨年の洪水で悉く腐敗した爲め輸入全く絕え同地方の住民としては茶は贅澤品ではなく健康上の必要品となつてゐるので之が杜絕からビタミンの缺乏を起し敗血症續出するに至つたもので國務院出張所では田々しき大事として之が輸入に就き極力運動中である

見送りませう 名譽の傷病兵

けさ十時はいかる丸で凱旋

來年度豫算案に決議案提出

【東京五日發】衆議院は來年度豫算案に對し無修正鵜呑みにすることは明瞭な事實である、たゞ問題は二十二億餘圓の大豫算を鵜呑みにする未曾有の出來事で餘りに愼重審議を盡さぬ嫌ひがある、よつて財政問題、滿洲問題に關し非常時局の重要點につき決議案を提出して政府を督勵鞭撻することゝなつた、この決議案として何等政治的影響については豫想して居らず全く時局を憂慮した結果に外ならぬと稱してゐる

蔣支那公使五日歸國

【東京五日發】駐日公使蔣作賓氏は五日午後六時橫濱發プレシデント・フーリクブランド號で賜暇歸國の途に就くに決した、同公使は午後四時過ぎ自動車で橫濱に直行するが公使は一切時局外交談に渉るを避け、櫻咲く頃歸任するか否かは未定である

滿洲國政府印刷工場

【新京電話】滿洲國總務廳需要處印刷工場はいよ〳〵機械据付完了したので近日中に業務を開始することゝなつたが右工場では政府公報及び政府の機密文書の印刷のみをするものでその他は民間に委れても差支ないものは從來通り民間業者の手に委せ以て民間のこの種事業の發展に資することゝなつた、しかしながらこの種の印刷のみではその收支つぐなはないので之に要する經費は需要處の經常費をもつて充てる筈である

滿洲對策同志會懇談會

【東京特電五日發】衆議院各派有志より成る滿洲對策同志會では九日午後四時より議長官舍に目下上京中の鹿谷奉天商議會頭、田邊元滿鐵理事を招待し五十餘名の會員出席の上滿洲問題に對する懇談的研究をなす筈

特派員更に增派

皇軍承德に入城し熱河省の大半わが威風に靡きて掃匪事業完成に近づきたりとはいへ、なほ張學良便衣の匪軍は策動やまず戰局漸次擴大して來たので本社は一層報道の敏速正確を期するため讀者に特派した八記者の外更に一名を增員して五日夜前線に向け急行せしめました

三月六日

寫眞課員 佐內繁雄

滿洲日報社

社說 地久節の御祝

本日は我皇后陛下第三十二回の御誕生御祝日に當る。陛下が御坤德高くましまし、殊に御仁慈の御心深く渉らせ給ふは、萬人周知の事である。是れ長くも御天成の然らしむる所ではあるが、御幼時よりの御修養も並々であらせられざりしことも承はる。されば、暇々として進轉已まざる我國の國母陛下として、國民擧つて敬慕し奉るのも偶然でない。

◇

皇室は我國德教の中心にまします。我憲法に天皇は帝國を統治すとあるが、それは西洋流の政治の事ばかりでなく、德教にも關する事である。德教の一部として政治があり、政治は西洋式の法治一點張りでなく、天道を明にするといふ所に我國體の特色がある。天皇の御位を天つ日嗣と稱へ奉るによりても之れを知る事が出來る。

◇

されば兩陛下が我國德教の中心にて渉らせ給ふのであるが、天皇陛下は殊に政治上の（德教より分化せる）萬機を總攬し給ふによりて、日常多端の御政務に御勵精遊ばされる間に、皇后陛下には專ら文化、仁愛、風教の方面に全き御姿を示現し給ふ。是れやがて我國女性の範を示し給ふわけである。我國民が天長地久と兩陛下を言ぎ奉り、地久節に當りては、殊に國母陛下の萬歲を祈り奉る所以は此處にある。

米國新大統領と二大問題

米國第三十二代の大統領ルーズヴエルト氏は三月四日就任した。久しき間の共和黨政府から、民主黨政府になつたので注意を惹くのだが、差し當つての問題として世界不景氣恢復の爲めに如何なる政策を執るかの問題と、極東日支問題に對する態度とが、內外の齊しく注目する所であらう。何と云つても不景氣退治が米國全民の最も深刻に期待する所であるに相違なく、日支問題の如きは、不景氣問題の一片として考へらるべきものである。

◇

フーヴアー大統領は不景氣恢復に最も力瘤を入れたのだつたが、力點の捉へ所が違つたと見えて、あがけばあがく程不景氣を大ならしめた。固より不景氣は世界的のものであるが、アメリカの財力を以てすれば歐洲の景氣を恢復して米國に活氣を與へ、以て世界の不況を恢復せしめ得なければならぬ筈だ。フーヴアー氏もその積りで努力したが、努力は益々結果を惡くするので遂に多數に見離されて、選擧戰に慘敗を見るに至つた。ルーズヴエルト氏は此點に鑑みて恐らく變つた方策を執るであらう。此點に最も力を入れるであらうことは、その國務長官と財政長官とに財政通を捉へ來つたことによつても推測される。

◇

日支問題に關しては、如何なる理由であるかは不明であるが、スチムソン國務長官が異常に力瘤を入れた。南北アメリカ洲以外の問題に、斯くの如く力を入れるのは米國の建國精神に反する事で、深入り過ぎると吾人が屢々評論したのであつたが、米國でも矢張りその感があつたものらしく、此の爲めにフーヴアー氏の大統領選擧戰に甚大な不利を與へた。蓋し東洋の平和を維持する實力を有する日本を驅逐し、自國の和平をすら保つ能はざる國民政府を助け、場合によつては好貿易國日本と事を構へんとするが如き政策は、不景氣恢復の政策に反するものであるからだ。ルーズヴエルト氏は此の事情をも知り居るに相違なく、此點に關して相當の顧慮を拂ふ可きは推測される。

米の銀行業務制限 遂に全米に波及
唯一のべ州も休業聲明

【ウヰルミントン四日發】米國四十八州中銀行業務を制限しない唯一の州であつたベラウエア州も大勢に抗し難く今夕遂に六日より當分銀行休業を實施する旨聲明した、これで銀行業務の制限は遂に全米四十八州及びコロンビア地區の全部に及んだ

金本位制危し
わが財界方面の觀測

【東京五日發】アメリカの金融恐慌は遂に全米四十八州に波及して支拂制限乃至休業をなすのやむなきに至りこれに對する新大統領ルーズヴエルト氏の對策如何は全世界注視の焦點となつてゐるが、この對策はニューヨーク州銀行の休業最終日たる六日迄には何れにしても具體的對策を緊急とされてゐる、しかしてこの

對策 につき外電及び同國現下の情勢に鑑み觀測するに取敢ず應急策としては全米銀行に對する大體的預金支拂保證の特別緊急法案の不可避とされるがドル價に對する內外不安極度に達した今日國內の金兌換の欲求金退藏は益々激化するものと觀られこの結果は準備銀行の金準備率を著減せしめ中央銀行の地位を危殆に陷入れしむる懼れがあるので金の兌換停止は今や不可避必至のものとされ更にこれと共に金の買上げ流出も目先きを覘ふ各國金融業者の思惑を刺戟して金輸出再禁止を餘儀なくされるものと解される、かくて從來兎角世界の

堅壘 と信任されてゐた米國金本位制は今や陷沒の瀬戸際に押詰められたわけであると我財界では觀てゐる

我國への影響
金輸出を禁止せば 輸出入ともに打擊

【東京五日發】米國の金融恐慌は停止する處なく遂に五日入電によれば銀行休業は全米に波及するに至つた、此金融恐慌に對しルーズヴエルト大統領の敎書は極めて抽象的であり如何なる對策が講ぜられるかは來る七日議會の召集に何等かの提案を見るまで判明しない譯である、而して我が國に及ぼす影響に就ては從來米國財界の不況及び對支問題等の關係から既に生絲その他の對米輸出は打擊を受けてをり著しい打擊はないが、その對策として識て注目せられてゐる金輸出禁止等が愈々實現するとなれば爲替相場の變動を來し輸出入共に打擊を受ける譯である

米國の悲劇へ
再禁止までには餘裕

【東京五日發】農業恐慌に端を發する國內的不況及び自給經濟への道を辿りつゝある列國經濟界の動搖に因る國際環境の惡化の二大原因によりアメリカの繁榮の夢は破れ今や悲劇からアメリカの悲劇を演じようとしてゐる、而して之が金輸禁止に迄發展するやに就ては我が財務當局、民間貿易筋の觀測を綜合するに尠くも金再禁止の如きは當面の問題となるには餘裕があるだらう、只現在のアメリカの外國短期貸金は僅か七億のみで之が引出の餘地尠きも地金高價に依り金兌換と金死藏の現象起つて來る場合が最も憂慮されると云ふに在る然し今回の恐慌が米の再禁止の前提とはならなくとも再禁止の必然性へ其道を開いてゐる事に就いては政府財界の有力者中でも之を承認してゐる者が少くない

深井日銀副總裁談

【東京五日發】深井日銀副總裁談 米國の銀行休業は遂に全米に及んだやうであるからその對策を講ずることがルーズヴエルト大統領の就任早々の緊急問題である單に金本位を維持すると云ふなればモラトリアムを施行して預金の支拂を制限すれば足るけれども一方に金融界財界の機能を維持することも考へねばならぬ、こゝが當局の苦心の存する處である、ルーズヴエルト大統領の敎書の中には預金支拂のために必要なる通貨の供給をするが金本位は棄てない意向を仄めかしてゐるので金本位維持には努力するであらう

爲替市場は取引休止

【東京五日發】米國金融恐慌の餘波を受け建値發表困難の關係より六日の爲替市場は取引を休止する事になつた

皇軍の承德入城で 熱河政治工作開始
各職員は既に勇躍任地に出發
第一期計畫の全貌

【錦州五日發】皇軍の承德入城と一しよに滿洲國側では一轉建設工作に向ひ熱河全省に亘り政治工作を開始した、即ち國務院錦州辦事處では國務院主計處總務科長古海忠之氏以下十一名が熱河政治工作に晝夜兼行大活動を續けつゝあり、一方民政部總務司長中野琥逸氏は承德班、朝陽班、赤峰班を組織し數日前行政指導官として勇躍各職員と共に任地に出發した、而して建設工作第一期計畫の全貌は左の如きものである

一、政治工作

（イ）先づ各地自衞團をなして日滿軍と協力し治安の確立を圖り省政府並びに各縣の接收を斷行する

（ロ）國境確保のため長城の線に沿ひ○○を敷くと共に、赤峰以北の地域を熱河省より引離し興安西分省に移管する、旗縣に就ては從來通り旗は旗、縣は縣の組織を其儘踏襲する

（ハ）熱河省長の後任に就ては種々取沙汰されて居るが今の所では張海鵬將軍の呼聲が高い

二、電政郵政の接收

從來實質的には天津管理局の管下にあつた熱河全省の電政、郵政を滿洲國奉天郵政電政管理局に接收すると共に文化から取殘された熱河にスピード時代を現出すべく奉天電政局員藤知氏以下四十三名は各任地に向け出發した

三、民衆救濟法

（イ）虐政の後、物資缺乏の爲め瀕死の狀態にある熱河省民へのカンフル注射として窮乏せる地方民に食糧品、靴等を給與する、これが魁けとして昨日先づ朝陽の窮迫民に高粱、靴及び二萬元を贈るに決した

（ロ）地方民を救濟する一方阿片買收の目的を以て民衆の必需品と阿片の交換、或は現金買上げをなす

（ハ）熱河票の回收は勿論これを行ふ計畫で同票發行額は大略三千五百萬元と見られてゐるがその回收率等に就ては目下銳意考究中である

斯くて熱河全省に王道政治の光が輝き始めた

熱河省北部を興安に移管
蒙古人の蒙古を實現

【承德五日發】熱河省北部西喇木倫河は承德占領と共に熱河省より引離し興安省分署に移管するに決した、即ち經棚、林西、林東、天山、開魯及び通遼以北興安省分署に移管、同地方は從來の旗そのまゝに存續し所謂蒙古人の蒙古を實現せしめることゝなつた

歸順兵で 工兵隊編成

【奉天電話】奉天省警備司令部ではさきに四角地帶の討伐において武裝解除をなした同地靖安公安隊の六百名のほか海龍ほか百三十名 昨年末東邊道等の歸順匪約八百名を歸農せしむるか滿洲國正規軍に編入すべきかについて處分方法を考慮してゐたが今回司令部は新たに工兵隊を編成し、それら歸順匪を編入せしめて第一大隊の編成を終り過般來奉天北大營で工兵作業訓練中である、もしそれが成功したら今後は歸順匪を工兵隊に編成する

滿洲中央銀行 第一期業績
（下） 榮厚總裁演說要旨

通貨の安定に就ては發行の調理準備の充實及び活用に意を用ひ公定比率の周知徹底に努力したる結果流通極めて圓滑にして全く通貨の安定を見るに至れるは邦家のため何等の故障なく國幣の普及も見、發行高は一億四千二百二十三萬四千八百七十二圓三角四分より漸次減少し大同元年十月十一日一億一千八百八十七萬二千四百十四圓九角五千百八十六萬五千三百九十五圓八角七分を以て越年し、之に對する正貨準備は最高八千五百三十八萬九千四百七圓四角七分（十七日）最低六千三百六十六萬一千二百九十一圓四角六分（十月二十八日）にして五割九分乃至五割二分を保ち決定準備率三割の約二倍を保持するの好成績を示してゐる、而して正貨準備以外の殘額は全部法定の保證準備を保有してゐる、本行開業以來十月中旬に至るまで發行高の漸減せるは滿洲國經濟狀態の自然の歸趨にして滿洲國に於ては特產物の出廻り期節即ち冬期は閑散期なるが故に發行高も亦これに隨伴するに外ならぬ

本行は通貨整理統一をなすと共にその安定に努力し更に重要物產たる農產物に對する低利の金融に任じ地方經濟の救濟資金の供給をなし以て經濟產業の振興に資せんとするものである、また從來滿洲に於ける金利は非常に高率でありその上各地方の幣制は通貨不統一のため國內に於て各地間に恰も外國爲替の如き觀を呈し爲替料の如きも著しく高率にして金融の疎通を缺くこと甚大であつた、然るに本行開業後は統一せられたる通貨の下に爲替料を逓減し金利の引下げを行ひ以て國內金融の疎通と產業の發達に備へてゐる、なほ天津、北平、上海、日本各地との爲替取引を開始し外國取引に對しても不便なき如く期してゐる次第である

×

この外本行は國庫事務の取扱ひに任じ建國公債の取扱の事務を處理するなど國家財政に對して應分の努力をなしつゝある、本行當局の業務成績に關しては未だ開業早々の際にて特に見るべきものあらずと雖も預金、貸出、爲替共に極めて順調に進捗し舊行號の引繼資產の整理も完了し四行併合統制に就ても着々準備を進めつゝある故本期に於てはその實績を見よう、尚附屬業務に對しては中央實業局を特設し舊行號より引繼ぎたる附業の監理運用に當らしめ、且つ引繼ぎの本旨に悖らざる樣努力しその分離獨立に必要なる準備を進めつゝある、本行が創業早々多事多端なるにも拘らずその基礎を安固ならしむるを得、且つ望外の好成績を擧げ得たるは一に政府當局の指導よろしきを得たると、善隣日本官民各位の厚き同情とによるもので、こゝに謹んで感謝の意を表する次第である（完）

大連市八年度 一般會計豫算
（四）……小川市長の說明

次は昭和八年度大連市特別會計市營住宅經營の歲入歲出豫算であるが市の經營する市營住宅は第一次計畫として金百萬圓の低資による分が大小三百九十戶、普通住宅および二十九室より成る單身住宅とで昭和四年度に元兩靈土地經營特別會計剩餘金を以て建築した桔梗町市營住宅四十八戶および昭和五年度遞信省簡易保險積立金により建築した白菊町市營住宅九十六戶で合計五百三十四戶の普通住宅に二十九室の單身住宅である、この本年度歲入は先づ家賃收入に於て前年度に白菊町および桔梗町住宅を除く三百八十九戶および單身住宅二十九室に對し家賃値下したのと本年度は家賃十一ヶ月分を見込んだ爲合計十二萬五千二百四圓となつて前年度より三千六百四十七圓の減收となつたが上述の家賃十二萬五千二百四圓と繰越金二千圓および雜收入五千二百四十九圓を加へ歲入合計十三萬二千四百五十三圓となつた、之れを前年度豫算に比すれば六十四萬三千八十七圓の減收となるが之れは前年度に於て建設費償還變更計畫に依る五十九萬圓の市債を計上した爲めで本年度は此の市債は計上する必要なかつた故である

歲出に於ては前年度に比し修繕費に於て三千四百四十圓を增したが年々破損箇所の多き爲め且つ出來るだけ借家人に不快を感ぜしめざる樣增額したがまた火災保險料が前年度より四百四十九圓減したのは前年度實際契約保險料に據つて計上した爲めである、管理費五百七十八圓の增加は本年度吏員の昇給および之れに伴ふ手當、住宅料および賞與の自然增額と滿人雜工一人增員したゝめで、公債費三萬三千三百圓の增加は舊市營住宅と白菊町市營住宅との認定年賦償還金が七萬六千百十七圓を要するためであり、以上歲出合計十一萬九千八百八十二圓となつたので之れを歲入合計十三萬二千四百五十三圓より差引き殘金一萬二千五百七十一圓を豫備費に計上した次第である

昭和八年度特別會計質舖經營歲入歲出豫算は質舖の利用相當多きため貸付金回收金を前年度は十五萬圓なりしを十五萬九千三百錢と見積り前年度に比し九千三百圓を增額計上した、また利子收入も貸付金增額に伴ひ一萬八千三百七十二圓と見積り前年度より一千九百九十二圓增額したので差引三百九十二圓の增加となつた、次ぎに繰越金に於て昭和七年度に相當多額の流質品處分を行つたので同年度歲計剩餘金として三萬三千圓を繰越し得る勘定となつた結果前年度に比し四千八百十一圓を增額計上したのである、また雜收入に於ても繰越金の增加に伴ひ預金利子收入の增加を見込み前年度に比し三百二十八圓をこれまた增額計上した、斯くて歲入合計は二十一萬一千六百五十七圓となり前前度に比し一萬五千五百三十一圓の增加となつたのである

之れに對し歲出に於ては事務費に於て右の如く利用者が增加したのと流質品處分の度數增加の爲め之れが處理を完全にするため書記補一名、小使一名を增員し囑託一名を減じたる等差引一千四十六圓を增加したが、なほ貸付金は前年度に比し四千圓を增加計上し而して以上の歲出合計は十七萬八千四百圓となつて之れを歲入合計二十一萬一千六百五十七圓より差引きその殘額三萬三千二百五十七圓を豫備費に計上した次第である

八相（投書歡迎 五十行以內 匿名はよさず）

國旗を尊べ　すみれ人

◇いつも問題になる極めて陳腐な事ではあるが、三月一日大連神社附近の路上に散らされた紙の國旗を、心ある者は何と見るであらう。

◇愛國デモ勿論大贊成だが、一人一々が手にする紙製の國旗は日の丸と五色旗とに區別なく—もう少し國旗そのものを尊重するやう特に若人の社會的訓練を強調したい。

◇國旗の蹂躙（？）を見るにしのびない。紙による金の問題ではない。國旗を粗末に取扱ふ各人の、國旗に對する觀念そのものである。

◇恐らく、これは元氣に任せて、國旗を振りまくつた跡ではあらうが、心掛け一つで、手製ハンケチの國旗も出來ようではないか。

◇布切の國旗だから大切にして、紙だから粗末にすると云ふ理由は成立しない、國旗と云ふものは、戶毎に掲揚するもの、みが國旗ではない。

◇これから、時局に關係して、種々なデモが催されるだらうが、手にする國旗を御互に大切に取扱ひませう。特に若い學生諸君に切言したい。

學術的公園を　同好生

◇旅順後樂園の溫室內植物を斯界の權威佐藤潤平氏の手により整理されたといふので日曜日に子供をつれて大連から觀に參りました、たしかに面目を一新されたといはれませう、各植物には一々名札が立てられ、類似のものは同一場所に並べられ實に我々には本當に參考になりました。

◇これまで不明であつたものもよくわかりました、今後は種類も充實されることでありませうし園內も溫室內の如く、各植物には名札がつけられることでありませうから大いに世を益することでありませう。

◇こんな學術的公園が大連にも是非必要であると思ひます、滿鐵又は市あたりでこんな計畫を一日も早く考へられて欲しいものであります、強つて當局に切望する次第であります。

人事

▲山內靜夫氏（陸軍中將）同上遼東ホテルへ

錦州に戰鬪司令所が出來、武藤軍司令官此處に納まる、當分此方面油斷が出來ぬ、滿洲國最後の仕上げが必要だ▲相も變らぬ支那側の後方攪亂、但し前方が餘り透足早く、後方攪亂の手が出ない▲それもあさからくと摘發され、覺の手覺の足、切られ封ぜられ、動きがされぬ▲利によつて動く者と義によつて動く者と、前方にしろ、後方にしろ到底太刀打出來る筈なし▲幾十萬の潰走兵、如何に始末づけるか、よそ事ながら氣にかゝる、敵震の兵で武裝解除さか、裸の人間なここに追つ攜ふつもりだ▲非人道ない支那の國情、國際聯盟あたりの空論論者、刮目すべし▲平津に押しかける北支軍閥、非人道ならざるを得ない支那軍閥、愈々學良地盤の爭奪、具合よく之れを接收せんとする蔣介石▲此形勢を利用して蔣介石を北方に押し出さんとする南方反蔣派▲毛蟲を雀が狙へば、雀を狙ふ凸坊の空氣銃。

滿日各地版

千山湯崗子中心に一大國立公園設置
鞍山地委當局に要望

【鞍山】次回の滿鐵地方委員會議長會議に鞍山地方委員から提出すべき問題は左の通り決し四日滿鐵地方部當局に提出された

一、沿線適當なる箇所に甲種程度の工業學校設置の件
滿洲に於ける男女中等程度の教育施設は稍々完成の域に達せりと雖も今尚中等程度の工業學校は撫順に於ける特殊工業實習所を除く外は其施設無く教育上遺憾の點あり滿洲將來の工業發展に備ふる爲め此際速かに之を設置されん事を望む

一、千山湯崗子を包含し一大國立公園の設置を滿洲國並に滿鐵に要望の件
今や滿洲國成立し王道政治行はれ治安維持全く成り諸種の産業は開發されんとす、此秋に當り湯崗子靈泉及千山の仙境を利用し相當の施設を施し日滿人に清新なる慰安を與へ以て滿蒙開發の一助とし度し

不良賣藥行商人出沒

【奉天】最近沿線各地に不良賣藥行商人が出沒するので各警察署に於ても嚴重取締中であるが六分縣北海部郡生れ沙河口大正通り居住賣藥行商人木邊重四郎（三）は開原鐵嶺、蘇家屯等と神出鬼沒し警戒網から逃れ不正賣藥を行つてゐるので各警察とも協力して同人の所在搜査中であるが一般市民も特に注意されたいと

……しす、川石まつ、加藤叔子、能重三重子、小杉きよ、小坂はま櫻井きみ、石川好、長谷川さき大井初美、吉田むら、高橋ひさ高橋まさの、小西君江、池田北津、阿部きみこ、末光精、森山すゑ、使丁荒木正秋

二月中の有賃乘車人員
四平街驛

【四平街】四平街驛の二月中有賃乘車人員は一、二、三等合せて一萬八千四百八十七人でその內譯は一等三十五人、二等三百四十六人三等一萬八千百〇六人、切符の賣上高が急行劵並に寢臺劵の一千七百七十三圓四十六錢を加へて三萬五千六百六十三圓四十六錢で、一月末の一萬九千九百四十四人（三萬九千八百五十五圓九十七錢）に比較すると稍々見劣りするが、これは時日に於て三日間の減少だから先づ順當と見て良し、更に昨年の二月末總計に比較すると、人員に於て六千二百八十四人の增加、賣上高で九千二百九十二圓七十三錢の增收を來してゐるが、事變の一段落と共に更に增收を期待されてゐる

陸軍記念日に旅順の催し
模擬戰のみは取止め

【旅順】來る三月十日第二十八回陸軍記念日祝典實施に就き四日午後二時から旅順偕行社に於て各方面代表者參集協議會を開催の結果旅順の行事として例年の呼物たる模擬戰は本年は陸海軍共不在且又一、二學校も都合惡しき爲め遺憾ながら中止する事となつたがその他の事項は左の如く決定實施する事となり同三時四十分散會した

▲煙花火打揚　白玉山南道モータサイレン附近午前九時二十分白玉山祭典開始前、同十時四十分國旗揭揚式十分前各二發宛尙當日は晝夜に亘り約三十分の煙花打揚を行ふ
▲招魂祭典　白玉山納骨祠前午前九時三十分開始
▲國旗揭揚式　東本願寺上廣場午前十時五十分
▲戰勝報告並武運長久祈願式　午前十一時
▲祝賀會　正午昭和園（會費五十錢、九日正午迄市役所庶務迄）
▲講演と映畫　午後二時女學校、午後六時三十分昭和園等にて右講演者には陸軍將校二名を煩はし映畫は係員に於て選定する事となり係員を選定した

救護班着遼

【遼陽】日本赤十字社の臨時第十九救護班は旅順に於て編成中の處四日午前六時四十二分着列車で來遼直に遼陽衞戍病院に勤務することになつた同救護班の編成は左の如くである

▲班長（醫員）岡本不二雄▲書記馬場音次▲婦長御手洗うめ▲看護婦宮崎そめ、山脇さし、石川

各地片々

◇鞍山　鞍山小學校では本年度新入學生二百名の齒の檢査を來る十三日午後一時から二時まで學校に於て實施すると

◇遼陽　遼陽赤十字支部では衞戍病院入院中の傷病兵慰問の爲め有志から雜誌を集めて寄贈中であるが四日迄に六百餘册を更に近日贈呈の準備中であるので篤志者は同支部まで申出でられたしと

◇遼陽　遼陽縣の警備工作は着々進捗しつゝあるが四日更に鈴木屬官、長濱指導官、公安局司法課長の一行が城西大砂嶺に向け出發したが一行に先だち警察第一中隊長張國忠は部下五十餘名を率ゐて出發した

◇奉天　三月四日午前十時より總領事館法廷において左記の判決言渡しがあつた
△原籍石川縣、奉天商埠地三經路滿田政吉（三〇）は詐欺恐喝で懲役一年
△原籍石川縣、住所不定雜誌記者大野川定男（二五）は同上にて懲役六ケ月二年間執行猶豫
△原籍靜岡縣、住所不定立林寅吉（四二）は阿片罪にて懲役一年

◇奉天　去る一日市內千代田通九番地木村電氣商會では電信用銅線五百斤を皇姑屯の倉庫から窃取されたので奉天署に於いて犯人搜査中三日午後九時頃その一人京城生れ朴定福（二二）を逮捕し彼の自白で西塔大街野菜市場李泰鋪下宿屋に潛伏中の新義州生れ崔樂甫（二二）を逮捕した犯人は三名で殘る一名を搜査中であるが彼等はその贓品を西塔大街雜貨店に六十圓で賣却その金は十間房朝鮮料理店で一心館で遊興に消費したことを自白した

◇旅順　關東廳博物館島田主事は嫌て考案中であつた觀覽者へ無料進呈する諸國年代對表は逐次出來し一般參觀者への福音が齎らされた該年代表は皇紀、西紀は勿論日本、朝鮮、滿洲、支那並に右方に逆算の數を示し參觀と共に一目瞭然その對表年代が判明し參觀上一段の興趣を湧起せしめるものである

◇鞍山　拓務省囑託農林技師安樂城敏男氏二日來鞍地方事務所並に製織所を視察

會と催し

【鞍山】鞍山時局慰勞宴【鞍山】鞍山地方事務所長小野寺清雄氏は時局以來獻身的努力を盡した各方面の士を四日午後六時より柳町一樂に招待し慰勞宴を張つたが頗る盛宴であつた

【鳳凰城】鳳凰城分教場學藝會【鳳凰城】鳳凰城分教場では三日桃の節句當日軍隊慰問の兒童學藝會を午前十時より開催したが何れも非常な出來榮で來賓父兄その他參觀者多數あり午後三時過盛會裡に閉會した

●撫順驛合婦人會總會【撫順】撫順驛合婦人會第二回總會は六日午前十時より公會堂に於いて開かるゝが左の如く各婦人團體の餘興があることになつてゐる況を呈するであらう
一、君が代二、開會の辭三、經過報告四、會計報告五、用……子女史講話六、來賓講演……九、餘興十、閉會、餘興……全滿驛合婦人會の歌八、……

●日滿經濟座談會【奉天】奉天商工課長の來奉を機とし滿經濟關係者主催の下に四日午後四時よりヤマトホテルに於いて滿經濟に關する各種の座談會……

旅順放送

▲二日夜から三日に亘つて降った大雪は珍らしい粉雪の爲め除りも積つたので舗江町の……

岫巖に電燈つけて貰ひたい
縣長等會社に請願

【大石橋】日滿軍の掃匪軍の威力に依り漸く苛斂誅求飽くなき惡鬼匪徒の魔の手より脫出し逐次治安を恢復しある三角地帶の中心岫巖方面に於ては各種産業も萌芽の域に達したるもの、如く二月十六日附を以つて縣長劉鈞仁、參事官岡村一郎連名を以つて左の如き歎願書を大石橋電燈會社愛甲專務宛に寄せた

拜啓貴社益々御清祥の段奉賀候陳者當三角地帶の中心地岫巖縣も友軍の剿匪に依り治安日に恢復し縣民一同感激罷在中候此度駐屯軍の交代に便し貴社におかれては社員山下君藏梁瀨和人兩氏を派遣せられ電業の調査を成し被下候段只管深謝仕候當縣に於ては與ふ限りの資料を提供致置候間右派遣員歸石の際充分實狀に就き御詮議の上至急建設方御勸め申上候當方に於ては能ふ限りの條件を準備致し居候現代の科學文明は總て電氣に依り盡され居るものと思料仕候此際偏境の岫巖縣が文明の惠光に浴し得ると云ふ事は滿洲國建國の今日誠に恭賀すべきものと待望仕候敬具大同二年二月十六日岫巖縣公署縣長劉鈞仁、縣參事官岡村一郎、大石橋電燈株式會社專務取締役愛甲直剛殿

撫順體協豫算

【撫順】撫順體育協會理事會は八年度支出豫算を左の通り決定、轉任のため會計部長を退いた川口氏の後任には經理課決算係主任高木德次氏就任した、尙新年度にはプールの上水使用を止め貯水濾池より直接電氣ポンプで揚水するため右新設費の事業があるだけで他には臨時支出なく總豫算額に於ても前年より約一萬圓を節減したと

事務費三、四〇九補助金二、三〇〇事業費五、五〇〇野球部三、二七四庭球部八三五劍道部一、八四七柔道部一、七四七弓道部六三三競技部一、一〇一水泳部五二九氷滑部七五三蹴球部七三〇スキー部一八〇卓球部一三一スポンヂ部一八九體育ボール部三二八角力部七一〇馬術部一〇〇市民運動會一、五八〇各部豫備費二、五〇〇豫備費二、〇〇〇合計三〇、四三〇

實妹の愛に蘇つて詐欺漢人間に返る
醫學士をめぐつて
織り出された兄妹愛物語

【奉天】醫學士を裝ひ詐欺を働き遂には留置場にブチ込まれた邦人男が妹の涙の說諭と送金で眞人間に返つた人情美談

熊本縣生れ中山藤一（三九）は內地の某病院で助手として勤めて醫師には經驗ある關係上滿洲へ行つて一働きして來やうと決心し本年二月十八日來奉し奉天で開業醫の手續きをなしたが容易に實現しさうにもなく金に窮した揚句醫學士と自稱して

市內　の旅館に泊りこみ投宿客を信ぜしめ詐欺を働き且つ旅館の宿料まで踏み倒しては沿線を轉々してゐた、その後營口署の手によつて逮捕され身柄は奉天署に送られ暗い留置場にブチ込まれたのである、一方彼の妹綾子（二二）も藤一と共に來滿し彼女は大連の某商會に勤めてゐる傍ら餘暇にはタイピスト學校に通ひ同校を優秀な成績で卒へて洮南の某社でタイピストとして勤務してゐたが兄の藤一が留置場に入れられたと聞き小さい胸を痛めさせてしまつたのであつた……思ひもよらぬ……

妾は　洮南にゐます、一人で……

……ツチです、寒氣は身をたち切るやうに寒うございますけれど妾はあなたの決心と父母のためを思へばこそどんな苦勞もいとはず第一線で懸命に働いてゐます、それに、それにお兄樣があんな處に入れられるやうにならうとは夢にも思ひませんでした、どうぞ妾の心をお察し下さいまして一日も早く改心され働かれるやうにして鄕里で待つて居られる父母を慰めてやつて下さい

妾のお願ひであります

との涙の手紙をしたゝめ金三十圓を奉天署宛て送つて來たので之を受けた藤一も返す言葉もなく係官に對し男泣きに泣いて前悲を悔い改心して今までの借金は何とかして支拂ふことにして四日のチチハル行で妹の處へ歸りそこで共に働くことゝなつた

靖安游擊隊員暴行

【奉天】三日午後五時三十分頃靖安游擊隊第二軍の隊員三四十名が東大營に歸營の際城內大東門に於いて折柄運行し來つたバス二臺を停車せしめ各自帶劍を以て車掌運轉手に暴行を加へ更に乘客を脅迫して下車せしめ之れに一同が乘車して東大營に向はんとしたるに急報に接した城內派出所より奧村他一名の巡査が現場に急行游擊隊員を鎭撫したが却て彼等は衆を頼み暴行を加へんとしたので兩巡査は止むを得ず拳銃を以て威嚇し暴行主謀者第六連步兵張福志、王國名の兩名を引致し更に證據物件として帶劍五本帽子三箇を押收し直に總司令部に急報し司令部より秋山中尉が來たので嚴重なる處罰方を要求して引渡した

顏を剃つて　さて脅迫

【奉天】十間房二十三緯路理髮屋丁揚氏（三三）方に二日午後九時頃三人組の支那人が客を裝つて入り來り約一時間餘に亘り三人共顏を剃りあげるや直に强盜に早變りし拳銃にて家人を脅迫の上縛り上げて現大洋四百元、剃刀五本、バリカ……

タイピストに滿人女子採用

【吉林】吉林省清鄕委員會では事務の繁忙と手不足なる處よりタイピストの必要に迫られ過般來より邦人一名のタイピストを使用して居つたが一人では未だ仕事に追はれ如何にしても一人の增加をする外無く故にタイピストの募集を行つたが此の募集に際し相當多數の應募者有り處が當局者では十分考慮の結果今後日滿親善融和を計る意味に於て滿人女子を採用する事に決定し目下順調に事務繼續して居るが其の成績も實に優秀にして日滿人共に仲睦じく益々向上の道を辿りつゝ有り、省公署として最初のこころみとて其の前途大いに期待されて居る

茲にも悲劇から生れた人情美談
氣の毒な寡婦　亡夫の實家へ

【奉天】夫を失ひ五人の子供を抱へて辛酸を嘗めてゐる寡婦が亡夫の實家からの同情で懷しい鄕里へ……市內松島町十三番地杉山さよ（三九）は數年前夫彌作（四〇）と共に來奉しなにくれとなく暮らしてゐる療患者として赤十字病院に入院させたが手厚い看護もその甲斐なく昨年末遂に黃泉に旅立つた夫を失つたさよは悲しむ暇もなく更に勇を鼓して裁縫を續け僅かの收入でどうにか今日まで暮して來た一方彌作の死を知つたその實家……

懲りない鄧鐵梅
岫巖縣下を荒し廻る

【安東】三角地帶の巨匪鄧鐵梅は最近鄧景文匪團と合流して約一千五百の匪勢となり岫巖縣下を荒し廻つてゐるが去月二十五日には不敵にも岫巖縣城の占據を企圖して皇軍の猛擊に逢つて潰走した事實もあり、今後も所在に出沒して蠢動するものと觀られてゐる

大坪氏の旅順聖戰談
安東公會堂で

【安東】旅順攻圍戰の史蹟研究家として名ある旅順朝日町坪要三郎氏は安東地方事務所の囑を受けて來る十日陸軍記念日に安東公會堂において旅順攻圍戰より奉天大會戰の史實……大坪氏は曾て久邇宮家德彥王兩殿下の御前講演に浴したこともあり、當日は時局柄でもあり非常な人氣を集めることゝ期待されてゐる

發祥の日　積雪行進
四平街の賑ひ

【四平街】四平街市民の建國一日の日滿合同建國……祝賀大會は積雪數寸に及ぶ沼所長代理開會を宣する……午前十時三發の煙火を合圖に……庭でいとも盛大に擧行され……の光り豐かな新五色旗……沖天に揭揚され、折柄……

……で溫泉ホテル大廣間に氏を招待し宴會場に入るや古川地委議長一同に代つて招宴の趣意を述べ次いで部長の挨拶あり直に宴に移つたが例に依つて快飮快食盛會裡に十時近く散會した、因に同部長は四日午前十時二十二分南行列車にて瓦房店へ向け出發一同驛に見送りした

敎專卒業式

四平街特產推貨數

中西新地方部長初巡視

出頭

海と空と（130）
高杉晋一郎作
橋本淸史畫

明暗（十八）

はつとした彼女の視線を、然し影山は氣附かぬ樣子でボックスを出た。他の女給に會計を命じてから、默つてボールを見てゐるだけだつた。

「お歸り？」

とボールは仕方なく聲をかけた。

「うむ」

さうして彼は持つて來た釣錢を受けとると、外套のボタンを開いたまゝすた〳〵と扉を排して出て行つた。外套がぴつちりしめると尻のポケットが異樣に膨らむに違ひなかつた。

ボールは素早く身をひるがへして、奧の化粧室へ入つた。そこの北側の窓と、隣家の空地のやうな處の間から、表の通りが見える筈だつた。彼女は部屋へ入ると直ぐ電燈を消した。さうして暗闇の中から窓を透して、その僅かに區切つて見える路地の樣子を伺つた。

だが、そこの壁の脇に置いてある塵箱の蔭へ默つて坐り込んだ。流石に胸は激しく動悸を膊つてゐた。

五分……十分……十五分もさうしてゐたらうか。彼女の出て來るのを待つてゐるに違ひない影山が出て來ないのを不審に思つて再び（忘れ物でもした顏で）店へ引返してもしたら、さうして彼女のゐないのを知つたら、どうするつもりだらう。どうなるだらう。さう思ふと、自分の生命はこんな變な理由も解らぬ事で亡くなつて了ふのかも知れないとさへ思へて來た。彼女は緊張した神經の中でそんな事を走るやうに考へてゐた。然し本能的にかうして胸を動悸させてゐるが、自分は生命が惜いのだらうか、と思つた。さう思ふと別に惜いとは思へなくなつて來た。それほど未練のある生活ではなかつた。淺見との結婚生活が新しい世界として開けてゐるわけではなかつた。……

……ひよいと飛ぶやうに眼前の隣家の空地……

新刊紹介
▲ダイヤモンド（第六號）……

けふの放送

大連　JQAK　三月六日
▲午前六時　ラヂオ體操第二
▲午前六時廿分　ラヂオ體操第一
▲午前十一時五分（奉天より中繼）「熱河戰況實感放送」
▲午後六時　ニュース
▲子供の新聞（六時廿分子供の時間）
日小學校四年女生徒、唱歌「鳩」大連朝日小學校四年女生徒、唱歌劇「櫻井の別れ」……

東京　JOAK　三月六日

奉天商工月報（第三十九號）
滿洲事變後における奉天の經濟界、奉天經濟概況……

附錄

發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所 滿洲日報社

承德入城直前の皇軍

四日午前十時
山口特派員撮影

寫眞説明

（1）平房附近から軍旗を先頭に攻撃を開始した○○隊
（2）難路を突破して前進する川原先遣部隊
（3）鴻石拉附近の激戰（三月四日午前十時）
（4）承德一番乘りの勇名を馳せた川原先遣部隊長（葉柏壽城門前）
（5）エンジンの響きを立て、承德に迫るわが快速隊（三月四日）

寫眞說明

(1) 百武大尉(中央)の率ゐる名譽の第○○自動車隊員

(2) 平房高地から敵情を視察する長瀨部隊長(左端)

(3) 渡河前進する川原先遣隊

(4) 凌源を通過し平泉に向ふ川原先遣部隊

滿洲日報
三月五日發行

今や熱河省の大半 皇軍の威風靡く
風雪と戰ひ驚異的偉業を樹てた 我皇軍將兵の苦難

【奉天特電】關東軍司令部發表=熱河經略のため軍の第一線諸隊が行動を開始して以來十日前後北部熱河方面においては開魯、下窪、建平、赤峰の兩地をまたゝく間に席捲し南部方面にありては朝陽より凌源、平泉の要點を占據して遂に四日省城承德に入城し得た、また長城に沿ふ方面においても逐次所要の部隊を前進せしめ各門を扼せんとしつゝある、斯して戰線五百五十里に亘り總兵力十五萬餘の敵軍に對し我軍は僅かに十分の一の兵力を以て鎧袖一觸今や熱河省の大半は皇軍の威風になびき旭旗各所に飜へり久しきに亘り軍閥の虐政にあつた熱河省民は文字通りに簞食壺漿して各豫期以上の成果を收め得た所以のものは　大元帥陛下の御稜威によること素よりであるが又第一線諸團隊卽ち茂木、川原、服部等の諸兵團さこれに協力せる飛行隊及び各種快速部隊等が酷寒零下三十度の風雪を冒し北部においては人煙稀なる蒙古沙漠地帶の通過にあらゆる苦難を克服し南部地方においては山岳重疊せる地域を突破し殆ど神業にも等しき神速なる行動に出でたる賜に外ならぬこの間敵の抵抗もまた相當頑強なるものありて、爲めに尊き戰死、戰傷者を出した次第であつてこれ等の將兵各位に對して謹んで深甚の敬意と同情とを拂はねばならぬ、又以上の如き華々しき第一線の諸團隊の成功の裏面には晝夜兼行にて彈藥、糧秣等の運搬に從事せる兵站諸部隊鐵道部隊、輻湊せる多數の通信を圓滑に發受して軍の作戰を容易ならしめた通信諸隊の如き後方諸部隊の涙ぐましい努力をも忘れてはならぬ、以上が省城承德占據に至るまでの軍行動の概觀である、斯くて軍は今後引續き省内の肅淸に努力する一方政治工作を進め省内治安の完成に努めねばならぬ、若しそれ關內よりする學良軍の積極的實力行動の如きに對しては勝算自ら歷々たるものがある

輝く川原部隊の戰功
承德入城前後の模樣

【新京特電】關東軍司令部發表=破竹の勢ひを以て前進したる川原部隊の先遣隊は四日午後一時三十分承德東方約二里の地點に達したるに承德東側高地には尙相當の敵兵殘留し抵抗を試みたるを以て直に展開してこれを攻擊したり、午後二時三十分敵兵退却の色あるを以て川原部隊は裝甲自動車をなして敵の陣地を突破せしめ引續き先遣隊をして承德を占領し川原部隊長は承德の要人を招致して入城に關する協議をなし午後二時五十分全力をあげて威風堂々入城した、これより先秋山中尉は飛行機を操縱して承德に着陸し右の協議に參加したる後入城に參加せり、川原部隊の前進路には伏屍累々として山をなし野砲、山砲多數遺棄しありしも前進を急ぐ同隊はこれに顧慮することなしに急進せり、思ふに作戰開始以來酷寒の候險惡なりし地形なるに拘らず旬日を出でずして反將湯玉麟の根據地を占領せる川原部隊の神速なる行動は中外を驚嘆せしめ日本陸軍の光輝を加へたるものといふべし

湯玉麟は 北平へ逃走

【錦州にて南里特派員五日發】皇軍の承德入城によつて反滿の巨頭湯玉麟は灤平を經て古北口より河北省に逃亡したが大陰山中を張家口方面に走つたが、その消息不明なるが北平說が最も有力視されてゐる、なほ正規兵及び匪軍は多く古北口關を北平街道に向け潰走中である

積雪を踏んで突擊

既報のごとく非常時局にかんがみ遞信局が局内雇員ならびに遞信講習所生等從員五百名を動員し五日拂曉より市內中央公園より白雲山下の滿蒙博覽會豫定地一帶にかけ行つた聯合模擬大演習は所長統裁の下に折柄の積雪を冒して行はれた

熱河反滿軍潰走で 迫る北支の大變局
全支への影響甚大

熱河の反滿兵匪討伐に、ひと度起つた日滿軍は、その迅速なる行動に、內外ともに驚嘆するうちに旬日を出でずして既に殆ど全熱河を席捲し、熱河省の反滿軍は、全くひと溜りもなく、萬里の長城を越えて河北省內に雪崩の如くに潰走したが、この熱河における學良系反滿軍のあまりにあつけない敗退さ、これら敗退した大軍が、熱河から河北に雪崩込むことゝによつて、北支部における諸軍閥關係の混亂と、張學良を中心とする北平政權の最後的崩壞とが、いよ〳〵眼前に迫つて來たことが豫想されるやうになつて來た。

さきに張學良が、積極的反滿抗日態度に出ることになり先づ義勇軍を最前線に、次いで熱河正規軍と學良直系軍とを、最後に表面學良麾下に在る傍系軍を動員して、所謂失地恢復の策戰を樹て、續いて河北の大軍に移動を開始せしめたが、當時北支における學良軍のこの大移動が北支における複雜なる軍閥關係に及ぼす影響について二つの觀測が行はれた。卽ちその一つは學良の直系軍は先づ學良の命のまゝに動くとしても、傍系軍は最後まで學良と運命をともにするものではなく、北平天津にこれら傍系軍の集結したときが北支に變局をみるのときたるべくよし一時的にこれら傍系軍が更に前線に出るとしても、いつかは反學良的旗を幟幟すべきものであるといふのであつた。而して他の一つの觀測は、勿論傍系軍には正規軍にみるが如き期待は、學良としてかけることは出來ないが、現在北支としては、從來曾つて見なかつた重大な時期であり、たとへ平常學良に對して不滿をもつものといへども軍國一致この國難に當るだらうといふのであつた。

その後の事態の進展によつてこれをみると、反學良系の巨頭とした山西の閻錫山が、その全兵力をあげて學良を支持すべき態度を表し、同じ立場の張家口の馮玉祥もまた、蔣介石及び張學良に對し對日徹底抵抗を進言したと傳へられ、一方において、孫殿英、宋哲元、龐炳勛等の學良傍系軍も、南方及び西方より北平天津を通過して續々前線に出動し、かくて一時各軍閥の一致團結を豫想したもの、觀測が事實化されつゝあるかの觀を呈した、しかしこれら諸軍閥の行動を更に詳細に觀察すると、あくまで學良の抗日を支持するものとは思はれないものがある。最近におけるこれら軍閥間の諸關係につき諸情を綜合すると大要左の如くである。

一、山東に在る韓復榘はさきに北平將領會議に參加して學良支持を表明し今なほ學良支持を口にしてゐるがその部下軍隊は山東河北の省境附近に一部集めたのみで學良の督促あるに拘らずそれ以上の北上を肯じない、のみならずさきに反學良戰爭を起したことのある石友三を客分として擁してゐる

一、宋哲元も平綏線から北平を通過して熱河省境に進んだが熱河省內には入らず今なほ省境に止つてをり、龐炳勛は熱河省內に入つたが北支に動亂が起つたら何時でも學良麾下の某部隊の武裝解除をすることになつてゐるとさへいはれ、孫殿英は長驅赤峰にまで進んだが皇軍の赤峰占領によつて西南方に向つて敗退しつゝあり、承德が皇軍の手に歸した今後、學良支持の何の役にも立ち得ない立場に陷り遠からず潰滅するか匪賊化するのみ

一、北平に在る吳佩孚は學良から食費を給されてゐるといはれてゐたが最近學良との關係良好ならず學良は吳に對して顧問就任を慫慂したが吳はこれを拒絕し學良また吳の衞隊を解散せしめんとしたが吳はこれをも拒絕して今日にいたつてゐる

一、その他張家口の馮玉祥は抗日支持は口にしてゐるが機會ある毎に學良の意慢を指摘し南京政府からの出馬要求にも抗日をやつて失地恢復し得る見込みがあつたら出馬するが南京政府や學良にその自信があるかなど毒づいてゐる、山西の閻錫山にいたつては表面一致抗日を唱へてゐるが一朝北支亂れたときの手筈を既に決定してゐるとの報道がある

かくの如く北支における各軍閥關係はあながち舉國一致國難に當り得る性質のものではなく、學良十五萬の正規軍が、なほ健在である間において既にかくの如き情態であるから、學良正規軍が熱河の戰ひに大敗して、熱河正規軍とゝもに河北に雪崩込み、次いで北平天津から山海關の線に在る後方正規軍の動搖を見るにいたれば、この諸軍閥の反張的動きは今日よりも更に尖銳化するであらうことは明かであり、これが北支を政治的混亂に陷いれ、惹いて反張各派の觀方を變へて、これらの關係が今後もなほ學良を支持するとするか、…

皇軍の威力に驚嘆
わが熱河討伐の迅速な行動に
駐英佛武官から祝電

【新京電話】討熱作戰の成功に對し各方面より陸續として祝電が到着してゐるが主なるもの左のごとし

一、英國駐在武官一同より
酷寒の期に山地にある優勢なる敵に對し疾風迅雷の如く長驅熱河を攻略せる皇軍の作戰の威力は英人の驚嘆しかつ我等の欣快おく能はざるところなりこゝに謹みて御成功を祝し奉る

一、フランス駐在武官一同より
疾風迅速なる熱河省の平定並に作戰計畫及びこれが指導の卓越と皇軍の精銳は世界を驚嘆せしめたり謹みて忠勇無比なる皇軍將士に對して感謝と敬意を表す

一、京都聯合婦人會より　本日第五回大會にあたり國威宣揚祈願祭を行ひ忠勇なる皇軍の武運長久を祈り遙に將兵各位の御奮鬪を感謝す

全米を襲つた金融恐慌
準備銀行も遂に休業
主要取引所當分閉鎖

【ニューヨーク四日發】準備銀行は國內銀行筋の引出しに備へて休業、莫大な金準備流出防止に決し、一方ニューヨーク取引所長ホイトニー氏も株式取引所を休場するものと信ずと述べてゐる

【ニューヨーク四日發】ニューヨーク、イリノイ州の銀行休業に伴ひアメリカにおける主要證券及び商品取引所は銀行休業期間閉場する旨發表した、目下のところ外國爲替取引も中止されてゐる

【ワシントン四日發】ヴアモント、コンネチカツト、メイン、マサチユセツツ、ペンシルヴアニア各州銀行も休業した

【ニューヨーク四日發】ネブラスカ、ミネソタ、ニユーハンプシヤ各銀行は四日より休業、又ニユーヨーク株式商品取引所も四日より六日迄休み、シカゴ商業會議所も四日より閉鎖す

【シカゴ四日發】イリノイ全州銀行休業は初め四、五、六の三日間であつたが更に七日も休業に決定、八日には開業するが夫れ以後八日間は總額の五分以下に限定される

通貨增七億五千萬弗

【ニューヨーク四日發】全米恐慌の結果準備銀行の金準備減少は過去一週間で二億五千萬弗に達し反對に通貨增加額は七億五千萬弗の新記錄を出したことが準備銀行の報告で明瞭となつた、更にその後の報告に依ると準備銀行各組合銀行の借出し激增し各中央銀行は五億弗の準備クレヂツトを市場に吐き出すに至つたと、而してこの現象は通貨增と金準備減少は國內に金が退藏されたのと外國側への流出に依るものでシカゴの各銀行のみにても過去一週間內に實に三億五千萬弗を拂出してゐる

先づ金兌換停止か
金本位停止の恐れは?

【ニューヨーク四日發】新大統領ルーズヴエルト氏は就任式の演說に於て「充分なる而して堅實なる通貨政策」を力說したがウオール街の觀測によれば右は統制ある通過膨脹によるインフレーシヨンも仄めかしたものと觀てゐる、目下アメリカの最も必要とするところは物價の騰貴であるが、これはたゞインフレーシヨン及び通貨の更に自由なる流通によつてのみ可能なるものであるところで大統領は右演說においては金兌換停止の意向など示してゐないが、しかし國內の金兌換殺到並に金退藏によつて金本位停止を餘儀なくされる危險が來するがあるからこれを未然に防止するため先づ金兌換停止が行はれるかも知れないとの意見が漸次有力になりつゝある、一方外國筋の金引出しに依つてアメリカの金本位停止を餘儀なくされるといふことはないと觀られてゐるしかし最近の如くアメリカの商社及び個人がカナダやその他へ向け金の輸出を引續き行ふやうになればこれを防止するために金の自由輸出禁止が行はれないとも限らない、インフレーシヨンは言ふまでもなく外貨に對するドル價値を引下げることになる、尤も金本位が實際に停止されない限りドル爲替の大體的な變動はないものと觀られる

特別議會 召集か

【ワシントン四日發】次期下院議長に內定したレーニー氏は四日銀行恐慌審議の爲め近く特別議會を召集せんと豫言した

聯盟脫退諮詢案 六日閣議で決定
直ちに樞府諮詢手續

【東京五日發】外務省では聯盟脫退に關する樞府諮詢案に關し略成案を得たので六日午前中首腦部會議を開きこれを確定したる上午後の臨時閣議に內田外相より附議し正式決定を爲し直に樞府に諮詢手續を採ることになつたが外務省案に依れば脫退通告文及び理由書は考究の結果別個のものとせず事務局に提出すべき脫退通告文の內に聯盟機構の缺陷、日支紛爭處理における聯盟の失當を指摘し我が脫退理由を記述することゝなつた、而してこれが長さは邦文にして千五百字程度の簡單なものである、尙は右通告文と同時に脫退に關する帝國政府の聲明書を發表する件は右通告文を以て聲明書に代へ別に聲明書を發表せぬこととし通告文を事務局提出と同時に外務省より公表する筈である

十五六日頃 上奏

【東京五日發】政府は別項の如く六日の臨時閣議に於て脫退に關する樞府諮詢案たる脫退通告文案を正式に決定し脫退と南洋委任統治に關する件、その他の關係調書を附して樞府に諮詢の手續きを執ることゝなつたが政府としては右案件の性質上可及的速かに諮詢の完了さるべきことを期待してゐるので樞府においても約一週間でこれを議了し現在の見込では十五、六日頃には上奏御裁可を經て事務局に對し右通告文提出の運びに至るものと見られてゐる

日本國粹會 積極的活躍

【東京五日發】非常時日本の祖國愛に燃えて各種愛國團體勃興しつゝある時大日本國粹會では豫て幹部の間に「從來の消極的態度より積極的態度に出で」との意向の下に協議を重ねてゐたがこの程軍部の共鳴を得て愈々結束を固め非常時日本の第一線に活躍することゝなり來る三月十一日全國百十一支部を招集して役員改選、組織の變更をなしたる上四月二十九日の天長節の佳日を卜し全國大會を擧行し主義綱領を決定し華々しく活躍することになつた

あめりか丸　六日午前十一時港外着豫定

蛇角

◇心臟を衝かれて湯玉麟天拐、次は愈々學良の番。

◇學良得意の「噴火山上の舞ひ」如何なる妙技を演じますやら。

◇「饒舌聯盟」が「離啞聯盟」になつた。但しこの離啞者、何時舌者に戾るやも知れず。

◇黃金國アメリカが金缺病にかゝつた、何んなら三木(武吉)ドクトルに診察して貰うがいゝ。

◇聯盟への緣切狀、一千五百字、三下り半が出來た。後は叩きつけるばかりだ。

◇大阪財界の巨頭島德氏に毒…の疑ひは意外。

◇敵に鹽を送つた謙信の故事に似たわけでもあるまいに。

安東背後地に 中銀の分號

【安東電話】滿洲國中央銀行安東支行は安東市と經濟的關係密切なる背後地に分號を設置する意思あり…

東天紅 (13)
田中純作　林一三畵

インチキ漢(二)

「いらつしやいまし」
康造の自動車が「新玉川」の大きい車寄せに橫づけになると、二三人の女中が、愛嬌よく出迎へてゐた。昨年、新らしく出來たばかりの京都風の料理屋で、相當評判の好い家だつたが、今は、宵の口のことゝて、玄關のあたりもひつそりしてゐた。

「阪口君、來てるだらう?」

「はア。お待ち兼ねでいらつしやいます」

鏡のやうに拭き込んだ廊下を通つて、二階に上ると、もう、阪口の、屈託のなさゝうな笑ひ聲が聞えて來た。

「連れがあるのかい?」
康造は、案內の女中に聞いた。

「いゝえ。お一人さんでございます」
しかし、案內された表二階の京…

川原先遣部隊に從軍 承徳に一番乘り
皇軍入城第一報を齎した
山口本社特派員

總ゆる苦鬪を續け錦州を出發してより十二日皇軍第一線のどくろ隊に或は快速隊に從軍し、承徳一番乘りとして入城した本社山口特派員は川原先遣部隊の承徳入城の第一報を齎した

【承徳にて山口特派員四日發】三月一日午前五時川原部隊自動車隊は一路凌源に向ふ、この邊より長城と併行した大陰山脈が至る所に起伏し山容正に天を衝き實に天險そのものである、急坂から溪谷を押し進む自動車隊の辛酸と惡戰苦鬪は想像も許さぬが山の冷氣は平原の寒威より更に強く行路難と共に一大脅威であつた、平泉附近において敵の砲撃を開く殷々として山間に耕し凄慘いはん方なし、我軍は地上より山砲、上空より爆彈の投下によつてこれに應戰敵も小賢しくも山砲、迫撃砲を盛んに發し頑強に抵抗するため自動車隊は軍旗を先頭に下車、長瀬枝隊自ら左翼隊を指揮第一線に立ちまた右翼隊は坪島〇隊長を先頭に正面より夕陽になやまされつゝ敵の高地を目がけて突撃又突撃、陽は峨々たる山影にかくれ夕闇迫つたが陣形を利用した敵はあくまで頑強である、しかも敵砲彈は我自動車隊にまで落下するなど小面憎いほどで深夜十二時ごろまでも正攻を持續し支那軍としては曾つて見ない頑強さであつた余(山口特派員)は無蓋トラック上に曝さらず底冷のする山氣にまんじりともせず一夜を明かした、三月二日午前六時平房を出發、敵は未明に平泉を總退却、平泉方面から承徳街道を逃走した、わが先遣部隊は同八時葉柏壽を占領した村内の家屋は彈痕のため見るかげもなく慘澹たるものである、こゝにて川原部隊長と長瀬枝隊長との劇的會見あり、兩雄握手して武勳を語る、遙か大陰山々中における一快事である八時三十分葉柏壽出發、同十一時三十分市民の大歡迎裡に凌源に入城し綏中より進撃し來つた服部部隊の先遣部隊と落合つたがわが川原先遣自動車隊は少憩する間もなく最後の目標承徳に向つて前進、敵は我が急追に如何ともなす能はず退却又退却、それこそ算を亂し先を爭つての退却ぶりである、凌源平泉間約二十二里その間敵の遺棄した死體は全く算なく雪も氷も朱に染められ路上より谷間にかけては山砲、野砲及びその彈丸が放り出され敵の退却は如何に狼狽したかを物語つてゐる、ことに主人を失つた、敵將の馬が馬具もそのまゝ打ち首垂れて敗戰の憐みをこふ光景は仁義に富む皇軍將兵の涙をそゝつた、なほ凌源西方十二里餘の地點三十家子附近にて敵將校三名を捕虜としたが、内一名の將校は婦人であることが判明した、川原部隊の天馬空を行くごとき神速なるこの行動の裏には百武〇〇自動車隊の最も勇敢なる大活躍を見逃すことも出來ぬ百武大尉は〇臺の〇〇自動車を指揮して二晝夜の間それこそ飲まず、食はずに敵を追ひ散らし朝陽出發後のこの二晝夜に五十五里の里程を、しかも嶮難悪路とひし〳〵と襲ひ來る山の寒さと有力なる敵と闘つて走破し得たことは我が陸軍としても驚異すべき記録である、川原部隊長が百武大尉の果敢なる行動を口を極めて賞讃するも宜べなるかなである、三日午前二時平泉入城敵はわが入城二時間前に平泉を放棄承徳に退却したが市街は生々しい人馬の死體散亂、足の踏む處もなきほどで滿め雪か夜分より陰山嵐が雪となり四日朝は白皚々として積雪深し雪の進軍で勇躍一路承徳に進撃、午後二時五十分先遣部隊主力と共に省城承徳に一番乘りの名譽を擔ひ威風堂々東門より入城、熱河離宮内に入つた、省城内は人心案外に平穩各戸は滿洲國旗をかゝげて皇軍の入城を歡迎し、城門には高く日章旗が揭げられた(寫眞は山口特派員)

日滿國旗を手に 嬉々と戯れる
皇軍入城で安堵した
可愛い赤峰の子供達

【錦州にて板屋特派員四日發】豫て赤峰附近に蟠居して住民を苦しめてゐた檀自新は我軍來るの報に一戰も交へず主力を率ゐて二月二十七日頃赤峰より西方に

退却 し同じく宮振海も同二十八日歩兵一旅を率ゐて赤峰通過西方山地に逃走して片影を見せない、久しく匪賊の掠奪暴行に委ねられてゐた赤峰住民約七萬は皇軍が入城した當初は全く見る影もなく疲弊し三月とは言へ未だく白雪に蔽はれ冷たい蒙古颪の吹き荒ぶ赤峰であるが、子供達さへもボロ〳〵の着物から皮膚を露はして居り、榮養不良のため白い眼を見せてゐた、兵隊と言へば鬼か蛇のやうに恐れ戦いてゐた子供達も日本軍人の人懐つこさと同情深いことにすつかり安心し切つて、初めは恐々近づいてゐたが、入城後二日も經たぬのに皆宣撫員から貰つた日滿國旗さ

執政 の寫眞を入れたポスターを片手に嬉々と戯れてゐる、店を閉ち婦女子を山中に避難させてゐた市民達も續々手をつないで歸來し、茶を饗待したり薪を焚いたりして皇軍を歡迎し、幾多の山河を渉つて來た兵士等の勞苦を犒つてゐる、赤峰附近には既に敗匪の影一つ見えず、戸毎に新しい日滿旗は貼りつけられ、澄み渡つた空にはわが飛行機が輕快なエンヂンの音を立てゝゐる、熱河中心の古都赤峰は今や始めて安堵の日を取戻し、治安維持委員會滿洲國大官撫班の活動に依つて秩序の

恢復 は着々行はれ、赤峰住民は老若を擧げて皇軍の永久駐屯を希望してやまぬ有樣である

既に三萬の 苦力來滿
心配は要らぬ

今年も山東苦力の出稼ぎ時期となり、毎船ごとに布團をかついだ苦力の列が埠頭から大連驛につゞいてゐる、しかして今年は奥地の建設事業の旺盛に伴ひ苦力の需要が盛んで撫順炭礦にまで華工爭奪戰を見る有樣となつてゐるのに、支那側は滿洲國の興隆を妬ぐるために山東其他に於て出稼ぎ華工の出發を妨げてゐるとの噂があり出稼數が激減するに非ずやと豫想されてゐたが、現在までの統計によれば

	大連上陸	大連驛乘車
二月十五日より末日迄	三〇、六〇三	三〇、〇四八
三月一日	二、一六〇	一、九三一
三月二日	二、七〇七	一、四四一
三月三日	一、六〇四	一、三三四

で既に三萬人を超え四月の最旺盛期に入れば更に激増するから今年も別に心配ないものと見られるに至つた

天津へ天津丸

熱河省境方面の形勢險惡と共に鐵路による交通が全然遮斷されたので昨今の天津、大連間就航船は常に滿員の盛況で大汽ではさきに濟通丸が事故を起した關係で目下天津、青島、上海間就航の天津丸を當分廻航さす事となつた、なほ天津丸は十日大連出帆の筈

掠奪されて 邦人避難し來る
けさ秦皇島から入港

五日午前十一時入港の獨逸船ネッカー號には秦皇島居住邦人三十名の避難民が便乘來連し一行は海事協會に收容されたが避難民代表渡邊慶三郎氏は語る

一行は内地人十二名朝鮮人十八名の男子だけで秦皇島鐵道北側方面の居住者です、現在は別に甚だしく危險な狀態にあると言ふ譯ではないが全部が一月の四日から五日にかけて家財類一切掠奪に遭ひ其後守備隊に收容されてをりましたが山海關方面に行つても上陸は出來なかつたので外務省から一人當り四十八圓五十錢の救助金を受け來連した譯です、一行中の大半は當地經由で山海關方面に出掛け時局の片つくまで待機したいといふ考へで居るやうです、全部が掠奪を受けた上に二ケ月間も仕事も出來ないでゐたので非常に困つてゐます、秦皇島に殘留した邦人は内地人二十二名朝鮮人四名の男子ですが之等は軍屬として働き婦女子はさきに全部避難しました

第一回避難者 は一先づ解散

一月初め山海關方面の風雲急を告げるや大連に避難して來た秦皇島在住邦人はその後市内山縣通海務協會に避難、一日も早く同方面の平靜に歸す日を待望してゐたがその後一部のものは内地或ひは秦皇島に歸り目下日本人八名鮮人十五名が收容されてゐるが、餘り永引いては、と天津總領事館書記生石倉靜夫氏は一日入港の濟路丸にて來連、四日避難民一同に對し一人當り三十圓を支給して一先づ解散する事となつた、日本人は未だ居殘り鮮人のうち八名は奉天へ七名は海務協會に居殘ると

慘鼻を極むる東北 地方東海岸大震災
慰問義捐金募集

本月三日午前二時半、宮城、岩手、青森の東北三縣並に北海道の一部に亘り、突如として起つた強震と之に伴ふ大津浪の襲來とは、近來の一大異變として全國民に痛刻なる衝撃を與へたが、その後被害各地よりの報告は一報毎に慘禍の範圍を擴大し、遭難人員實に三千を超え、また家屋財物の流亡燒失二萬戸の多きに達することは明白となり、そゞろに彼の關東大震火災並に往年の三陸大強震の慘禍を憶はしむるものがある。

これ等同胞の言語に絶する大慘害の報一度傳はるや全國各地の同情は翕然として同地方民に集まり、又畏くも、皇室におかせられては、その被害甚大なるを聞召されて、痛く御軫念、直に側近者より被害狀況等の詳細を御聽取遊ばされると共に、罹災者御救恤の思召にて、近く御内帑金下賜の御沙汰あるべしと洩れ承る。

今回大震火に遭遇したる地方は我等の居住する滿洲とは地を隔つる數千キロの遠きにあるが、而も翻つて日本帝國の生命線滿洲を今日の王道樂土たらしむるに與つて最も大なる貢献を致したものは、實に東北健兒そのものであることを思ふとき、この惨害々が起つてこれ等の地方民に對して同情慰問の意を表し、同地方民並に其出身健兒に對する感謝は頗る深きものあり、吾等在滿三十萬同胞の、同地方民並に其出身健兒に對すのため健闘する東北健兒をして後顧の憂ひなからしむるやう努めることは、併せて邦家ての義務であると信ずる。吾々同胞として

是れ我社が在留同胞諸君に檄して、今次東北、北海道等の大震災地方に對する慰問金を普く募集すべく、茲にその趣旨及び要項を發表する所以である。

要項

一金額　一口三十錢以上たること
一受附　滿洲日報社事業部、奉天支社、新京支社
一處理方法　相當額に達するを待ち、成るべく急速に内務大臣に傳達し、最善の處理方法を委託す

昭和八年三月五日

滿洲日報社

恩人の鄕土を救へ 早くも義捐金
双葉日曜學校の幼い生徒達も醵金

滿洲事變の第一日から南北滿洲の戰場を馳驅し、在滿同胞の恩人たる東北出身將士の故郷は一昨年來飢饉に惱まされた上に、更に今次の大震災を蒙り、重ね〴〵の天災地變に苦しめられてゐるが、我社の義捐金募集の社告が五日の朝刊に出るや、在滿邦人中に「恩人の鄕土を救へ」の聲が澎湃として起り、忽ちに全滿を蔽ふ一大キャンペーンたらんとしてゐる、卽ち五日の午前中に既に六口百八圓八錢に達したが、中にも双葉幼稚園内の双葉日曜學校生徒は先生からこの氣の毒な人の話を聞いて幼い心にも深く感じて、各自のお小遣の内から零細な金を集めて二圓八錢として我社に持參した、その他にも義捐金募集の擧が一般に知れ渡

西本願寺僧侶 痘瘡に罹る
これで邦人患者六名

若草山西本願寺僧侶古川豐(二九)氏は五日午前發病したので櫻井醫師診察の結果痘瘡と確定、直に療病院に收容された、これで大連に於ける痘瘡流行以來邦人罹病者六名に上り益々罹病者續出の模樣で大連警察衞生係では大童となつて防疫に努めてゐる

凌源攻擊の我勇士 凍傷し無念の凱旋
けさ旅順に四十名と 大連に百六十名到着

熱河討伐中凌源攻擊に參加中不幸凍傷に罹つた勇士四十名は五日午前九時十分旅順着列車にて着旅、來岡市長を始め官民學生婦人團六百餘名はホームより驛前廣場に堵列感激と感謝の間に迎送を受け四臺のバスに分乘それ〴〵旅順衞戍病院に收容された、凍傷兵一同は來岡市長の挨拶に次で濱砲上等兵より謝辭を述べ出迎への看護兵の保護を受け白衣の痛々しい姿には今更出迎への人一同感謝の感淚にむせんだ、また北滿から近くは熱河方面における戰闘に名譽の戰傷を負ひたるもの或は不幸從軍中不衞の病に冒された勇士等歩兵少尉宮本菊松氏以下百六十名は五日午前八時四十分大連着列車にて到着、驛頭には市長代理岡野助役、森本法院長、石井署長、山西滿鐵理事等其他知名士の顏も見え、在鄕軍人、學生團、各團體等數千の市民は感激の裡に白衣の勇士を出迎へたが、一行は衞戍病院分院差廻しの自動車に分乘し關東倉庫に收容された、尙一行は四日到着の傷病勇士三十八名と共に六日朝出帆のばいかる丸で内地に凱旋すると(寫眞はけさ驛頭で)

天氣豫報　六日

北西の風晴

各地の溫度　五日午前十一時

大連	零下一〇	旅順	零下七
新義州	同一〇	營口	同一一
奉天	同一二	新京	同一七

圍碁は上達し易い
新研究法の發表

圍碁は將棋や五目並べより難しいやうに見えて却て覺え易いもので、あるから子供でも本筋を習へば初段位にはスグなれるが、素人同志で無法に打つては趣味もなく上達するものでもない

東京 阿佐ケ谷五二四番地圍碁研精會で今回發賣した七段加藤信先生校訂圍碁口授書は圍碁の置碁定石互先定石と其變化三百餘手を一手一手につき直接先生が手を取り口傳する通り解りよく覺え易く秘傳まで講義してある

定石 をスッカリ習へば「鬼に金棒」で碁が強くなる資格が充分出來たのである、その上に井目八目七目六目五目四目三目二目相先の必勝の打ち方戰術がめい〳〵わけて講義してあるから初心者でも

本筋 の此本につき研究されるなら一箇月を出ずして初段以上の實力を獲得されるのである

尙この外、名人大家の實戰解說詰碁、太閤碁、長生、缺眼活等圍碁のありとあらゆる方面を詳說してあり一部(二冊)二百七十頁の

大冊 であるが今回新會員五百名限り實費一圓五十錢にて分讓する由且三十版記念に輕便碁器一組及び質問券を無代添呈する筈なれば希望者は振替東京二一四三三番へ送料八錢を加へて拂込むか又はハガキで申込めば代金引換郵便※料實費でも送る

善鬼惡鬼（6）

平山蘆江作　苅谷深隍繪

血は血を斬る（六）

折助は迂散らしく、ゴソリゴソリとからかみを開けたり、臺所をのぞいたりした。たつた三間しかない家なので、お濱がいふ通り、たつた一人だといふことをすぐに突きとめたらしい。

そこで、お濱のそばに、どつしり大あぐらを組んで

「濟はれえかい」と下から覗き込んだ。

「ないよ」

「そんなら水一杯飲まして異んなよ」

「勝手へ行つてお飲み」

「いやに見識ぶるぢやれえか」

お濱は、てんで相手にしなかつた。仕方なしに、折助が臺所へ出かけてゆくと

「お前さん、ついでに雜巾と手桶を持つて來ておくれ」とお濱が呼びかけた。

「こいつめ、お客樣を何と思つてけつかる」

ぶつぶつ云ひはしたが、飲みたいだけの水を飲んでから、云ひつけられた通りのものを探して持出した。

「お拭き」

お濱は顋で差圖をした。

「なに」

「そこらの汚れものをお拭きといふに」

土間や疊が、血だらけになつてゐるのに、始めて氣のついた折助が、雜巾手桶を持つたまゝ、へたばつた。

「ご、どうしたといふんだ」

「早くお拭き、早くしないと承知しないよ」

「へイ」

下駄ながくつかしながら、折助は云はれる通りに動きはじめた。

只の夜鷹だとばかり思つたのが兎に角、小さいながら一軒住居の塒を持つてゐるのだ――、入つても好いかといへば、よろしいと云はれるので、こいつはありがてえといふ氣持で空お世辭に、用をしてやつてゐる中、だしぬけに、黑血の流れを見つけたのだから、すつかり荒膽をひしがれて了つた。

うかうかしたら、どんな掛り合ひにならうも知れず、と云つて、下手に逃げ出したら、やつぱり何かの祟りが來さうな氣持で、只もう折助は、いはれるまゝに動いてゐる中で逃げ場をねらつてゐるのだ。

「拭いたらお使ひに行つておくれ」

「冗談ぢやれえ、おさなしくしてゐりや方圖の知れねえアマだ」

「默つていふ事をお聞き。禮は多分にさらしてやります」

「へへへ、畏まりました」

どうやらかうやら、血のあとを拭きとつてから、

「そこで、お禮といふのを貰ふ事にするかな」

さう云つて、相手の氣勢を見ながら、ぢりぢりとお濱のそばへすりよつてゆく。

「一軒おいて隣が大屋の家です、傳助どのに、すぐ來てくれるやうにと、云つて來なさい」

何しろ二十二三の美しい女だし肉付のよい肌あひ、むつちりとふくらんだ乳房を衣紋の亂れから覗かしてゐるのだ、寢間着に前帶のまゝといふのが、折助の心をムヤミにそゝつてゐるのだから、たまらない。

「これさ、人をこき使ふばかりが能ぢやない。いくら濟りもの、三下奴だつて、かうして引張りこまれりやあお客樣だからなア」

充分、すきを見て、女の肌へかぢりついた。途端に、ピシヤリ。お濱の平手が、折助の横ッ面を襲擊する。

「痛えやい、この野郎」

折助はさびかゝつた。

「無禮もの、さがれさがれ」

女は金切聲をふりしぼつたが、造作もなく折助の膝の下に、引しかれてゐた。

「へゝゝ、もうこつちのものだ」

ニヤニヤ笑つて顔をさしよせる折助の油顔を見て、お濱の口がカーッと開いた。

「アッ」といふ悲鳴で、折助は、でんぐりがへつた。端端をした、か喚ひつかれたのだ。

こんな騷ぎを聞きつけたのか、一軒おいて隣の大屋さんが、あたふたと驅けつけた。六十近い實體さうな老人だ。

「御新造さま、何事がはじまつたのです」

怖る怖る、二人の樣子をあがり口で見てゐる。

吉住小之藏師 演奏會延期

長唄觀會、吉住小之藏師の勇退披露演奏會は三月五日ヤマトホテルに於て開催の豫定であつたが目下熱河方面の情況緊張せる際遠慮のため當分無期延期する事となつた

うわさ話

ゆうべの映畫街は大雪にたゝられて足許が惡く近來にない不入の土曜日だつた▲チャップリンの「街の灯」で內地映畫界に羽振りのいゝところを見せて歸つた小泉友男氏▲歸連後も又別の問題で引續き活躍中で常盤座は「地獄の天使」に引續き次週はフォックス映畫「貞操切符」と大物を連發▲日活館は三月豪華陣の第二彈として七日から日活の特別作品で久し振りの夏川靜江主演現代劇「彼女の道」を上映▲「制服の處女」でクリーンヒットを飛ばした映樂館は近日寛壽郎プロ作品「丸橋忠彌」と新興特作品「渦卷」の新舊特作品二本立の優秀プロ上映▲寶館は次から次へと問題を起してゐる流行小唄「涙の渡鳥」の河合映畫近日封切を豫告▲藤原義江主演の「叫ぶアジア」は島耕二、千葉早智子ら第二班二十二名も安東線經由で旣に奉天に到着し▲村岡樂童氏の別宅に待機中だつたが、準備完了し愈々撮影を開始した筈である

本社特選 新棋戰（其二）

平手番 香交 七段▲溝呂木光治
六段△渡邊東一

【圖は二四同歩迄の局面】

渡邊氏持駒ナシ

溝呂木氏持駒 歩

△二四飛　▲二三歩
△二六飛　▲八四歩
△七八金　▲八五歩
△六九玉　▲八六歩
△同　歩　▲同　飛
△八七歩　▲八二飛

【土居八段講評】渡邊君の七八金は作戰を誤つてゐる、七七角と上つて敵の歩換へを豫防し六四銀なら、五七銀、七四歩、六六銀、三四歩、六八銀と指す方が得である。

【荻原六段解説】渡邊氏の二六飛は中段に構へて先手の利を飽く迄保持して發揮せんとの意味である、溝呂木氏の八四歩は相懸り戰に出たもので、此處で四四銀と出て中央より指す手法もあるが敵に飛車先を切られ二六飛と引かれたから、一歩を持たれてゐる時は比較的中央の作戰は効果が薄い故に八四歩と指したのである、渡邊氏の七八金は相懸り戰にする意味であつて此處で七八銀と上り敵八五歩、七七銀と敵の飛車先を切らさない趣向もあるが、二六飛を中段に構へてゐる關係上先手の利を重視し相懸り戰にする意味で七八金と指したのである、續いて六九玉も七七角と上る手段もあるが常の形に導き先手の利を發揮せんとする意味で六九玉と指したのである。

安價と美味

そして清潔と氣持のよい事は邦人の經營する弊館の誇り

三階食堂

新年宴會 結婚御披露には
歡送迎會 三百五六十人様迄は樂で御座います
內地よりの視察團、軍人學生團體 日本座敷も四室
見學の方々 御座います

二階食堂

一室四百人様迄は大丈夫で御座います小は一卓半卓よりどしく御利用を歡迎いたします其清新なる裝飾と氣持のよい事は吃度皆様のお氣に召す事と存じます。

一階食堂

主として民衆的一品料理肉うどんの一杯から二、三人様の小會食にもお氣に召す儘に別に御家族室も御座います
料理は飛切り日本酒は菊正宗で御座います

珍味の中心 人氣の焦點 北京料理
大連連鎖街銀座通榮町角
扶桑仙館
電話（日人專用 二一二一六〇 華人專用 二一二一四九 三階 二一〇一〇）

伊勢屋のフトン袋
伊勢町（浪速町角）電四六五五・四六八六番

クラブ 堂 級 化粧品

春は樂し　花を訪ねて野へ山へ
クラブの粧ひ　ほがらかに――

麗色
これは新しい美の表現です
クラブがリードする33年の新流行美こそ春を彩る近代麗色

「まあ！お姉様のお化粧素敵ね」
「A子さんだつてスマートだわ。クラブビシンの肌色でせう」
「さうよ。お姉様はクラブつぼみと周煉白粉の濃化粧ね」
「えゝ、昨夜クラブコールドクリームをつけて寢たから今朝のお化粧はとても樂だつたわ」
「お兄様がびつくりなすつてよ。私、呼んで來るわ」
「いやなA子さんね。ホヽヽ」

主要品種別

クラブ周煉白粉
クラブ煉白粉
クラブ水白粉
クラブ粉白粉
クラブ紙白粉
クラブ白粉錠
クラブ洗粉
クラブビシン
カテイフード
クラブ美身クリーム
クラブ淡白クリーム
クラブコールドクリーム
クラブ美の素
クラブ化粧水
クラブ乳液
クラブ口紅クリーム
クラブほゝ紅
クラブ眉墨
クラブ香油
クラブ植物性ポマード
クラブブリ、アンチン
クラブキニーネ香水
クラブベーラム
クラブビシン石鹼
クラブルブラン香水
クラブキヤラ香水

眞鍮看板 調製
ネームプレート
大連市淡路町一七
沖本ブリキ店
電話六二六一番

私しや備前の岡山生れ
ぢひ痔病氣は若にはせぬ
有名なる專門家傳のみくすり
いぼぢきれぢ、ぢろう、だつこ、ぢ出血ぢノ痛
登錄商標 ぢ 如件
七日分 二円
十五日分 四円
四十日分 十円
注意一、ぢノ手術ハ肺病ヲ誘起スル恐レアリト聞ク、又手術後再發或ハ子孫ニ遺傳スル患者沢山アリ
送料十戔代引廿五戔
切らず、やかずに仕事もやめず呑んでぢふさぐ妙の薬
（説明書無代進呈）
岡山市柳町南詰 肛門藥商會 振替大阪四九二五三
販賣店募集
滿洲代理店 大連市西広場（但馬町入口） 肛門藥商會

安田經営 海上火災保險
滿洲總代理店
國際運輸保險部
大連市山縣通り 電話三一五一番
沿線各地の御用命は最寄店所へ…

ナニワホテルの特色
一、宿料の低廉なこと
一、位置は第一等便利な所にあること
一、サービスが行届いて而も一割チップなこと

室料
一圓八〇錢　二圓七〇錢
バス付 三圓一五錢　三圓六〇錢
バス付 四圓　四圓五〇錢

大連市浪速町
ナニワホテル
電話（代表）七一六四番

感冒・肺炎・肋膜炎
扁桃腺炎・咽喉痛
氣管支炎・中耳炎・其他

藥効の完全を期するために
必ず嚴封包裝品の御購入を冀ふ

近時エキホスと稱しエキホス又はその類似品の大量包裝より適宜小罐に容れて分賣する向有之哉に聞き及び申候處右者屢々陳舊又は吸濕せるため巴布劑の生命たる滲出液吸收性並に組織內竈透性を減弱し爲めに藥効の完全を期し難く候間御購入の際は**エキホス製造元の特許包裝法による嚴封品**と御指定奉願上候
（上揭寫眞參照）

發賣元 株式會社 武田長兵衛商店
株式會社 塩野義商店
製造元 二巴合名會社 大阪市東區道修町二丁目

滿洲日報

支那軍の態度不穩化 山海關俄然險惡
綏中、錦州方面進擊の計畫に 我守備隊嚴重警戒

【山海關にて島田特派員四日發】わが熱河掃匪工作が着々進捗しつゝある折柄一方山海關方面の空氣は俄然險惡化して一、二、三日中が最も危しと思はれるにいたつた、即ちこゝ數日來海洋鎭に在る何柱國軍の司令部は突然色めき立ち、何柱國を始め參謀副官等は連日會合して山海關の奪回及び目下熱河に出動して手薄となつてゐる綏中、錦州等までも占領すべく作戰計畫を練りこれに伴つて敵の第一線は俄然緊張兵力を増大し更にこれを應援すべく于學忠指揮下の灤河以西の部隊も續々灤河以東に移動を開始した、灤西の兵力は目下七萬と稱せられる、江岸の各部落は全部兵舍に充てられ、山海關の城壁に立つて敵陣を望めば騎馬兵が馳驅してゐるのを手にとる如く見ることが出來る、このため山海關方面の人心は極度に緊張しわが守備隊その他においても非常警備の配置につき嚴重なる警戒を續けてゐる

突如我警戒線を攻擊
支那軍の不法行爲頻々

【山海關五日發】四日午後八時九門口西門街千米突附近に現れた將校斥候らしき一隊の支那兵、矢庭に我が警戒線に向つて小銃を以て攻擊し來り、續いて二郎廟前面に於ても手榴彈を携帶せる一隊が我が警戒線を騷がした事實あり、又この日秦皇島より長城鐵道に沿ひ石門寨へ約一千の支那兵輸送されたとの報あり昨夜は我が城門警備隊では眞田隊長以下緊張裡に徹夜警戒に當つたが雪明り晝の如くでその後支那兵の襲來もなく無事夜明けとなつたが本日も警戒の手を緩めず萬一に備へてゐる

乾溝鎭に大軍集中 我軍の背面を脅す
長城を越に北進の氣配

【錦州五日發】凌源より〇〇に向つて逃走する敵を急追して逸早く昨四日午後〇〇北方僅かに十粁の地點に到達した服部部隊と相呼應して〇〇〇に向つて南進せる中村部隊は天候と險路に阻まれ前進意の如くならず行路難に惱みゐるを奇貨とし服部部隊の背面を脅かさんと敵は双山子、乾溝鎭に一萬の兵を集中漸次東北方の北章營子に向つて進出せんとしつゝあり この報を得た〇〇機〇〇臺はよき獲物御參なれとばかりこれを爆擊殲滅すべく本五日午前八時一分相次いで勇躍乾溝鎭上空に向つて出動した、尚ほ一方〇〇機は午前七時承德一帶の敗殘敵狀を偵察すべく出動した

【錦州五日發】飛行機の報告によれば服部部隊に屬する一部隊は四日午後二時四十分、北章營子西北方約十五キロ西合東西の線に陣地を敷ける敵に對し攻擊を加へて居る

隊伍整々赤峰に入る茂木部隊

懸軍長驅

中村部隊 前進開始

【新京電話】關東軍司令部發表＝豫て綏中に待機しありし中村部隊は昨四日同地を出發前進を開始せり、情報によれば乾溝鎭附近には尚有力なる敵匪殘留しあるを以て今後この同隊の活躍は期待せらる又昨四日午後九時三十分冷溝北方約四里を南進せし服部部隊は既に冷溝を占領せるものと認めらる

服部部隊 交戰中

【錦州五日發】昨四日の空中偵察によるに服部部隊方面の戰況左の如くである

午後二時四十分北章營子の西南十五粁の西合東西の線には敵は相當堅固な陣地を構築し約五、六百の敵兵は之に據つて頑強に抵抗しつゝあり、わが〇〇隊はこれを攻擊中である、又我〇〇隊及びその後方連絡隊は午後三時凌源に進入し、而して服部部隊の主力は凌源冷口間凌源の南方五十キロ北公營子街道を前進中であるが天候不良のため空軍の連絡をなし得なかつた、乾溝鎭には大部隊の敵ある模樣であるが小部隊に別れて逐次西合方面に向つて前進しつゝある

双山子に三百の敵兵

【奉天電話】關東軍司令部發表＝關外に向け蜘蛛の子を散らすが如く遁走しつゝある敵を追擊しつゝ五日早朝出發した我が〇〇飛行場の草野大尉編隊の〇機は翼を連ねて正午過ぎ歸來したがその報によれば山海關北方約六十キロの双山子の北方三合房に約三百の敵をみ數箇の爆彈を投下し、殆ど敵を潰滅せしめたが、その他には敵影を認めず、敗匪の行方を〇〇機により搜査中、双山子は省壁線冷口の北方約八里の地點である

高田部隊前進

【赤峰五日發】茂木部隊の入城に依りて赤峰に入つた高田部隊は部隊の整備を終り茂木部隊の後を追つて今朝圍場方面に向け前進を開始した

【赤峰四日發】〇〇方面に急速なる戰況發展の報に接した〇〇團長は〇〇方面の友軍に協力するため高田部隊を以て四日午後赤峰を出發し先づ〇〇方面の敵を打拂ひ長驅西方〇〇方面に進軍を開始せしめた

又茂木部隊は四日午後一時赤峰出發〇〇方面に前進、高田部隊の作戰に協力するため行動を開始した

林西を占據
崔興武皇軍に投降

【東京五日發】陸軍省公表＝劉桂堂軍の先遣部隊は三月三日林西を占據して熱河軍騎兵第九旅（崔興武）は皇軍に降服した

茂木部隊の先遣隊 圍城に入城

【奉天電話】赤峰に入城した茂木部隊の先遣部隊は圍城に入城したと

松田部隊 赤峰に入城

【赤峰五日發】松田部隊は四日午後八時頃赤峰東南十里の地點、〇〇水に突進し同地に宿營した、本夜中には強行軍を敢行し赤峰に入城の見込みである

凌源附近の戰況報告

【錦州五日發】凌源に宿營せる〇〇團長の報告左の如し

一、凌源に駐屯しありし支那軍第一〇八旅は二月廿五日森祿科方面に移動した

二、凌源に出動せる學良軍第三〇旅は第六八八團を葉柏壽に第六八六團を大杖子に第六八七團を豫備隊として凌源に配し葉柏壽大杖子の線にて頑強に抵抗を爲す計畫であつたが服部部隊の米山挺進隊の猛進と〇〇團部隊の川原挺進隊の急進のため第一線は崩壞し遂に抵抗を斷念し二日午前十一時頃旅長は平泉に退却した

三、朝陽で抵抗した董福亭旅長は朝陽葉柏壽間本道の南方地區に遁入した模樣

四、凌源に敗退せる第一三〇師も我が挺進隊の進出に踏止まれずその主力は山地に潜入した

五、平泉に在りし第一二九師の第六八四團は榆樹林子（凌源西北方約十里）の地點に潜入せるが其後の狀況は不明である

北方兵團南進

【新京電話】北方兵團の主力は四日赤峰を出發南進せり又松田部隊は同日午後八時赤峰東方十二里に達した

米山部隊 戰傷者

【錦州五日發】我が米山先遣隊の損害左の如し 第〇〇〇聯隊第〇〇 〇〇隊藤堂中尉 [illegible]

途中車を停めては 敵死體に瞑目合掌
川原部隊武士道の發露

【承德五日發】川原挺進快速隊の承德入城は昨報の通りであるがその途中廻龍山方面には敵の遺棄せる武器、彈藥、馬匹、糧秣等に交つて多數の敵死體ありこれが爲め快速隊の進行難は非常なもので道路上に置き去られたこれ等の死體を乘越えて行かねば前進出來ぬ有樣であつた、然し武にはやる大和武夫の心にもやさしき情あり我が川原部隊は假令敵兵とはいへはかなくも戰場の露と消えたこれ等の屍を車輪にかけるのは忍びざる處となし車を停めて死體を取片づけ瞑目合掌しながら西へ〳〵と前進を續けたものでこれは日本武士道の發露として非常なる賞讃を博しこれを聞き傳へた承德一帶の住民は今更ながら皇軍の入城を喜び合つてゐる

敵の死體を避けて進擊
米山部隊も

【奉天電話】沙村山野鷄溝においての反滿軍と服部部隊の激戰は慘烈を極め遂に敵軍を潰走せしめた服部部隊の前進のあとには敵の遺棄した死體各處に横はり野鷄溝、凌南附近には死體五六百、凌南の第一陣地たる白道營子には千數百、陵南北方八家溝には五、六百等激戰の跡を物語つてゐる、この凌南進擊にわが米山騎兵隊の東道甲尉、山崎上等兵は名譽の戰傷を負ふた、なほ米山部隊は敗亂せる敵の死體を自動車の轍にふむことは敵ながらも武士道にあらずとしてこれを丁寧に路傍にさけ路を開いて突進した

古都承德城
皇軍入城を喜ぶ市民

【錦州にて南里特派員五日發】四日承德に入城した川原部隊は離宮内の省政府をそのまゝ本部として熱務會その他省政府各機關を通じて市民は安んじて業に就くやう布告すると共に省城の治安維持に任ずるところがあつた、離宮外側を流れる灤河は未だ凍つて白銀の帶狀をつくつてゐる、その川を境にして北は女性的山麓に輪奐の美を極めた純西藏式の大寺院が現在二十數戸にわたり、南は堂々たる城壁をめぐらし離宮、廣大な規模、宏壯華美を極めた宮殿廊へ蒼鬱たる池に架けられたる石橋、古びたれど熱河市街を俯瞰する十二層の塔、鬱蒼たる老大木の間に悠々と遊ぶ鹿の群、大清朝時代の豪奢をしのぶには十分である、市街は離宮外に相接し軍閥に荒されたとはいひながら頗る殷盛を極めてゐる、王道政治を欲求してゐる省城民は皇軍入城を待望して双手をあげて歡迎してゐる

井上司令官談

【山海關四日發】井上獨立〇〇隊司令官は四日午後一時半參謀、南門に登り城壁を半廻りし親く今次の事件のため犧牲になつた將士の爲め遺靈を慰め夫れより〇〇隊を巡視力強い訓示を與へ一先づ〇〇部隊に落着いたが折柄皇軍承德入城の報を齎し訪問すれば微笑を含みつゝ語る

早かつたと云ひたいが先づこんなところだらう、然し孰れにしても折悪しく天候不良で寒いため相當行軍難であつたらしいのに善くこれだけの成果を收め得たものだ、後方に在つて感激これに過ぐるものはない、これで熱河は一先づ平定し滿洲國も磐石だ、殘るは平津地方だが支那にも自ら期する所の輿論あるべくお互ひに成行を靜觀することにしよう

武運長久
陸相軍司令官へ謝電

【東京特電四日發】荒木陸相は熱河討伐の進捗著しきものあるに對し特にこのたび武藤關東軍司令官宛左の感謝電を發した

天候地形一切の困難を克服して疾風枯草を掃ふ皇軍の勇猛これ國民讃仰の的たり、こゝに將兵の勞を感謝すると共に最後の成功近きにあるを確信し重ねて武運の長久を祈る、右關係將兵一同に御傳へを請ふ

なほ武藤司令官よりは左の答電があつた

御懇電を謝す、最後の成功に邁進しつゝあり、將士の士氣旺盛、御安心を請ふ

戰闘司令所を設く
武藤軍司令官赴錦

【錦州特電四日發】關東軍司令部發表＝武藤關東軍司令官は熱河事件進展に伴ひこれが指導のため小磯參謀長以下の幕僚を隨へ三日早朝新京發、同日午後三時半、錦州驛着同地に戰闘司令所を開設した

【錦州にて板屋特派員四日發】熱河問題の進展に伴ひ俄に重要性を増した錦州は三日午後三時半わが輝ける武藤軍司令官を迎へ喜び沸き返つてゐる、武藤軍司令官は小磯參謀長外幕僚を從へ下車と共に直に自動車にて軍司令所に向ひ、坂田、小林兩參謀らの出迎へを受け別室に入つた

支那軍潰滅の原因
數へられる重大點
關東軍喜多大佐談

【錦州にて板屋特派員五日發】滿洲國最後の癌熱河討伐は列國環視の裡にありて皇軍の驚異的活動に依り首都承德陷り一段落を告げた形であるが支那軍は我に十倍する兵力を有しながら斯く脆くも潰滅したるについて事件以來寢食を忘れて作戰に沒頭した關東軍第二課喜多大佐は五日喜色を滿面に湛えて左の縱横談をなした

事件突發當初の熱河には支那側兵力は在來の正規軍四個師に増員二個師團を加へ更に傷勇軍三旅團、土着軍三旅團之に雜色軍を加へると優に十五六萬に達する勢力であり戰端が開かるゝや更に關內より學良直屬軍五六萬が増員した、その上既に昨年來堅固な陣地を構築しながら事實の樣に脆くも皇軍の馬蹄に四散するに至つた、この理由を擧げてみると

（一）反滿軍には統帥の主權が確立せず作戰が出來てゐなかつたこと、殊に開戰直前まで統率者たる張作相が關外にぐづ〳〵してゐたこと

（一）指揮の系統が確立してゐなかつたこと、例へば第十九、三十、二十九といふやうな師團は昨年十二月末から來てゐながら今日まで呆然として軍の配備をなさず防禦陣地も極めて不完全のまゝであつたこと

（一）最も脆弱であつたのは我軍攻擊の直前に二ケ月も前から居た百九師と到着したばかりで地勢を知らない百八師と交替させたこと

（一）廣大な地域に兵力をバラまいたこと、赤峰、葉柏壽、乾溝鎭に至る日本里數六十里に亘る地域に一面兵をバラまき隨所に兵力の弱いところが出來てゐたこと、十里に及ぶ戰線に八千位の敵で正面を守つてゐるといふ例も珍らしくない

（一）部隊の素質が劣惡で犧牲的攻擊精神に乏しく全く烏合の衆であつたこと

（一）地方住民の民意を失つたこと、湯玉麟以下久しきに亘つて苛斂誅求したため熱河省民は完全に軍隊を離れ二月二十五日朝陽附近の戰闘における董福亭の第百七旅は我軍の攻擊によつて二十七日未明ぞく〳〵後退しつゝあつた際通過する部落の民團或は自衛團から射擊され遂に葉柏壽に落つるを餘儀なくされたこと、又松田部隊が建平に向つた際その前面の第百八旅の如きは人民を使用して陣地を造つてゐたが住民は途中から逃げ出して了ひ陣地構築中途で中止の止むなきに至つたこと

これを要するに支那軍敗退の根本理由は統帥權の不確立兵質の劣惡、民心離反といふことに歸着するのである、陛下の赤子の皇軍には齒牙も立て得なかつたのが當然である

特派員更に增派

皇軍承德に入城し熱河省の大半わが威風に靡きて掃匪事業完成に近づきたりとはいへ、なほ張學良使嗾の匪軍は策動やまず戰局漸次擴大して來たので本社は一層報道の敏速正確を期するため嚢に特派した八記者の外更に一名を增員して五日夜前線に向け急行せしめました

三月六日

寫眞課員 佐内繁雄

滿洲日報社

萬歳三唱
沈默將軍快笑

【錦州にて板屋特派員四日發】淺い春の日も暮れたばかりの四日午後六時ころ歡聲どつと上つた、それは錦州の戰闘司令所高等官食堂で熱河の都承德が陷落と聞き武藤司令官をはじめ小磯參謀長、岡村參謀副長、齋藤第一、喜多第二、原田第三各課長その他幕僚三十餘名一齊に祝杯を擧げ軍の作戰成功をたゝへ、且つ熱河省攻略が將兵の武勇に科學および新兵器の機能發揮を加へて作戰豫定よりも遙かに早く承德を占據した將兵の武勳をたゝへてその健闘を犒るべく勝栗に鯣に冷酒といつた質素のもので祝盃を揚げた、さすが沈默の將軍武藤司令官も兩頬に笑をたゝへてゐた、かくて岡村參謀副長の發聲で萬歳三唱し散會したが作戰の全責任を負うた小磯參謀長に「おめでたう」といへば參謀長は三軍の將帥たる態度に復し「前線は寒さ嚴しく食なく困難してゐるだらう」と將兵の武勳をたゝへいたはると共にこれをねぎらつた

軍艦派遣
◇……海軍省發表

【東京五日發】海軍省公表 北支及び滿洲國沿岸警備の第二遣外艦隊は軍艦平戸と第十六驅逐隊三隻であつたところ山海關事件直後常磐が增勢せられた、今回日滿軍の熱河兵匪掃蕩に際し特務艦岬威二月八日佐世保發、又二月二十一日軍艦多摩は舞鶴發、第十五驅逐隊の驅逐艦四隻は吳發何れも第二遣外艦隊に增勢せられた、目下青島に在る常磐を除いて第二遣外艦隊の全部（旗艦平戸以下軍艦驅逐艦十隻及飛行機）は山海關及秦皇島沖合に在つて警備に任じてゐる、以上全部の海軍兵力は艦艇三十八隻、人員約八千人に上つて居り各地共平穩である

天津軍司令官より祝電

【錦州五日發】天津軍司令官より武藤司令官に對し「猛烈果敢なる驀進に次ぎ承德占領の快報に接し謹みて貴軍の赫々たる戰勝を祝福す」との祝電が到着した

蔣支那公使 五日歸國

【東京五日發】駐日公使蔣作賓氏は五日午後六時横濱發プレジデント・ーリクブランド號で賜暇歸國の途に就くに決した、同公使は午後四時過ぎ自動車で横濱に直行するが公使は一切時局外交談に渉るを避け、櫻咲く頃歸任するか否かは未定である

南京政府 英國に縋る

【東京五日發】某所入電によれば南京外交部は三月三日附駐英公使郭泰祺に對し左の訓電を發した

熱河に於て支那軍が大敗したのは英國が傍觀的態度を採つたからである、今や戰禍は北支に擴大せんとし支那はこれ以上外人の生命財産の保護に任ずることが出來なくなつた、聯盟を牛耳つてゐる英國は宜しく聯盟の權威を保持する爲め日本に干渉壓迫を加へその鋭鋒を挫かれ度き旨を英政府と嚴に交渉せよ

滿洲對策同志 會懇談會

【東京特電五日發】衆議院各派有志より成る滿洲對策同志會では九日午後四時より議長官舍に目下上京中の庵谷奉天商議會頭、田邊元滿鐵理事を招待し五十餘名の會員出席の上滿洲問題に對する懇談的研究をなす筈

滿洲國政府 印刷工場

【新京電話】滿洲國總務廳需要處印刷工場はいよ〳〵機械据付も完了したので近日中に業務を開始することゝなつたが右工場では政府公報及び政府の機密文書の印刷のみをするものでその他は民間に委れても差支ないものは從來通り民間業者の手に委せ以て民間のこの種事業の發展に資することゝなつた、しかしながらこの種の印刷のみではその收支つぐなはないのでこれに要する經費は需要處の經費をもつて充てる筈である

社說
地久節の御祝

本日は我皇后陛下第三十二回の御誕生御祝日に當る。陛下が御坤德高くましまし、殊に御仁慈の御心深く渡らせ給ふは、萬人周知の事である。是れ畏くも御天成の然らしむる所ではあるが、御幼時よりの御修養も並々であらせられざりしことも承はる。されば、畏くさして進奏已まざる我國の國母陛下として、國民擧つて敬慕し奉るのも偶然でない。

◇

皇室は我國德教の中心にまします。我憲法に天皇は帝國を統治すとあるが、それは西洋流の政治の事ばかりでなく、德教にも關する事である。德教の一部として政治があり、政治は西洋式の法治一點張りでなく、天道を明にするといふ所に我國體の特色がある。天皇の御位を天つ日嗣と稱へ奉るによりても之れを知る事が出來る。

◇

されば兩陛下が我國德教の中心にて渡らせ給ふのであるが、天皇陛下は殊に政治上の（德教より分化せる）萬機を總攬し給ふによりて、日常多端の御政務に御勵精遊ばされる間に、皇后陛下には專ら文化、仁愛、風教の方面に全き御姿を示現し給ふ。是れやがて我國女性の範を示し給ふわけである。我國民が天長地久と兩陛下を壽ぎ奉り、地久節に當りては、殊に國母陛下の萬歲を祈り奉る所以は此處にある。

米國新大統領と二大問題

米國第三十二代の大統領ルーズヴエルト氏は三月四日就任した。久しき間の共和黨政府から、民主黨政府になつたので注意を惹くのだが、差し當つての問題として世界不景氣恢復の爲めに如何なる政策を執るかの問題と、極東日支問題に對する態度とが、內外の齊しく注目する所であらう。何と云つても不景氣退治が米國全民の最も深刻に期待する所であるに相違なく、日支問題の如きは、不景氣問題の一片として考へらるべきものである。

◇

フーヴアー大統領は不景氣恢復に最も力瘤を入れたのだつたが、力點の捉へ所が違つたと見えて、あがけばあがく程不景氣を大ならしめた。固より不景氣は世界的のものであるが、アメリカの財力を以てすれば歐洲の景氣を恢復して米國に活氣を興へ、以て世界の不況を恢復せしめ得なければならぬ筈だ。フーヴアー氏もその積りで努力したが、努力は益々結果を惡くするので遂に多數に見離されて、選擧戰に慘敗を見るに至つた。ルーズヴエルト氏は此點に鑑みて恐らく變つた方策を執るであらう。此點に最も力を入れるであらうことは、その國務長官と財政長官とに財政通を捉へ來つたことによつても推測される。

◇

日支問題に關しては、如何なる理由であるかは不明であるが、スチムソン前長官が異常に力瘤を入れた。南北アメリカ洲以外の問題に、斯くの如く力を入れるのは米國の建國精神に反する事で、深入り過ぎると吾人が屢々評論したのであつたが、米國でも矢張りその感があつたものらしく、此の爲めにフーヴアー氏の大統領選擧戰に甚大な不利を與へた。蓋し東洋の平和を維持する實力を有する日本を掣肘し、自國の和平をすら保つ能はざる國民政府を助け、場合によつては好貿易國日本と事を構へんとするが如き政策は、不景氣恢復の政策に反するものであるからだ。ルーズヴエルト氏は此の事情をも知り居るに相違なく、此點に關して相當の顧慮を拂ふ可きは推測される。

米の銀行業務制限 遂に全米に波及
唯一のベ州も休業聲明

【ウヰルミントン四日發】米國四十八州中銀行業務を制限しない唯一の州であつたベラウエア州も大勢に抗し難く今夕遂に六日より當分銀行休業を實施する旨聲明した、これで銀行業務の制限は遂に全米四十八州及びコロンビア地區の全部に及んだ

金本位制危し
わが財界方面の觀測

【東京五日發】アメリカの金融恐慌は遂に全米四十八州に波及して支拂制限乃至休業をなすのやむなきに至りこれに對する新大統領ルーズヴエルト氏の對策如何は全世界注視の焦點となつてゐるが、この對策はニューヨーク州銀行の休業最終日たる六日迄には何れにしても具體的對策を緊急されてゐる、しかしてこの

對策 につき外電及び同國現下の情勢に鑑み觀測するに取敢ず應急策としては全米銀行に對する大體的預金支拂及保證の特別融通を不可避とされるがドル價に對する內外不安極度に達した今日國內の金兌換の欲求金退藏は益々激化するものと觀られこの結果は準備當局の金準備率を著減せしめ中央銀行の地位を危所に陷入れしむる懼れがあるので金の兌換停止は今や不可避必至のものとされ更にこれと共に金の買上げ流出も目先きた慌ふ各國金融業者の思惑を制較して金輸出再禁止を餘儀なくされるものと解される、かくて從來兎角世界の

堅壘 と信任されてゐた米國金本位制は今や開渡の瀬戸際に押詰められたわけであると我財界では觀てゐる

領の教書の中には預金支拂のために必要なる通貨の供給をするが金本位は棄てない意向を仄めかしてゐるので金本位維持には努力するであらう

聲明書發表か

【ワシントン四日發】新財務長官ウッディン氏は二日當地財務省で行はれた財務高官の會談の席より本日午前三時退席したが氏は會談に關し聲明書を發表すると漏す

一齊休業す

【プロビデンス（ロードアイランド）四日發】ロードアイランド州各銀行も四日から一齊に休業した

紐育州に波及

【ニューヨーク四日發】米國地方人動搖は遂にニューヨーク州に波及し州知事シーマン氏は四日早曉に至り六日まで州內銀行の休業を命じた、同時にシカゴを擁するイリノイ州も州內銀行の休業を決定しモラトリアム區域は三十四州に達し殘りは三十四州となつた

外國爲替取引休止

【ロンドン四日發】英國財界は米國銀行界の混亂に鑑み四日ロンドンに於ては外國爲替取引を行はない事に決定した

我國への影響
金輸出を禁止せば
輸出入ともに打擊

【東京五日發】米國の金融恐慌は停止する處なく遂に五日入電によれば銀行休業は全米に波及するに至つた、此金融恐慌に對しルーズヴエルト大統領の教書は極めて抽象的であり如何なる對策が講ぜられるかは來る七日開會の議會に何等かの提案を見るまで判明しない譯である、而して我が國に及ぼす影響に就ては全然來年の米國財界不況及び對支問題等の關係から既に生糸その他の對米貿易界は打擊を受けて居り著しい打擊はないがその對策として讓て注目せられてゐる金輸出禁止等が愈々實現するとなれば爲替相場の變動を來し輸出入共に打擊を受ける譯である

深井日銀副總裁談

【東京五日發】深井日銀副總裁談　米國の銀行休業は遂に全米に及んだやうであるからその對策を講ずることがルーズヴエルト大統領の就任早々の緊急問題であるが差し當り金本位を維持するとすればモラトリアムを施行して預金の支拂を制限すれば足りるけれども一方に金融界財界の機能を維持することをも考へねばならぬ、ここが當局の苦心の存する處である、ルーズヴエルト大統

國會議事堂で宣誓式擧行
ル氏大統領に就任

【ワシントン四日發】ルーズヴエルト氏は本日正午愈々第三十二代大統領に就任した、式場たる國會議事堂正面大理石の大階段上のプラットホームは米國々旗を以て飾られ會衆約五萬人である、プラットホーム中央に立つた新大統領は海軍々樂隊の國歌吹奏裡に大審院長ヒューズ氏參列の下に宣誓し續いて力強い聲で就任演說の朗讀を爲した終るや新大統領は周圍の人々よりの祝辭と握手に應へつゝ直に夫人と共に自動車に搭乘參謀總長マック・アーサー將軍を先頭とする大行列車に入つたが此の行列こそ新大統領として初めて白亞館に入る榮ある行列で市民各種の團體其他各方面の代表者が之に參加し歷史的由緒深きペンシルヴアニア街を通つて白亞館に入り茲に全く就任式の盛儀を終るのであつたが沿道兩側には六萬の民衆が歡呼を浴びせ新大統領夫妻は車上より之を顧みながら彼等に應へた

滿洲中央銀行第一期業績
（下）榮厚總裁演說要旨

通貨の安定に就ては發行の整理準備の充實及活用に意を用ひ公定比率の周知徹底に努力したる結果何等の故障なく國幣の普及を見、流通極めて圓滑にして發行の整理安定を見るに至れるは邦家のため慶に堪へぬ、國幣の發行及び準備について概略を述ぶれば、開業當時舊行號より引繼ぎたる發行高は一億四千二百二十三萬四千八百七十二圓三角四分より漸次減少し大同元年十月十一日一億一千八百八十七萬二千四百廿四圓九角を最低とし更に漸增して年末一億五千百八十六萬五千三百九十五圓八角七分を以て越年し、之に對する正貨準備金は最高八千五百三十八萬九千四百七圓四角七分（七月十七日）最低六千三百六十六萬一千二百九十一圓四角六分（十月二十八日）にして五割九分乃至五割二分を設け決定準備率三割の約倍額を保持するの好成績を示してゐる、而して正貨準備以外の殘額は全部法定の保證準備を保有してゐる、本行開業以來十月中旬に至るまで發行高の漸減せるは滿洲國經濟狀態の自然の歸趨にして滿洲國に於ては特產物の出廻り時期即ち冬季頃は[illegible]なるが故に發行高もこれに關連するに外ならぬ

本行は通貨整理統一をなすと共にその安定に努力し更に重要物產たる農產物に對する低利の金融に任じ地方經濟の救濟資金の供給をなし以て經濟產業の振興に資せんとするものである、また從來滿洲に於ける金利は非常に高率でありその上各地方の爲替取引は通貨不統一のため國內に於て各地間に恰も外國爲替の如き觀を呈し爲替料の如きも著しく高率にして金融の疏通を缺くこと甚大であつた、然るに本行開業後は統一せられたる通貨の下に爲替料を遞減し金利の引下げを行ひ以て國內金融の疏通、產業の發達に備へてゐる、なほ外國に對しても天津、北平、上海、日本各地との爲替取引を開始し外國取引に對しても不便なきを期してゐる次第である

×

この外本行は國庫事務の取扱及び建國公債の取扱の事務を處理するなど國家財政に對して應分の努力をなしつゝある、本行の營業成績に關しては未だ開業早々の際にて特に見るべきものあらずと雖も預金、貸出、爲替共に極めて順調に進捗し舊行號の引繼資產の精査も完了し四行併合統制に就ても着々準備を進めつゝある故來期に於てはその實績を見よう、尙附屬業務に對しては中央實業局を特設し舊行號より引繼ぎたる附業の監理運用に當らしめ、改善を旨とし引繼ぎの本旨に悖らざる樣努力しその分離獨立に必要なる準備を進めつゝある、本行が創業早々多事多端なるにも拘らずその基礎を安固ならしむるを得、且望外の好成績を擧げ得たるは一に政府當局の指導よろしきを得たると、善隣日本官民各位の厚き同情とによるもので、こゝに謹んで感謝の意を表する次第である（完）

二月對外貿易
大藏省發表

【東京四日發】大藏省發表＝二月分對外貿易左の通り（單位千圓）

輸出	一一八、八九〇
輸入	一八二、三六八
入超	六三、四七八

前年同期に比し四割八分四、輸入四割二分二增加輸出で增加せる物綿織物（一五、三五七）小麥粉（二、二四〇）絹織物（一、五二一五）人絹織物（一、四三二）減少生糸（七、〇〇九）輸入で增加したもの棉花（二六、〇七五）羊毛（七、六八八）鐵（三、六七八）原油重油（一、七一四）、減少硫酸アンモニア（一、二二三）自動車及び同部分品（一、二三九）である

關東廳辭令（三日）

關東廳遞信書記 大內龜太郎
任關東廳理事官 敍高等官七等從七位 七級俸下賜 關東廳理事官 大內龜太郎
長官々房文書課長勤務を命す
依願免本官 關東廳屬 細川 淸
任關東廳理事官 敍高等官七等 十級俸下賜 關東廳理事官 細川 淸
長官々房文書課兼長官々房審議室勤務を命ず

人事

◀上住良吉氏（陸軍步兵少佐）滿洲視察のため五日天津より來連雲水ホテルに投宿、同十時發列車で北行
◀堤祖氏（同上）同上
◀向倉謙太郎氏（同）同上
◀河野末松氏（同）同上
◀城戶貫經氏（同）同上
◀山下吉太郎氏（陸軍一等主計）同上
◀田中佐太郎氏（同）同上
◀廣士理八氏（陸軍步兵大尉）同上
◀飛松伸三氏（同）同上
◀森本和雄氏（陸軍一等軍醫）同上

錦州に戰鬪司令所が出來、武藤軍司令官此處に納まる、當分此方面油斷が出來ぬ、滿洲國最後の仕上げが必要だ◀相も變らぬ支那側の後方攪亂くさ摘發され、寬の手寬の足、切られ封ぜられ、動きがされぬ◀但し前方が餘り逃足早く、後方攪亂の手が出ない◀それもあさからく、利によつて動く者と、義によつて働く者と、前方にしろ、後方にしろ到底太刀打出來る筈なし◀幾十萬の潰走兵、如何に始末づけるか、よそ事ながら氣にかゝる、潮震の兵で武裝解除さか、裸の人間などに追つ拂ふつもりだ◀非人道な空想論者、刮目すべし◀平津に押しかける北支軍閥、非人道ならざるを得ない支那の國情、國際聯盟あたりの事算、具合よくこれを接收せんとする蔣介石◀此形勢を利用して蔣介石を北方に押し出さんとする南方反蔣派◀毛蟲を蝨が狙へば、蝨を狙ふ凸坊の空氣銃。

八面相
五十行以內 中傷はさける 投書歡迎

國旗を尊べ
すみれ人

◇いつも問題になる極めて陳腐な事ではあるが、三月一日大連神社附近の路上に散らされた紙の國旗を、心ある者は何と見るであらう。

◇愛國デモ勿論大贊成だが、一人々々が手にする紙製の國旗――もう少し國旗そのものを尊重するやう特に若人の社會的訓練を强調したい。

◇國旗の粗製（?）を見るにしのびない。紙による金の問題ではない。國旗を粗末に取扱ふ各人の、國旗に對する觀念そのものである。

◇恐らく、これは元氣に任せて國旗を振りまくつた跡ではあらうが、心懸け一つで、手製ハンケチの國旗も出來ようではないか。

◇布切の國旗だから大切にして紙だから粗末にすると云ふ理由は成立しない、國旗と云ふものは、戶每に揭揚するもの、みが國旗ではない。

◇これから、時局に關係して、樣々なデモが催されるだらうが、手にする國旗を御互に大切に取扱ひませう。特に若い學生諸君に切言したい。

學術的公園を
同好生

◇旅順後樂園の溫室內植物が斯界の權威佐藤潤平氏の手により整理されたさいふので日曜日に子供をつれて大連から觀に參りました。たしかに面目を一新されたさいはれませう、各植物には一々名札が立てられ、類似のものは同一場所に並べられ實に氣持ちよかつたし、我々には本當に參考になりました。

◇これまで不明であつたものもよくわかりました、今後は種類も充實されることでありませうし園內も溫室內の如く、各植物には名札がつけられることでありませうから大いに世を益することでありませう。

◇こんな學術的公園が大連にも是非必要であると思ひます、滿鐵又は市あたりでこんな計畫を一日も早く考へられて欲しいものであります、强つて當局に切望する次第であります。

慘鼻を極むる東北地方東海岸大震災慰問義捐金募集

本月三日午前二時半、宮城、岩手、青森の東北三縣並に北海道の一部に亘り、突如として起つた强震と之に伴ふ大津浪の襲來とは、近來の一大異變として全國民に痛刻なる衝擊を與へたが、その後續々各地よりの報告は一報每に慘禍の範圍を擴大し、遭難人員實に三千を越え、また家屋財物の流亡燒失二萬戶の多きに達すること明白となり、そゞろに彼の關東大震火災並に往年の三陸大强震の慘禍を憶はしむるものがある。

これ等同胞の言語に絕する大慘害の報一度傳はるや全國各地の同情は翕然として同地方民に集まり、又畏くも、皇室におかせられては、その被害甚大なるを憂ませ給ひて、痛く御軫念、直に側近者より被害狀況の詳細を御聽取遊ばされると共に、罹災者御救恤の思召にて、近く御內帑金御下賜の御沙汰あるべしと洩れ承る。

今回大震災に遭遇したる地方は我等の居住する滿洲とは地を隔つる數千キロの遠きにあるが、而も嘗つて日本帝國の生命線滿洲を今日の王道樂土たらしむるに與つて最も大なる貢獻を致したものは、實に東北健兒そのものであることを思ふとき、吾等在滿三十萬同胞の、同地方民並に其出身健兒に對する感慨は頗る深きものあり、この際吾々が起つてこれ等の地方民に對して同情慰問の意を表し、併せて邦家のため健闘する東北健兒をして後顧の憂ひなからしむるやう努めることは、吾々同胞としての義務であると信ずる。

是れ我社が在留同胞諸君に檄して、今次東北、北海道等の大震災地方に對する慰問金を普く募集すべく、玆にその趣旨及び要項を發表する所以である。

要項

一 金額 一口三十錢以上たること
一 受附 滿洲日報社事業部、奉天支社、新京支社
一 處理方法 相當額に達するを待ち、成るべく急速に內務大臣に傳達し、最善の處理方法を委託す

昭和八年三月五日
滿洲日報社

夢の國熱河を征空し 民間飛行機の軍用化

軍需品空輸の使命を果して 航空戰史に一大功績

【奉天電話】嶮溪たる三千平方里山又山太古のまゝに廻る夢の國熱河は鐵道は勿論完全な道路も通信機關もない、學良を盟主とする反日滿軍の挑戰により遂に熱河討伐の敢行を見、皇軍の神速なる行動と至妙の戰法によつて遂に承德は四日午前十一時皇軍の手に歸し熱河の大半は日章旗の翻へるところとなつた、熱河作戰の當初より軍需品輸送に航空機を使用することは絶體必要とされこの活動の基礎は作戰上重大なる役割を占めてゐた、この空輸の重大使命を見事遂行した島田中佐を隊長とする我〇〇空中輸送隊の活動こそは世界航空戰史上輝ける一大エポックを劃するものである、この燦たる空輸隊は滿洲航空會社の民間機と陸軍機とが完全に融合されしばしば唱へられてまだ實現するに至らなかつた、民間飛行機の軍用化を見事實現し世界航空界を瞠若させた、二月二十四日〇〇に集結して以來連日糧食、兵器、被服の輸送、戰傷患者の後送等に目まぐるしい活動をする一方通信機關の缺除を補うて情況の通信報告等に全隊をあげて必死の活動を續けた、第〇〇團よりは特にその功績をたゝへ四日空輸隊にあてゝ各感謝電を寄せて來た、航空戰史上空前の功績を收めた島田隊長を訪へば謙讓の面持でそれでもホッとした面持を抑したやうに語る

承德が手に入つたとの報を受けてホッとしてゐるしかしこれからが第一線の部隊が次第に奧地に進むにつれて輸送一層困難になるそれは云ひかへれば空中輸送が益々重大にあることを物語るものだ我等隊員一同この邊を考へて勇躍御奉公を誓つてゐる今日も赤峰まで食糧補給に行つて來たが午後から第二回の飛行を承德に向けする歸路は患者の輸送だ、お伽の國の熱河はもう昔話だ、何分錦州から承德まで一日二回くらゐ往復するのだからね

正義の日章旗に 省城・承德蘇る

狼狽のあと歴然たる 壯麗な湯玉麟の住居

【承德五日發】湯玉麟は皇軍が承德に入城した四日朝九時主力部隊を引具し北平に向つて早くも**逃走**し省政府内の各部屋には家具、卓子、椅子、地圖、書類が散亂し如何に狼狽して逃げたかゞ窺はれる、隱然たる勢力を占め熱河を睥睨した湯玉麟の住居は流石に壯麗なもので湯の庭、妾の部屋にはスリーキヤツスルの空罐がごろごろころがつて居るのみで貴重品や寶石等は早く持出されたと住民はいつてゐる、湯玉麟の各部屋は孫文の寫眞を掲げ例の「革命未成」云々の文字と三民主義の字句の額が部屋中に頑張つてゐる來て見れば矢張り湯が如何に學良に牽制されてゐたかゞ判明する、

大連でスキー　昨日伏見臺で

治安維持され 凌源は開店

外國人宣教師も感謝

【凌源五日發】皇軍入城後の情況は秋毫も犯さゞる嚴正な軍規によりて治安完全に維持され未だ數日ならざるに、避難民殆ご全部歸來し商家は全部開店平常通りの賑はひを見せてをり住民は何れも安居樂業を喜んでゐる、當地には英人四名、米人一名、獨人一名計六名の外國人宣教師が在住してゐる、その生命財産が皇軍入城によつて極めて安全に保護された事を衷心感謝してゐる

街の 辻や司令部會議室に

一週間前學良が承德に來た時は盛んな歡迎會をやつたさいひは青天白日旗と共に北平張委員長を歡迎云々さいふポスターが貼られてゐる、入城の際にはフランス

熱河からの 初放送

雨のため不良

【東京五日發】熱河よりの戰況放送第一日は午後零時五分から錦州停車場に据付けられたマイクを通じ奉天中繼で開始されたが雨天のため成績思はしからず内容は明瞭に聽取れなかつた最初小磯參謀長の熱河に於ける日滿軍狀平塚航空隊の熱河皇軍爆擊その後で友安アナウンサーの飛行機よりの狀況放送があつた

の牧師と商務會長及び紅卍會の連中が大旗を掲げて歡迎し何くれさなく世話をする、朝までは學政派の都、午後は一變我が正義の日章旗に埋められた

震災被害

内務省の調査

【東京五日發】内務省其後の調査によれば三陸震災の被害は五日午後三時現在左の如く死亡者は一千四百八十三名で統計上減少を示してゐる

	死者	傷者	行方不明	計
岩手縣	一三〇九	五二一	一三六六	三一九六
宮城縣	一三五	一七六	一五五	三六六
青森縣	九	七〇	二一	一〇〇
北海道	三	〇	四	六
合計	一四八三	六九九	[illegible]	[illegible]

▲家屋被害　岩手縣九六三〇、宮城縣二六八六、青森縣三一一、北海道九五、福島なし▲合計一二七二二

岩手縣へ送つた救恤品内容

【東京五日發】内務省より既に岩手縣へ送り出した救護物資左の如し
防寒外套七千、毛布五百枚、澤

羅災三縣の知事宛に見舞電

本社が讀者に代つて

本社は今次の東北東海岸地方に於ける大震災に就て同地方民の慘狀意想外に甚大なる事實に鑑み、直に慰問の方法を講ずべく、社告の如く慰問金募集に着手すると同時に、一方在滿同胞の大部分を占むる本紙讀者を代表し該罹災地の三縣宮城、岩手、青森の三縣知事に對して四日左の如く見舞の電報を打つた

貴縣下今回の大震災は、一報を加ふる毎に重大凄慘を極め、御同情の至りに堪へず、茲に在滿廿萬讀者を代表し取敢へず御見舞申上ぐ

三月四日
滿洲日報社長　松山忠二郎

庵三百櫃、タオル八千枚、白米一一千石、コンデンスミルク二千罐

フォード日本工場 學良へ軍用車供給

積込船の航海阻止

【東京特電四日發】張學良の軍用トラック百臺はフォード會社神奈川工場にて製作され二日大同海運チャーター春丸に積載唐津港を出帆したが、日本海員組合では國民としての見地より同船當通船員に對し「斷然航海を拒絶せよ」と無電を發したところ同船員一同から「軍需品か否か判明せず、取調べを待つ」との返電あり、四日朝さらに

積込の際すでに問題になつた軍需品であり積込を拒絶するが當然なり、日支および國際關係の實情に鑑み日本船および日本船員としての立場を守り速に高級船員と協議の上、天津着までに最後の方針をされ

と指令を發した、六日天津着までに船長が如何なる處置をとるかは此際頗る重大視されてゐる

東京に天然痘

【東京五日發】日本橋區濱町三の十九袋物商石口皓三（五二）は二月二十七日發熱し醫師の診療を受けてゐたが原因不審の爲め四日久松署に屆出で小川警察醫が診斷更に井口防疫課長も出張檢診の結果午後十時半に至り眞性天然痘と決定したので石口一家に強制種痘を爲し附近一帶の大消毒を爲した

張學良へ密通する 國賊？毒瓦斯屋

主は即ち島德さん

【大阪四日發】大阪憲兵隊特高課中林中尉、課員松本軍曹は午前十時頃財界の巨頭大阪市東區高麗橋筋四丁目島德藏氏邸に到り長時間に亘り何事か調べる處あつた、右は同氏とその弟島定次郎を繞る奇怪な噂、即ち數日前神戶港より支那廣東行船で毒瓦斯の原料となるべき鹽を多量に密輸したもので同船は鹽を旣に陸揚げしてゐる模樣である、尙ほ後續注文もあり買入に就き島氏より資金が提供されたさいはれて居り此の裏に更に奇怪な事件も潜んでゐると云ふ、發覺したのは平時取引のないものが莫大な鹽を不當な價格で取引したに依るものであると、右に就て島氏は語る

私は調べを受けた事はない又そんな卑劣な事はした覺えがない子分が多いから一々其の商賣を知らず妙な噂を立てられて弱つてゐる

國賊を倒せ

國粹大衆黨騷ぐ

【大阪四日發】毒瓦斯原料密輸事件に島德藏氏が關係せる事を逸早く知つた國粹大衆黨は北支の切迫せる時局、日本國難來の聲あり國民が皇軍の支援に努めてゐる今日財界の巨頭が此の軍の武器を奪つて敵に與へる如き行爲を爲すは怪しからぬさし午後七時同黨川崎總務指揮の下に黨員十數名島邸に到り島氏に面會を求めたが拒絶されたのでいきり立つた黨員は「張學良の便衣隊島德藏」と大書せる大幟を門柱に括り付け「奸賊島德張學良に毒瓦斯原料十萬噸を送る、倒せ國賊、起て國民」等と記せるビラ多數を撒布して引揚げた

マイクを通じ 母への感謝

◇地久節に母の會

明六日の地久節には大連に於いて母の會を催しラヂオ放送を行つて母への感謝の意を表するが、大連に於いては昨年までは母の會は皇太后陛下の御誕生日たる六月二十五日に行つてゐたが、本年は日本内地からの申し出によつて内地同樣母の會を地久節に行ふこと、なつた、大連では準備整はなかつた爲め取敢ずラヂオ放送だけを行ふこと、したが母の會はこのほかに世界共通に行はれる五月第二日曜のマザースデイがあり大連においても母の會を一定する必要あり近く社會婦人團體會議を催した上滿洲における母の會を前記三日のうち孰かに決し、來年より盛大なる母の會を年中行事とする筈である

傷病兵から感謝狀

先般不幸名譽の負傷をなし大連衞戍病院より更に廣島衞戍病院に送還された傷病兵を代表して戸村中尉より五日本社を通し左の如く在滿中の市民各位の厚情を深く謝する來信があつた

刻下北支那、熱河の空の妖雲は皇國日本の破邪降魔の寶劍に依り拭浄されんとするの秋に方り御社愈々正義日本のため警鐘を亂打さる、帝國のため慶賀の至りに不堪候、さて過日傷病兵一同貴地大連分院に入院中は格別なる御見舞を辱うし且又到着並出發に當りては多數の迎送を受け感激この事に候、御蔭樣を以て一同無事二十五日當地病院に收容され申候間乍他事御休心下されたく候、尙市民各位に賞紙を通じて宜しく御傳へ下され度願上候

傷病者代表
歩兵中尉　戸村懋雄

成層圏

チフス擊退の發見

醫界學界の大發見——臺灣總督府中央試驗所衞生部技師醫學博士鈴木近志氏が傳染病豫防内服ワクチンとして最高度の効果をもつ「鹽白制菌應用の内服ワクチン」の發見がそれである、日本人の傳染病中五割を占める腸チフス、赤痢の豫防は、今までチフスはチフス菌の、赤痢は赤痢菌のワクチンを痛い思ひをして注射し、副作用の不快さを忍ばなければならなかつた、ところが鈴木博士は菌の繁殖をさせるが人體には中毒しない「鹽白制菌」に着目し、これを應用したワクチンを創製、内服實驗の結果、腸チフス、赤痢に對しては強力な殺菌素を凝集させて豫防力を發揮し、パラチフスＡ型菌に對しても相當な豫防力を示すことを發見し、免疫學の鐵則を根本から破壞する事實——異種菌による免疫といふ革命的發見をなし大きなセンセーションを捲き起してゐる

松岡全權の從弟

聯盟脱退の大詰を見屆てパリに引揚げ近く歸朝の途につく松岡全權の從弟が大阪浪速區新川二ノ六七四で西洋洗濯屋を營んでゐる、松岡壯右さん（四八）がそれ、本人は瓜二つといひたいくらゐ、全權の松岡さんに似てゐる、全權の今は亡き父君三十郎氏の弟に當る常伍氏（死亡）の次男で、十七歳の時上京し、今は洗濯屋さんをやめて大阪遞信局に勤めてゐる實兄の厚造氏に從つてクリーニングを習ひ覺え孜々として商賣に從ふこと二十五年、市立新川實科高女に通ふ長女の梅子さん（一七）府立今宮中學一年の長男春明君（一四）ら三人の良き父として仕事にいそしんでゐる

專檢に八年目

四月一日から各府縣で行はれる專門學校入學資格檢定試驗受驗者中おそらく全國で最高齡だらうといはれる當年六十三歳の老人が大阪府廳へ受驗願書を提出した、大阪北區普瀨寺町二丁目伸線工場主梶谷逞一さんで大正十五年以來八年間、根氣よく毎年受驗してゐるがすぐる七年間に十二科目中合格したのは國語と漢文のタッタ二科目しかしごうして本人は一向平氣でせつせと勉強してゐる變つたお爺さんである

絕對壞れぬ飛行機

石川縣小松町字榮町森矢市（六六）氏が昭和六年以來苦心を重ねて發明した墜落しても絕對破壞せぬ飛行機は昨秋第九師團幹部立會の下に歩兵七聯隊營庭で二回にわたる試驗の結果保證を得たが同氏は更に工夫研究を進め最近は絕對安全の自信を得たので歩七時澤少佐の斡旋により濱松飛行隊で本格的試驗を行ひ大成功を收め同氏の苦心も報いられること、なつた、なほ同氏の勞苦に對する感謝と時局重大の折この國家的發明家を應援するため小松町在鄉軍人會では同氏の後援會を組織した

滿洲は『獨立國』

今全世界が關心をもつて問題にしてゐる滿洲國は百五十年の昔既に獨立國であつたことを説明する古い地圖を今回滋賀縣彦根町史編纂委員鈴木要三郎氏が資料調査中發見した、それは海國兵談などの著者で寛政の三奇人の一人、林子平が天明五年秋に描いた日本樓模の地圖で、これによると日本領土は朱書され蝦夷、樺太、臺灣、朝鮮はもとより支那各省が經緯度や回歸線と共に殆ご完全に配置、領土の大きさも詳記され問題の滿洲は萬里の長城を境界として全く支那から切り離し獨立の色をもつて明示されてゐるものである

紙凧製造の鼻祖

愛知縣海部郡櫻井村寺領の紙凧は名實とも日本一の稱あることを知らぬ人が多い、その沿革は長いが簡單にいふと同村紙凧製造の鼻祖は故岩瀨仙太郎氏で現在は福松仙之助、仙次郎、仙吉の四兄弟によつて父業を繼承し同村紙凧の販賣權を握り一時は年產三十萬個、約八千圓からの産額があつたが現今では約十五萬個位に減じた、これは遊びに對する一般の趣味嗜好の變遷とあげる場所が段々少くなつて都會での需要が減少したによるがかりそめにもこの名物を衰微するにまかせる譯にはまゐらぬとあつて村の有志が相はかつて紙凧を守る組合を設立した

安樂椅子

似た者夫婦といふが、滿鐵の新設二機關の首腦者である宇佐美、伊澤の鐵路總局正副局長と、佐藤、田邊の鐵道建設局正副局長ほご酷似したものもあるまい

……◇……

宇佐美局長も伊澤次長も久しく鐵道省の飯を食つてから滿鐵に入つた人で、精敏な顔貌から貴族的な趣味までそつくりであり從つて仕事にかけては一倍の利け者揃ひ

……◇……

これに反して佐藤局長と田邊次長は、滿鐵子養の社員だが、いづれも久しく沿線にくすぶつてゐて、本社にはほとんど名前も顔も知られなかつた田舍士、しかも土木屋専門なので滿鐵には珍しい野人でヌーボーと來てゐる

……◇……

流行の洋服をかつちり着こなした宇佐美さんと、だぶだぶの洋服に特大の靴をパッタンパッタン引きずる佐藤さんとが並んで歩く姿を見て、若い滿鐵マンが「事務屋と技術屋のサンプルが歩いてゐる」と感心した

東北東海岸大震災 義捐者芳名

（五日の分）

十圓　大連　東來洋行一同
二圓八錢　大連双葉幼稚園日曜學校生徒一同
二圓　大連　細野辰熊
同　大連　西岡丑松
同　大連　高橋乙松
百圓　大連滿洲日報社員一同

計百拾八圓八錢

股火は毒

四日午後四時五十分頃市内沙河口元町百廿二番地滿鐵沙河口工場臨時雇津山元吉（四二）方から煙を吐いてゐるを附近の者が發見、大連消防署員の出動で大事に至らず消止めたが、座敷の眞ン中に津山が腹部を黑焦げに燒けて無殘死亡してゐた、原因は七輪股火でガス中毒

大連愛犬同志會

若月太郎氏を會長とする大連愛犬同志會は五日午後三時より連鎖街事務所二階ホールにて發會式を擧行同會顧問、役員並に會員多數出席し會則承認、名譽會長に岩井少將を推薦の件等を決議し三時半盛會裡に閉會した

スケート納會

大連氷上競技聯盟納會のスケート大會は五日午前九時より星ケ浦水明莊リンクにおいて擧行、二十數名の參加者は高橋俊夫、川合忠貞山田隆一郎三氏審判の下に開始し午後零時盛會裡に終つた、成績左の如し

△一般競技
A組　全部棄權
B組　一等中村（三點）二等大賀（六點）三等千種（九點）
C組　一等渡邊（三點）二等遠藤（七點）三等松永（八點）

△女子競技
A組　一等矢野（三點）
B組　一等井上、二等増永

母小松こと儀突如三日發病四日午後十一時死去致候間謹で生前の御厚禮申上候
追て葬儀は途中葬列を廢し明六日午後三時西本願寺に於て相營申候
三月五日
大連市博文町八
男　小松喬太郎
同　　三男
親戚友人一同

岩戸脩治儀　療養中之處養生不相叶五日午後二時永眠致候間此段御通知申上候
追而葬儀は明七日午後三時半自宅出棺聖德街葬儀場に於て神式にて相營み可申候
昭和八年三月六日
父　岩戸直吉
男　　秀之
親戚　貝瀨一同
友人總代　竹中謙吾
成瀨一武

滿日各地版

千山湯崗子中心に一大國立公園設置
鞍山地委當局に要望

【鞍山】次回の滿鐵地方委員議長會議に鞍山地方委員から提出すべき問題は左の通り決し四日滿鐵地方部當局に提出された

一、沿線適當なる箇所に甲種程度の工業學校設置の件
滿洲に於ける男女中等程度の教育施設は稍々完成の域に達せりと雖も今尚中等程度の工業學校を除く外は其施設無く教育上遺憾の點あり滿洲將來の工業發展に備ふる爲め此際速かに之を設置されん事を望む

一、千山湯崗子を包含し一大國立公園の設置を滿洲國並に滿鐵に要望の件
今や滿洲國成立し王道政治行はれ治安維持全く成り諸種の產業は開發されんとす、此秋に當り湯崗子靈泉及千山の仙境を利用し相當の施設を施し日滿人に清新なる慰安を與へ以て滿蒙開發の一助とし度し

不良賣藥行商人出沒

【奉天】最近沿線各地に不良賣藥行商人が出沒するので各警察署に於ても嚴重取締中であるが大分縣北海部郡生れ沙河口大正通り居住賣藥行商人木邊南四郎（三一）は開原、鐵嶺、蘇家屯等と神出鬼沒し警戒網から逃れ不正賣藥を行つてゐるので各警察とも協力して同人の所在搜査中であるが一般市民も特に注意されたいと

二月中の有賃乘車人員
四平街驛

【四平街】四平街驛の二月中有賃乘車人員は一、二、三等合せて一萬八千四百八十七人でその內譯は一等三十五人、二等三百四十六人三等一萬八千百〇六人、切符の賣上高が急行券並に寢臺券の一千七百七十三圓四十六錢を加へて三萬五千六百六十三圓四十六錢で、一月末の一萬九千九百四十四人（三萬九千八百五十五圓九十七錢）に比較すると稍々見劣りするが、これは時日に於て三日間の減少だから先づ順當と見て良し、更に昨年の二月末總計に比較すると、人員に於て六千二百九十四人の增加、賣上高で九千二百九十二圓七十三錢の增收を來してゐるが、事變の一段落と共に更に增收を期待されてゐる

……す、川石まつ、加藤叔子、能重三重子、小杉きよ、小坂はま櫻井きみ、石川好、長谷川さき大井初美、吉田むら、高橋ひさ高橋まさの、小西君江、池田止津、阿部きみこ、末光精、森山すゑ、使丁荒木正秋

陸軍記念日に旅順の催し
模擬戰のみは取止め

【旅順】來る三月十日第二十八回陸軍記念日祝典實施に就き四日午後二時から旅順偕行社に於て各方面代表者參集協議會を開催の結果旅順の行事として例年の呼物たる模擬戰は本年は陸海軍共不在且又一、二學校も都合惡しき爲め遺憾ながら中止する事となつたがその他の事項は左の如く決定實施する事となり同三時四十分散會した

▲煙花火打揚　白玉山南道モーダサイレン附近午前九時二十分白玉山祭典開始前、同十時四十分國旗揭揚式十分前各二發宛尚當日は晝夜に亘り約三十分の煙花打揚を行ふ
▲招魂祭典　白玉山納骨祠前午前九時三十分開始
▲國旗揭揚式　東本願寺上廣場午前十時五十分
▲戰勝報告並武運長久祈願式　午前十一時
▲祝賀會　正午昭和園（會費五十錢、九日正午迄市役所庶務迄）
▲講演と映畫　午後二時女學校、午後六時三十分昭和園
等にて右講演者には陸軍將校二名を煩はし映畫は係員に於て選定する事となり係員を選定した

救護班着遼

【遼陽】日本赤十字社の臨時第十九救護班は旅順に於て編成中の處四日午前六時四十二分着列車で來遼直に遼陽衛戍病院に勤務することになつた同救護班の編成は左の如くである
▲班長（醫員）岡本不二雄▲書記馬場音次▲婦長御手洗うめ▲看護婦宮崎そめ、山脇さし、石川……

岫巖に電燈つけて貰ひたい
縣長等會社に請願

【大石橋】日滿軍合掃匪軍の威力に依り漸く苛斂誅求飽くなき惡鬼匪徒の魔の手より脫出し逐次治安を恢復しある三角地帶の中心岫巖方面に於ては各種產業も萌芽の域に達したるもの、如く二月十六日附を以つて縣長劉鈞仁、參事官岡村一郎連名を以つて左の如き歎願書を大石橋電燈會社愛甲專務宛に寄せた

拜啓貴社益々御清祥の段奉賀候陳者當三角地帶の中心地岫巖縣も友軍の剿匪に依り治安日に恢復し縣民一同感激罷在申候此度駐屯軍の交代に便し貴社にかれては社員山下君藏梁瀨和人兩氏を派遣せられ電業の調査を成し被下候段只管深謝仕候當縣に於ては與ふ限りの資料を提供致置候間右派遣員論石の療充設方御勸め申上候當方に於ては能ふ限りの條件を準備致し居候現代の科學文明は總て電氣に依り盡され居るものと思料仕候此際偏境の岫巖縣が文明の惠光に浴し得ると云ふ事は滿洲國建國の今日誠に恭賀すべきものと待望仕候敬具大同二年二月十六日岫巖縣公署縣長劉鈞仁、縣參事官岡村一郎、大石橋電燈株式會社專務取締役愛甲直剛殿

撫順體協豫算

【撫順】撫順體育協會理事會は八年度支出豫算を左の通り決定、轉任のため會計部長を退いた川口氏の後任には經理課決算係主任高木德次氏就任した、尙新年度にはプールの上水使用を止め舊水源池より直接電氣ポンプで揚水するため右新設費の事業があるだけで他には臨時支出なく總豫算額に於ても前年より約一萬圓を節減したさ
事務費三、四〇九補助金二、三〇〇事業費五、五〇〇野球部三、二七四庭球部八三五劍道部一、八四七柔道部一、七四七弓道部六三三籠技部一、一〇一水泳部五二九氷滑部七五三蹴球部七三〇スキー部一八〇卓球部一三一スポンチ部一八九體育ボール部三二八角力部七一〇馬術部一〇〇市民運動會一、五八〇各部豫備費二、五〇〇豫備費二、〇〇〇合計三〇、四三〇

靖安游擊隊隊員暴行

【奉天】三日午後五時三十分頃靖安游擊隊第二軍の隊員三四十名が東大營に歸營の際城內大東門に於いて折柄運行し來つたバス二臺を停車せしめ各自帶劍を以て車掌運轉手に暴行を加へ更に乘客を脅迫して下車せしめ之れに一同が乘車し東大營に向はんとしたるに急報に接した城內派出所より奧村他一名の巡査が現場に急行游擊隊員を鎭撫したが却て彼等は衆を頼み暴行を加へんとしたので兩巡査は止むを得ず拳銃を以て威嚇し暴行主謀者第六連步兵張福志、王國名の兩名を引致し更に證據物件として帶劍五本帽子三箇を押收し直に總司令部に急報し司令部より秋山中尉が來たので嚴重なる處罰方を要求して引渡した

顏を剃つてさて脅迫

【奉天】十間房二十三緯路理髮屋丁福氏（五三）方に二日午後九時頃三人組の支那人が客を裝つて入り來り約一時間餘に亘り三人共顏を剃りあげるや直に強盜に早變りし拳銃にて家人を脅迫の上縛り上げて現大洋四百元、剃刀五本、バリカン一個強奪して逃走したので目下滿洲國側警察に於いて犯人嚴探中である

タイピストに滿人女子採用

【吉林】吉林省滿鐵委員會では事務の繁忙と手不足なる處よりタイピストの必要に迫られ過般來より邦人一名のタイピストを使用して居つたが一人では未だ仕事に追はれ如何にしても一人の增加をするの外無く故にタイピストの募集を行つたが此の募集に際し相當多數の應募者有り處が當局者では十分考慮の結果今後日滿親善融和を計る意味に於て滿人女子を採用する事に決定し目下順調に事務繼續して居るが其の成績も實に優秀にして日滿人共に仲睦じく益々向上の道を辿りつゝ有り、省公署とし最初のこゝろみとて其の前途大いに期待されて居る

實妹の愛に蘇つて詐欺漢人間に返る
醫學士をめぐつて
織り出された兄妹愛物語

【奉天】醫學士を裝ひ詐欺を働き遂には留置場にブチ込まれた邦人男が妹の淚の說諭と送金で眞人間に返つた人情美談
熊本縣生れ中山藤一（二九）は內地の某病院で助手として勤めて醫師には經驗ある關係上滿洲へ行つて一働きして來やうと決心し本年二月十八日來奉し奉天で開業醫の手續きをなしたが容易に實現しさうにもなく金に窮した揚句醫學士と自稱して

市內　の旅館に泊りこみ投宿客を信ぜしめ詐欺を働き且つ旅館の宿料まで踏み倒しては沿線を轉々してゐた、その後警口署の手によつて逮捕され身柄は奉天署に送られ暗い留置場にブチ込まれたのである、一方彼の妹綾子（二一）も藤一と共に來滿し彼女は大連の某商會に勤めてゐる傍ら餘暇にはタイピスト學校に通ひ同校を卒業して洮南の某社でタイピストとして勤務してゐたが兄の……

……ツチです、寒氣は身をたち切るやうに寒うございますけれど妾はあなたの決心と父母のためを思へばこそどんな苦勞もいとはず第一線で懸命に働いてゐますそれに、それにお兄樣があんな處に入れられるやうにならうとは夢にも思ひませんでした、どうぞ妾の心をお察し下さいまして一日も早く改心され働かれるやうにして鄕里で待つて居られる父母を慰めてやつて下さい、

妾のお願ひであります

との淚の手紙をしたゝめ金三十圓を奉天署宛て送つて來たので之を受けた藤一も返す言葉もなく係官に對し男泣きに泣いて前非を悔い改心して今までの借金は何とかして支拂ふこととして四日のチチハル行で妹の處へ歸りそこで共に働くこととなつた

妾は　洮南にゐます、……

茲にも悲劇から生れた人情美談
氣の毒な寡婦　亡夫の實家へ

【奉天】夫を失ひ五人の子供を抱へて辛酸を嘗めてゐる寡婦が亡夫の實家からの同情で懷しい鄕里へ……市內松島町十三番地杉山さよ（三八）は數年前夫彌作（四五）と共に來奉しなにくれとなく暮らしてゐる療患者として赤十字病院に入院させたが手厚い看護もその甲斐なく昨年末遂に黃泉に旅立つた夫を失つたさよは悲しむ暇もなく更に男を鼓して裁縫を續け僅かの收入でどうにか今日まで暮して來た一方彌作の死を知つたその實家では五人の子供を抱へて……

發祥の日積雪行進
四平街の賑ひ

【四平街】四平街市民の一日の日滿合同建國一周年祝賀大會は積雪寸に及ぶ庭でいとも盛大に擧行され午前十時三發の煙火を合圖に……

大坪氏の旅順聖戰談
安東公會堂で

【安東】旅順攻圍戰の史實として名ある旅順朝日町……坪要三郎氏は安東地方事務所の聘を受けて來る十日……念日に安東公會堂において……戰より奉天大會戰の史實……ふことに決定した
大坪氏は曾て久邇宮家……德彥王兩殿下の御前講演に浴したこともあり、當……は時局柄でもあり非常……れてゐる

懲りない鄧鐵梅
岫巖縣下を荒し廻る

【安東】三角地帶の巨匪……最近鄧鐵梅は……五百の匪勢となり岫巖縣……廻つてゐるが去月二十五……敵にも岫巖縣城の占據を……皇軍の猛擊に逢つて潰走……もあり、今後も所在に出……動するものと觀られてゐる

各地片々

◇鞍山　鞍山小學校では本年度新入學生二百名の齒の檢査を來る十三日午後一時から二時まで學校に於て實施すると
◇遼陽　遼陽赤十字支部では衛戍病院入院中の傷病兵慰問の爲め有志から雜誌を集めて寄贈中であるが四日迄に六百餘册を更に近日贈呈の準備中であるので篤志者は同支部まで申出でられたしと
◇遼陽　遼陽縣の警備工作は着々進捗しつゝあるが四日更に鈴木顧問官、長濱指導官、公安局司法課長の一行が城西大砂嶺に向け出發したが一行に先だち警察第一中隊長張國忠は部下五十餘名を率ゐて出發した
◇奉天　三月四日午前十時より總領事館法廷において左記の判決言渡しがあつた
△原籍石川縣、奉天商埠地三經路後田政吉（三〇）は詐欺恐喝で懲役一年
△原籍石川縣、住所不定雜誌記者大野川定男（二五）は同上にて懲役六ケ月二年間執行猶豫
△原籍靜岡縣、住所不定立林寅吉（四二）は同上罪にて懲役一年
◇奉天　去る一日市內千代田通九番地木村電氣商會では電信用銅線五百斤を皇姑屯の倉庫から竊取されたので奉天署に於いて犯人搜查中三日午後九時頃その人京城生れ朴定福（二二）を逮捕し彼の自白で西塔大街野菜市場李泰舖下宿屋に潛伏中の新義州生れ崔榮南（二二）を逮捕した犯人は三名で殘る一名を搜査中であるが彼等はその贓品を西塔大街雜貨店に六十圓で賣却その金は十間房朝鮮料理店で一心館で遊興に消費したことを自白した
◇旅順　關東廳博物館島田主事は豫て考案中であつた觀覽者へ無料進呈する諸國年代對表は逐次出來し一般參觀者への福音が齎らされた該年代表は皇紀、西紀は勿論日本、朝鮮、滿洲、支那並に右方に逆算の數を示し參觀と共に一目瞭然その對表年代が判明し參觀上一段の興趣を湧起せしめるものである
◇鞍山　拓務省囑託農林技師安樂城敏男氏二日來鞍地方事務所並に製鐵所を視察

會と催し

●鞍山時局慰勞宴【鞍山】鞍山地方事務所長小野寺清雄氏は時局以來獻身的努力を盡した各方面の士を四日午後六時より柳町一樂に招待し慰勞宴を張つたが頗る盛宴であつた
●鳳凰城分教場學藝會【鳳凰城】鳳凰城分教場では三日桃の節句當日軍警慰問の兒童學藝會を午前十時より開催したが何れも非常な出來榮で來賓父兄その他參觀者多數あり午後三時過盛會裡に閉會した
●撫順聯合婦人會總會【撫順】撫順聯合婦人會第二回總會は……前十時より公會堂に於いて……るゝが左の如く各婦人團體……餘興があることになつてゐる……況を呈するであらう
一、君が代二、開會の辭……過報告四、會計報告五、……ヨ子女史講話六、來賓……九、餘興十、閉會、餘興……
●日滿經濟座談會【奉天】……全滿聯合婦人會の歡……阪商工議長の來奉を機……滿經濟關係者主催の下に四日……四時よりヤマトホテルに於……滿經濟に關する各種の座談……した

旅順放送

▲二日夜から三日に亘つて……大雪は珍らしい粉雪の爲……餘りも積つたので鮪江町……

中西新地方部長初巡視

海と空と（80）
明暗（十八）
高杉晋一郎作　橋本凌史畫

新刊紹介

大連 JQAK 放送

東京 JOAK 三月六日

滿洲日報
附錄
發行人　鈴木昇
編輯人　橋本喜代治
印刷人　本村武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所　滿洲日報社

承德入城直前の皇軍

四日午前十時發
山口特派員撮影

寫眞說明

(1)平房附近から軍旗を先頭に攻擊を開始した○○隊
(2)難路を突破して前進する川原先遣部隊
(3)鴻石拉附近の激戰(三月四日午前十時)
(4)承德一番乘りの勇名を馳せた川原先遣部隊長(葉柏壽城門前)
(5)エンジンの響きを立て、承德に迫るわが快速隊(三月四日)

寫眞說明

(1) 百武大尉(中央)の率ゐる名譽の第〇〇自動車隊員

(2) 平房高地から敵情を視察する長瀬部隊長(左端)

(3) 渡河前進する川原先遣隊

(4) 凌源を通過し平泉に向ふ川原先遣部隊